

代表的小學兒童用參考書

高橋喜藤治著	川村貫治著	野垣純一著	歷史教育會著	後藤一郎著	農林教育會著	史蹟調查會著	作方教授著	滿木峰丸著
教科書	標準	小學	教科書	高等小學	農業	小學	現代	地理
算術補充問題集	小學珠算教科書	小學英和辭典	日本國史年代圖表	標準珠算教科書	農業實習日誌	小學日本國史參考圖	小學作方教本	滿洲國
尋常三年用より高等二年用まで全六冊	尋常四年用より六年用まで全三冊	洋裝全一冊	三六版全一冊	菊判全二冊	菊版全一冊	三六版全一冊	高等科用全一冊	定菊版全拾四錢
定價各拾貳錢	定價各拾壹錢	定價三十五錢	定價金拾五錢	定價各拾八錢	定價金拾五錢	定價金拾五錢	定價金拾貳錢	定價金拾四錢

發行所

東京市日本橋區室町四ノ五 振替東京二六二八二六二七番 電話
 東京市神田區三ノ二 彰文館書店 電話三三〇八番

山田孝雄博士名著選

大日本國體概論	國體の本義	同 卷第二	萬葉集講義 卷第一	源氏物語の音楽	平家物語	日本口語法講義	日本文法講義	日本文法論
一四五六〇判	三菊〇二判	七菊五〇判	四菊〇〇判	五菊〇〇判	八菊〇〇判	四菊〇〇判	五菊五〇判	一菊五〇〇判
千〇五〇四〇	千〇五〇八〇	千五二五〇	千三二五〇	千三二八〇	千三二八〇	千三二八〇	千四一五〇	千〇三〇〇
東洋史觀	國民參考兵器大觀附其の戦法	昭和改訂會計法規通論	道徳の原理	訂改倫理學演義	哲學の話	維摩經釋義	明治財政の基礎的研究	增補批判的教育學の問題
鳥山喜一	長谷川正道	武藤榮次郎	吉田靜致	吉田靜致	大島正徳	道重信教	澤田章	篠原助市
四菊六〇判	八四五六〇倍	一菊二七判	四菊六〇判	六菊〇〇判	三四〇〇判	三四〇〇判	四菊〇〇判	三菊五〇判
千四一八四〇	千五三〇〇	千九三〇〇	千三二八〇	千四二八〇	千一〇二八〇	千二一四〇	千四二〇〇	千二一八〇

株式會社 寶文館

東京市日本橋區室町四ノ五 振替東京二六二八二六二七番 電話

大倉高商教授 渡部寅二著	貸借對照表の作成と吟味	定價 1.50 送料 .12
高橋渡著	利殖相談	定價 1.20 送料 .10
高橋渡著	小口金融の話	定價 1.00 送料 .10
高橋渡著	公債の話	定價 .80 送料 .08
經濟學博士 阿部賢一著	常識經濟學	定價 1.20 送料 .12
東京商科大學教授 増地庸治郎著	商業經營	定價 1.20 送料 .12
京大教授・經濟學博士 小島昌太郎著	商業教科書	上卷 .95 下卷 1.10 送料 .14
東北帝大教授 廣濱嘉雄著	法律綱要(私法篇)	定價 1.50 送料 .14
早稻田大學教授 中野登美雄著	法律綱要(公法篇)	定價 1.50 送料 .14
法制局參事官 入江俊郎著	自治政策	定價 1.50 送料 .14
東京帝國大學教授 蠟山政道著	公民政治論	定價 1.20 送料 .12
政治學博士 高橋清吾著	憲法政治	定價 .80 送料 .12
文學博士 笹川種郎著	日本文化史	定價 1.50 送料 .12
東京府立一中教諭 吉田辰次著	受験國文精説	定價 1.70 送料 .14

五五
一

東京市本郷區 元町二ノ三九 株式會社 雄風館書房 電話小石川一九一一番 振替東京五五六八四番

京大教授・經濟學博士 小島昌太郎著	金融機構論	定價 2.00 送料 .14
拓殖大學教授 宮川貞一郎著	近代貨幣理論の種々相	定價 1.50 送料 .12
京大教授・經濟學博士 小島昌太郎著	我國主要産業に於けるカルテル的統制	定價 4.50 送料 .22
關西大學教授 磯部喜一著	工業政策要論	定價 2.80 送料 .18
法政大學教授 秋保安治著	工業概論	定價 1.50 送料 .14
京大教授・農學博士 佐藤寛次著	日本の農業	定價 1.80 送料 .18
拓殖大學教授 宮川貞一郎著	新貿易方策と爲替	定價 1.50 送料 .12
東京商科大學教授 佐藤弘著	産業貿易	定價 1.20 送料 .12
經濟學博士 太田正孝著	日本財政論	定價 1.30 送料 .12
エルンスト・ワーグマン原著 經濟學博士 小島昌太郎監譯	世界經濟機構と景氣變動	定價 3.50 送料 .22
エルンスト・ワーグマン原著 經濟學博士 小島昌太郎監譯	國民經濟組織の缺陷と世界恐慌	定價 3.00 送料 .22
エルンスト・ワーグマン原著 經濟學博士 小島昌太郎監譯	景氣變動論	定價 3.50 送料 .22
京都帝國大學講師 佐波宣平譯著	シュターベルフェルド海運運賃市場	定價 2.80 送料 .22
ヴェルナー・ゾムバート原著 經濟學博士 小島昌太郎監譯	三つの經濟學	定價 3.50 送料 .22

五五
〇

東京市本郷區 元町二ノ三九 株式會社 雄風館書房 電話小石川一九一一番 振替東京五五六八四番

アトラス社の新刊地圖案内

國防必備 **最新極東大地圖** 四六全判多色刷 定價八十錢

改正町名番地詳密 **最新大東京全圖** 四六全紙別冊付 定價四十錢(四)

ハイキングピクニックに **旅行地圖** 四六半截多色刷 定價卅五錢(二)

新町名入 **大東京明細地圖** 別冊町名早見付 定價三十錢(二)

三十五區番地入 **大東京區分地圖** 町名早見便覽 定價五十錢(二)

携帶新版 **全國鐵道遊覽地圖** 全長五尺四寸折疊 定價二十錢(二)

最新踏查ポケット版 **最新大大阪全圖** 新聞全紙大折疊 定價廿五錢(二)

最新世界現狀大地圖 オフセット多色刷 定價八十錢

最新大日本交通全圖 オフセット多色刷 定價八十錢

國旗に極東大地圖の常備は非常時國民の最大急務なり

最新調査卅五區町名番地汽車、電車、自動車、交通、早見、官公署、學校、病院、新名所案内

東京附近の行樂地が一目でわかる、行樂地、電車、自動車、交通、早見、行先、里程、賃金、通、早見、行先

大東京の中央部と三十五區を詳細な見易い地圖である

鐵道沿線の所遊覽地が一目でわかる、スピード、代、旅行、案内、料、程、賃、金、早見

實地踏查の上漸く完成した最近版新町名交通模範地圖

日本の國難は裏か表かか向が一目でわかる最新版

新興日本の行政、交通、産業、帝國の現狀を見直せ



地圖

製圖 彫刻 印刷

の御用命は

東京 **アトラス社**へ

東京市牛込區北町三〇番地
電話牛込(34)三三三五五番
振替口座東京一四九三三番

營業種目

一般教育地圖の作製
世界地圖、日本地圖各種
統計圖表、掛圖、案内地圖
鐵道交通地圖等の製圖
各都市、案内圖、鳥瞰圖等
製圖、彫刻、印刷に關する
一切、株券、證券、藥品レ
ツテル箱、精巧なる印刷
原版の銅版彫刻一切引受

地圖見本帖贈呈

發行所 東京市牛込區北町三〇番地 **アトラス社** 振替東京一四九三三番 電話牛込三三五五番

新體六法全書

改訂増補標準大形六法 昭和十年版

四六判二段組總革 爪掛けしおり函入 特價金參圓貳拾錢 送料 廿二錢

今回の新版に於ては手形法及小切手法並に其の關係法令は勿論、身元保證法、農業動産信用法、自動車交通事業法、不正競争防止法、著作權法中改正法律、商標法中改正法律等の他衆議院議員選舉法施行令の改正に至るまで之を収録したれば改訂又は増補したる法令實に三十有餘に及び内容愈々整備完全せり、以つて法曹界實務界に横溢せる「新體六法全書」愛好者の絶大なる信用に答ふるところあらんとす。

「新體六法全書」は大正七年を以て初版を發行してより、漸次其の眞價を認められ所謂「標準六法」たるの榮譽を荷へり。蓋し△法令の選擇たる「常用法典」たるの利便を考慮し極めて適實、△法令改廢の沿革等に付き遺漏なく△然も編輯校正索出援引に不便を感じしめざると共に、△適度を超ゆる活字の縮小を避け鮮明なる印刷を施し、△堅牢淡雅の裝釘常時の閲讀愛用に至便ならしめられたればなり。

五五六

東神 京保 田二 神町 嚴松堂書店 振六 替五 東六 京五

日本名筆全集

菊二倍和綴鳥の子紙全部玻璃版 解説付一冊約八十頁古代紫表紙 分賣 一冊二圓五十錢全十六冊揃 三十二圓・送料一冊十二錢

尾上柴舟	倭漢朗詠集 全三冊 帙入八圓	佐々木信綱	萬葉古筆集
同	詩卷及朗詠集	岩橋小彌太	書狀集 上下二冊
同	色紙集	高柳光壽	高僧名蹟集
同	歌切集	入田整三	金石文集
同	懷紙集	石田茂作	寫經集
同	古今集	伊木壽一	古文書集
佐々木信綱	短冊集	東京市麴町區富士見町 振替東京一六八五	雄山閣

五五七

原色園藝植物圖譜

著 義 勇 井 石 幹 主 藝 園 際 實

全六卷愈完了 各冊どれでも分賣

美しく咲きこぼれた花園に遊ぶやうな最新式原色版印刷!

現代が許す限り、最高の印刷技術による、花の實物より分解して撮影する原色版印刷を全部に亘つて用ひ、圖版と對向して一々説明を入れたるを以て、たちどころに、花名、和名、洋名栽培法、品種等凡ゆる知識を獲得出来る便宜なる編輯である。

全六卷の内容

- ▽第一卷 春より初夏にかけて開花する西洋草花百種類等二百餘種を圖説
- ▽第二卷 温室植物及び夏より秋にかけての花園に開花するものを集む
- ▽第三卷 秋より夏冬にかけて開花する西洋草花百種類を發表解説
- ▽第四卷 本巻には日本花卉の代表的なものを集録圖説したもの
- ▽第五卷 第一巻より第三巻に洩れたる渡來花卉の大部分を解説集録す
- ▽第六卷 此の巻にはバラの品種四十餘種の外に日本産花卉を載む

紙一ア全各ス一ロク列六四
錢一廿料送銀十八圓二各價定

原野外植物圖譜全四卷

大好評 各冊重版

東京帝大講師 牧野富太郎著
實物そのままを見る如き
精巧無比の原色版

全四卷各冊分賣

本邦植物界の至寶牧野富太郎博士が苦心數年を費して漸く成れる斯界の好著である。本圖譜を實物と對照する事によつて何等の植物知識を有せぬものにも其の名稱特長等を知ることが出来る。

全四卷の内容

- 第一卷 春から夏にかけての草本類
- 第二卷 夏から秋にかけての草本類
- 第三卷 秋から冬への草本類
- 第四卷 樹木類

紙一ア全各ス一ロク列六四
錢一廿料送銀十八圓二各價定

原東洋蘭圖譜全

實物そのままを現した
精巧無比な原色版!

最近、日本固有の花弁の流行が園藝界の一風潮であるが、その王座を占むるものに東洋蘭がある。この東洋蘭と名附けるのは柄物を觀賞する蕙蘭、日本春蘭、金稜邊、富貴蘭、支那蘭等の總稱であるが、本書ではこれ等の代表的品種を實物そのままの原色版に印刷して、それと對照して詳細なる説明をしたもので、蘭培養の手引書として營てなき豪華版である。

實際園藝主幹 石井勇義著
菊判總クロス・原色版印刷
定價 金六圓
送料 金三十三錢

原萬年青圖譜全

原色版で印刷された
唯一の萬年青虎の巻

初心の方が最も困るのは三百種以上もある萬年青の種類をどうして見別けるかといふ問題だ。一寸見たり説明を聞いただけでは素人眼には皆同じやうに見えるオモトに對して、その見別け鑿として代表的オモトを一々原色版に撮影して、初心者にも名稱を知ると同時に、おもとの一通りを知る事が出来るやうにしたものが本書である。

實際園藝主幹 石井勇義著
菊判總クロス・原色版印刷
定價 金五圓
送料 金三十三錢

原日本海藻圖譜全

名稱品種が一目で
判る原色版印刷!!

四面環海の我が國は陸上の草木に必適する多種の海藻が沿岸隨所に繁茂してゐるが、本圖譜は北は北海道より南は琉球に至るまで海藻の代表的なるものを悉く收め、それを美麗なる原色版となしたものである。好評を極む

水産講習所教授 東道太郎著
四六判全ア一ト原色版印刷
定價 金二圓二十錢
送料 二十一錢

堂文誠 町錦區田神市京東
四九二六京東替振

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
Deutsches Lesebuch (醫藥獨文合本) Deutsche Satyrlahre	齊藤基	一・二〇〇	一〇五	竹中書店	The best British and American short stories	工藤直太郎	一・〇〇〇	一五七	文明協會
The last thirty years Living life over again	新英米文各社	各	三冊	開隆堂書店	What standrd English speech? Culture readings	ジョン・パーバンク	九〇〇	六四	四條書房
The death of lully and the portrait	櫻田常久	七〇〇	六	文尚堂	Das weltbild der neuen physik	山口優	一・〇〇〇	一〇八	大學書林
忘れられぬ言葉	島田昌三	一・〇〇〇	一三	南山堂	激情の嵐 獨和對譯	山科正美	一・五〇〇	一〇二	平原書社
Deutsche Lese-stuche für oberstufe	龍口直太郎	一・二〇〇	三〇	四條書房	Equity	竹内淳郎	九〇〇	一〇二	敬文堂書店
England, my Engl- and other stor-es	小林秀傳	一・〇〇〇	一四六	開隆堂書店	The black cat	森村豊	九〇〇	一三〇	尚文堂
The best modern British short stories	篠窪貢亮	一・〇〇〇	一八	大洞書房	English poems	飯田敏雄	一・三〇〇	二〇〇	大洞書房
The king Solomon's mines	津田和也	二〇〇	一三	平野書店	Culture ond education	小松武治	一・〇〇〇	一三〇	同
The select short stories of 1933	新關良三	一・二〇〇	一六	尙文堂	The nature of gothic	新里文八郎	一・〇〇〇	一五五	績文堂
未來の藝術品獨文	栗原元吉	一・二〇〇	一五	大洞書房	Cours élémentaire de langue française	石井正雄	一・〇〇〇	一三	開隆堂書店
The appreciation in literature	北島リリオン	一・〇〇〇	一六	文明協會	獨逸の獨文	鈴木貫一郎	一・〇〇〇	一五	大學書林
Select readings in current English Essays	吉田周平	一・二〇〇	一六	同	Gardiner's essays Anne alive!	有朋堂	八〇〇	九〇	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
Budd hist readings	鈴木ピアトリス	一・三〇〇	一八八	平野書店	Tokyo calendar	フランクリン	二・五〇〇	二八八	北星堂書店
Japanese fairy tale	西宮興作	〇	〇	長谷川商店	Fiftieth annual report of the minister of orate for education for 1928-1929	文部官	一	一	文部大臣官房
The renaissance of Wonder in English poetry	新英米社	四〇〇	六	開隆堂書店	Catalogue of European books in the Waseda university library Volume two part II (H-P)	早稻田大學圖書館	非	〇	早稻田大學圖書館
Advanced readings in the social sciences	明善社	二四〇〇	二八五	明善社	Foreign trade	小山傳三	二・八〇〇	二八	丸善株式會社
Cultural readings	同	三九〇〇	三九七	同	Law of torts. A compendium of the English law of civil liabilities	増島六一郎	一	〇	湯川弘文社
チエホフ 短篇集	柴孝平	一・三〇〇	二八五	外語研究社	Europe since the war	龍口直太郎	一・二〇〇	一六	開隆堂書店
ランカヂオ・ハイン	花園兼定	一・三〇〇	二九	同	俱舍論疏 第三册	萩原雲來	三・〇〇〇	三二	梵文俱舍會
日本警見記	峰尾都治	一・三〇〇	一九	同	Glimpses of Japan	友松圓諦編	一・三〇〇	一〇九	雪溪書房
ラム沙翁物語	長澤才助	一・三〇〇	二七	同	Studying in politics and economics	明善社	二・七〇〇	二六七	明善社
リュイス・カロール	小山鬼子男	一・二〇〇	一九五	同	Victory or defeat	西基一	一・三〇〇	二八九	開隆堂書店
不思議の國のアリス	増子義亮	一・三〇〇	二七五	同	The suicide club	鈴木和一	一・八〇〇	二五〇	日本のマ
オスカア・ワイルド	齊藤和一	一・六〇〇	二八	文明協會	Japanese sketches and Japanese prints	J.S. ハッセル	一・二〇〇	一三	開隆堂書店
Modern politics and economics	東大	八〇〇	四〇〇	東北帝國大學	Heroes and hero-worship	山田物七	一・〇〇〇	一六	大洞書房
Arbeitzen Aus Dem Anatomischen Institut Der Kaiserlich-japanischen Universität Zn Sendai	岡部次郎	一・五〇〇	二冊	開隆堂書店	My best story	開隆堂書店	一・〇〇〇	一四	開隆堂書店
Le Paris	肥田支次郎	五・〇〇〇	三三	電氣協會	The strange case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde	内館忠藏	一・〇〇〇	一四	立命館出版部

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
The principles of social life	大倉廣文堂	・七〇〇	二二	大倉廣文堂 京橋
Deutsches Lesebuch	樺 俊雄	一・二〇〇	三〇	文 精 社 神田
Hans Carossa Emerez	望月市恵	一・二〇〇	二五〇	同
Sta at	町田 實秀	・四〇〇	五三	同
にんじん 佛和對譯	山根正吉	一・五〇〇	二九	平 原 社 京橋
Contemporary English essays	富田 彬	・九〇〇	三六	續 文 堂 神田
Howthorne and Poe	加藤秀次郎	一・五〇〇	二五	同
Four no-plays	皆川正禧	一・〇〇〇	〇六	同
Auswahl der Kranken geschichte	鈴木幹太	二・〇〇〇	〇三	南 山 堂 本郷
Histoire des Docteres Economiques	永田 清	二・〇〇〇	〇三	慶 應 義 塾 芝
Einleitung zur geschichte der neueren philosophie	葉上照澄	・八〇〇	〇一	尚 文 堂 神田
A life's morning	山本與吉	一・〇〇〇	〇一	開 隆 堂 書店 同
Conte du vieux Japon	西宮 與作	〇	〇	長 谷 川 商店 下谷
Trois Reflexions	土井 幸知	・九〇〇	〇六	三 角 社 京橋
更科日記英譯	大洞 書房	・五〇〇	〇七	大 洞 書 房 澁谷
Short stories of nature and humanity				
Picked-up pieces from modern literature	大洞 書房	・五〇〇	〇七	大 洞 書 房 澁谷
Battle Principles	江本 茂夫	〇	二七	借 行 社 神田
現代支那趣味文選	文求堂書店	・八〇〇	〇一	文 求 堂 書店 本郷
ルルチー第三獨文	佐久間政一	・八〇〇	〇二	南 江 堂 同
Lafcad o Heavn	P.D.パークス	六・〇〇〇	〇四	北 星 堂 書店 神田
Abilography of his writings	齒科月報社	二・五〇〇	〇三	齒 科 月 報 社 同
Aus den modernen Yahn-aerylchen literaturen bantl.	同	各	〇三	同
From the modern dental works Vol I Vol II	同	二・五〇〇	〇三	同
Siebold faund Japauica 2.	刊 行 會	非	〇八	植 物 文 獻 會 京橋
Paramount simple-hechthree letter code	森岡久雄	一・五〇〇	〇三	同
Atlas der Histologie and mikroskopischen Anatomie des menschen	柴田 信	三・〇〇〇	〇五	森 岡 久 雄 神戶
A collection of Japanese shells	平瀬信太郎	三・八〇〇	〇三	松 邑 三 松 堂 京橋
CHA-NO-YU	A.L. サトラ	一〇・〇〇〇	〇四	ゼー・エル・タムン 神戶
Venusystem der Japaner	足立文太郎	△	〇一	足 立 文 太 郎 京橋
Dehrbuch der Histologie	平塚武蔚	非	△	平 塚 武 蔚 神田

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
Grundriss der klinischen diagnostik	平塚武蔚	非	〇三	平 塚 武 蔚 神田
The constitution of America	藤井新一	二・〇〇〇	〇一	有 斐 閣 神田
順しゝ少女達 Little woman	平田 禎木	一・〇〇〇	〇二	外 語 研 究 社 橋
ホオソーン傑作選集	清水起正	一・〇〇〇	〇三	同
世界平和論	西本 正美	一・〇〇〇	〇二	同
ステイヴン 隨筆集	紫 孝平	一・〇〇〇	〇二	同
トレング Thunberg Jeones Planatrum Japonicum I—5	植物文獻會	非	△	植 物 文 獻 會 京橋
ム・ガ・クル バンガリー	多田 齊司	・七〇〇	〇一	日 本 羅 馬 字 社 龜 町
Ogura Hyakunin Issyu	ミグダレク	一・〇〇〇	〇一	天 使 院 札 幌
Angewählte- dnuische Lesestücke	小口 優	・七〇〇	〇三	大 學 書 林 牛込
【六 月】	R. Schinzinger	・八〇〇	〇四	尚 文 堂 神田
Dichter und helden Beiträge zur Dautschen geistsgeschichte	山根正吉	一・五〇〇	〇二	平 原 社 京橋
メンキホーテ 佛和對譯	多田 齊司	一・五〇〇	〇一	丸 善 株 式 會 社 日本
Romazigaki Manyosyu				
標準支那語讀本 中卷	奧平定世	一・〇〇〇	〇二	尚 文 堂 神田
卒業試験 獨和對譯	三 映 社	一・五〇〇	〇二	平 原 社 京橋
English texts 1. 2.	西脇順三郎	非	〇二	慶 應 義 塾 芝
Sakura no Kaori	甲斐兼藏	・七〇〇	〇三	甲 斐 兼 藏 牛込
The scapegoat	小山 順	一・二〇〇	〇〇	開 隆 堂 書店 神田
The first six weeks of English	ハロルド・イー・パーマ	・八〇〇	〇二	英 語 教 授 所 神田
英譯屋上庭園	山田和男	・六〇〇	〇一	四 條 書 房 神田
Goethes Die grundlagen der arbeiterrfrage	尚 文 堂	・二五〇	〇三	尚 文 堂 同
La Sensibilitte Japonaise	會我部祐邦	六・〇〇〇	〇三	日 佛 會 館 神田
The sale of goods act Bills of exchange act Partnerships act	高井忠夫	二・五〇〇	〇一	久 野 書 店 牛込
天 路 歷 程	深澤由次郎	一・〇〇〇	〇一	外 語 研 究 社 神田
モルブ街の慘殺事件	同	一・〇〇〇	〇一	同
黄 金 蟲	同	一・〇〇〇	〇一	同
クビツクウイ	同	一・〇〇〇	〇一	同
夜話其の	同	一・〇〇〇	〇一	同

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
黒猫他四編	深澤由次郎	一・〇〇〇	〇・二六	外語研究社	The star and other stories	海江田進	・四〇〇	〇・二六	開隆堂書店
近眼鏡	同	一・〇〇〇	〇・一〇	同	The fiction of criticism and other essays	吉武好孝	・四〇〇	〇・二六	同
フランス文法教科書	井波清治	二・〇〇〇	〇・二四	慶應義塾	Adapted Catalogue of books in European languages in the library of the Tokyo University of Literature and Science Volume II literature and science Volume III	東京文理科大学	各約	〇・五〇	東京文理科大学
Fourth Report on Progress in Manchuria to 1934	菱田静治	△二・九四	△二・九四	南滿洲鐵道株式會社	同	市川又彦	一・〇〇〇	〇・一五	外語研究社
Japan's Advance	James A. B. sheree	三・八〇〇	〇・三三	北星堂書店	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
【七月】					同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
サロメと遊君	阿部謙太郎	一・五〇〇	〇・一五	平原	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
マクベス	澤村寅二郎	一・二〇〇	〇・二七	研究	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
英譯百人一首	エス・ワイ・デキ	一・〇〇〇	〇・〇〇	三角	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
ドイツ語文庫	黒塚壽一	・四〇〇	×	尚文	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
電子物理學	ホレン・エルス	・四〇〇	〇・〇〇	大倉廣文堂	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
Von Deutscher art	ホイウ・エルス	・四〇〇	〇・〇〇	大倉廣文堂	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
Essays	日進堂書店	・八〇〇	〇・二七	日進堂書店	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
ドイツ語文庫	川村義雄	・四〇〇	×	尚文	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
西部戦線異常なし	岡崎文規	一・七〇〇	〇・一七	平野書店	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
Selected readings in economics	小出峻	一・五〇〇	〇・二五	平原	同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
TOIO					同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同
佛和對譯					同	同	一・〇〇〇	〇・三三	同

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
New standard business english	河合逸治	一・三〇〇	〇・二五	河合英學塾	How to line on 24 hours A day	岡田實磨	一・〇〇〇	〇・二五	外語研究社
Book on the far east	アーサー・モーガン・ヤング	二・〇〇〇	〇・二六	アーサー・モーガンの	Life of Admiral Togo	横井進太郎	〇・四〇	〇・二五	The Seito Shoin
Das Japanische Ergehnungsnesen	Dr. Komao Murakami	三・八〇〇	〇・二六	富山房	The Indo-japanese Business Directory	永田藤次郎	△一・五〇	〇・二五	日印協會
銀嶺征服 獨和對譯	山科正美	・八〇〇	〇・二五	平原	梵文俱舍論疏(梵字)	荻原雲來	三・〇〇〇	△一・五〇	梵文俱舍論疏刊行會
オーエン氏のトランク	同	・八〇〇	〇・二五	同	日貨進出の秘鑰	朝日五十四	一・〇〇〇	〇・二五	日本國際協會
クレーン	同	・八〇〇	〇・二五	同	咆える！ ヴォルガ	山科正美	一・五〇〇	〇・二五	平原
Present-day Nippon no.10 1934	朝日新聞社	△一・八〇〇	△一・八〇	朝日新聞社	A complete guide to Tokyo	秋山愛三郎	二・五〇〇	×	ジャパン・トゥーリスティック・ビューロー
The Omi Brotherhood in Nippon	Wm. Merrill Vories	二・〇〇〇	〇・一八〇	近江兄弟社	ドイツ語文庫	高橋運宜	・八〇〇	×	尚文
【八月】					Heroes 1, 2.	水蘆幾次郎	各	〇・二五	開隆堂書店
The Civil Code of Japan	W. I. Sebald	一〇・〇〇〇	〇・三三	ゼー・エル・タムン	The use of life	北星堂書店	・四〇〇	〇・二五	北星堂書店
The Manchokuo year book 1934	東亞經濟調査局	一四・〇〇〇	〇・八五	東亞經濟調査局	最新支那語讀本 初版	法木義弘	一・〇〇〇	〇・二五	松雲堂書店
The Development of Co-operative movement in Japan	産業組合中央會	〇・〇〇〇	〇・三	産業組合中央會	Tea cult of Japan	光國際會	・五〇〇	〇・二五	丸善株式會社
Annual Report 1933	鐵道省	△三・〇〇〇	△三・〇〇	鐵道省	Lyric poems of to-day	齋藤護國	・六〇〇	〇・二五	大倉廣文堂
Short measure System of Cutting and Alterations	伊東富	三・〇〇〇	△一・七一	慶文社	英譯竹取物語	エス・ワイ・ダキンス	・九〇〇	〇・一〇〇	三角
Annual Report of the Director of the Institute for Science of Labour far 1933	暉峻義等	〇・〇〇〇	〇・二六	倉敷労働研究所	Japanese noh plays	光國際會	・五〇〇	〇・二五	丸善株式會社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
Japanese Cherry	光國	五〇〇	七〇	丸善株式會社
Fifty famous stories	興文社	五〇〇	一五〇	興文社
A Esop's Fables	同	五〇〇	二二〇	同
蜀逸短編 失はれた映	藤原 肇	五〇〇	三〇〇	大學書林
小説對譯 像の物語(一)	佐藤義人	四〇〇	三〇〇	同
蜀逸短編 階段(二)	莊人	九〇〇	二〇〇	同
Six select essays	小島伊左美	四〇〇	五〇	同
フォームトード(獨文)	同	四〇〇	四〇	同
トルストイ(獨文)	同	四〇〇	四〇	同
教本大系(獨文)二三四	南江堂	四〇〇	二冊	同
ライゼガング二	石川 鍊次	八五〇	八五	同
十世紀獨逸思潮	津田 芳雄	七〇〇	二八	同
A. Huxley's essays	本多平八郎	一〇〇〇	七〇	同
The widow in the bye street	フイリツペン	三〇〇	六	同
Japan at a glance	丸山 通一	四〇〇	五	同
Die zucht des willens	イゾレル	八〇〇	九	同
世小説撰(一)近	イゾレル	八〇〇	九	同
Trias dar mystisch-en Dichter	青山 延敏	八〇〇	一〇七	同
Seventy topics	定宗 數松	五〇〇	二二〇	同
社會學(獨文)	吹田 順助	七〇〇	一〇七	同
The sha des of spring and other stories	片岡 甚太郎	八五〇	一四六	同
On Poetry	小泉 八雲	六五〇	七五〇	同
On Poets	同	六五〇	八四一	同
(ローマ字) Genzi Monogatari 1.2.3.	長谷川 誠治	非	三冊	同
【十月】	同	非	三冊	同
Ochikubo Monogatari	W. White-house	五〇〇	二四五	同
The Drama of the Pacific	R.V.C. Bodley	二〇〇	二八	同
Readings in English Prose and Poetry	Enjiho Tamaka	三〇〇	三三	同
Siebold fanna Japonica 4.	伊藤 純一郎	△	△	同
The Lure of Japan	宮部 幸三	二五〇	三七	同
Exam. ptes of Japanese art in the imp.rital hos-ehald museum	帝室博物館	一〇〇〇	△	同
Paenty a Bahasa Djejang	宇治 武夫	四〇〇	二七	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
Social Welfare Work by the imperial houses old of Japan	辻 善之助	非	〇	全港堂書籍
Glimpses of the East	川田 友之	△	三	株式會社
The Japan year book 1934	豐島 擴	〇	三五	川田友之
The Birds of Nippon	鷹司 信輔	七〇〇	△	鷹司鳥類所
William Pitt	信定 育二	八〇〇	三〇	莊人
Modern scientific ideas	川瀨 日進	八〇〇	二五	川瀨日進堂
The first and the last	金子 尙一	五〇〇	八	開隆堂書店
Chemistry	川原 吉次郎	八〇〇	七	文藝堂
童キヤラマン(獨語)	武田 鐵五郎	一五〇	〇	白水社
Two spots stories	長田 壽隆	六〇〇	九	同
Amodern history	中村 一男	六〇〇	九	同
Vorloj de macke	クララ・ロンド	八〇〇	二三	同
Statement of Gabriel Foot	本多平八郎	五〇〇	七	同
母の手佛和對譯	小出 峻	一五〇	二	同
Tellers from Shimane and Kyūshū	小泉 八雲	五〇〇	七	同
Kodo-no-Nippon	廣岡 宇一郎	〇	三	同
Trade Directory of Japan	木村 増太郎	八〇〇	△	同
The Antolography of Fukuzawa Yukiichi	福澤 諭吉	四〇〇	三七〇	同
梵文楞伽經	鈴木 貞太郎	二〇〇〇	〇	同
【十一月】	同	〇	〇	同
Tess of the D'urbervilles	青木 道	一〇〇	二四〇	同
Japanjo Hodian	梶 弘和	一〇〇	一〇	同
O'flaherty & others	田邊 清市	八〇〇	二三	同
Up-to-date science & Engineering	法邑 清藏	七五〇	〇	同
商船テナシチー佛和對譯	山根 正吉	一五〇	〇	同
日英佛獨圖解會話書	丸山 順太郎	三〇〇	〇	同
A short story of the World	リエンクレー	九〇〇	〇	同
A group of noble dames	鈴木 重威	六〇〇	〇	同
Inge's essays	成田 十四市	六〇〇	〇	同
黑騎士獨和對譯	伊藤 政市	一〇〇	〇	同
Pünktchen und Anton	牧村 吾郎	一五〇	〇	同
Das märchen des Lebens	板倉 鞆音	一〇〇	〇	同
	杉山 彦七	七〇	〇	同

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	
Walten Kämpff America Pageants and Personalities The manchoukuo Question Caudan Lexicon Latino-Japonicum Japan illustrated 1935 Select Business Cases Katan Karaniyam Equity Sphutertha Abhidh- krnaka'sany-akhya	松島豊三 James A.B. Schees 菱田静治 エス・ カン・ トウ 光永星郎 山崎紀男 石橋智信 竹内淳郎 友松圓諦	・六〇 一・卅〇 一・八〇 七・〇〇 一・五〇〇 二・三〇 三・二〇 三・〇〇	六〇 二七 六 二三元 八六 二七一 二六〇 一一〇	尙文堂 北星堂書店 菱田静治 公教神學校 日本電報社 平野書店 新本宗市 敬文堂書店 梵文俱舍論 會	Japan today and tomorrow, Readings in Busine- ss Economics. The pomance of Ja- pan. Japan-manchoukuo Year book 1935 日佛會館學報 佛文 編 第六卷 第三號 The Spirit of japan Tokyo Historische und expar- imentelle Untersuchung en über die Epppyges- nfragen der Rohrenkro- ben mit Rücksicht auf ihre Beeinflussung durch die innersektel- rischen Prilisen. Jeikoku Kai Kyokai The Imperial Japanese Marine Corporation Register of ships, 1934 Financial and Eco- nomic annual of Japan. Seven talks on Eng- land The drift of civiliz- ation	荒木利一郎 木村喜一郎 松井辰之助 James A.B. Scherer 芝東吾 會我祐邦 宮崎小八郎 外二名 ノエル・ ヌエット 本島一郎	非 三・八 一・五〇〇 一・五〇 二・〇〇 二・〇〇	△二八 〇二三 〇三六 △二三 〇二九 △〇枚	大阪每日 新開社 大同書院 北星堂書店 ジャパン・マンチ ユニー年鑑社 日佛會館 ストウジ全集 刊行會 ジャパント ム社	大阪 日佛會館 日本 會 社 新島
【十一月】 Untersuchungen tibe- -r Embryochemie, w-Amino-oxyäus- en, vergleichende Biochemie und Ner- chitendes 1921-1934 Reminiscences of childhood. Madhyantambhāga- tika	富田雅次 新渡戸萬里子 山口益	〇九八 二・〇〇 六・三〇	〇 〇 二七	富田雅次 新渡戸萬里子 破塵閣書房						

Wintury Peacock Essays by great scientists Three stories from English literature Short stories, English and Amer- ican Der Kappa 河童 世界〇初 Chosen Essays Hesense of things 女の心 獨和對譯 Mesecret sharer ムイン 語文庫 赤帽子 Jho John Milton an E say Japanese Gardaus 獨逸語全書 物理と化學 第一編 教本大系 第二十二 (獨語) Mew sketches of men and life	古澤安二郎 長澤英一郎 同 同 高坂義之 山本經 稻葉三郎 岡部次郎 倉田圭吉 横井徳治 川村義雄 西崎一郎 國際會 光協會 中山久 小立鉦四郎 福田市平	・七五〇 ・六〇〇 ・七〇〇 ・六五〇 一・五〇〇 ・八〇〇 ・五〇〇 ・八〇〇 ・五〇〇 ・二〇〇 ・六〇〇 ・五〇〇 一・五〇 ・四〇〇 一・五〇〇	一〇六 二二 二六 二七 二〇一 二五 二二 二四 一三 五 五 九 二 六 二 二九	莊人社 東京開成館 同 同 尙文堂 四條書房 北星堂書店 北星堂書店 莊人社 平原社 大倉廣文堂 尙文堂 北星堂書店 國際觀光協會 日獨書院 南江堂 丸善株式會社	モルナール傑作短篇 集 Kriegsbrieife gefal- -tener studenten 綜合的獨逸小讀本	松室重行 尾崎賢三郎 久保直方	一・二〇 一・一〇 ・八〇	×二五 〇二四 〇八	日獨書院 南山堂 同	本郷 同 同
---	---	--	--	---	--	-----------------------	---------------------	------------------	------------------	--------------

(三其) 書學文國るな重の代時戸江

千紫萬紅	四方のあか	萬載狂歌集	俳風柳樟	おらが春	一茶發句集	一茶句帳	七番日記	鶉衣集	燕翁句集	俳諧玉藻集	燕村七部集	新花摘	一夜四陰	炭俵野	續猿蓑集	嵯峨日記
同	同	太田蜀山	柄井川柳	同	同	同	小林一茶	董	同	同	同	同	同	同	同	松尾芭蕉
同	同	天明三	嘉永五	同	同	同	文化五	天保三	天明四	文政五	同	天明四	安永二	同	同	元祿四
同	同	武家義理物語	好色一代女	好色五人女	好色二代男	好色一代男	お伽婢子	浮世物語	大佛物語	可笑記	二人比丘尼	因果物語	あづまなまり	同	同	萬紅千紫
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	太田蜀山
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	文化五
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	新可笑記
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	井原西鶴
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	元祿元

〔一七〕 歴史

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
豐鐘善鳴錄坤乾	河野彦契	非	二冊	直入史談會大分
大日本教育沿革史	小田廣	〇・三二	二冊	教育振興會板橋
古事記大講第三十卷	水谷清	〇・二〇	二冊	水谷清屋名古
國六國史續日本紀上	今泉忠義	二・八〇	〇・三〇	大岡山書店麻布
新訂國史大系第六卷	黑板勝美	〇・五〇	約	國史大系會京橋
英雄巨人を語る	近藤保雄	〇・三〇	約	眞人社神戸
建國三千年史	山田米吉	〇・二〇	約	巧人行會神田
國史の輝き	中村徳五郎	〇・三〇	〇・四冊	巧人行會神田
國史の現代	清原貞雄	〇・三〇	〇・三冊	藤井書店神田
精神の顯現	石川	〇・一六	〇・一冊	石川縣圖書館協會
舊條記	石川	〇・一六	〇・一冊	石川縣圖書館協會
稿本金澤市史	金澤市役所	〇・三三	約	金澤市役所石川
幕末、明治、大正	大澤米造	〇・一〇〇	約	東洋文化協會京橋
回顧八十年史	松元竹二	非	〇・七〇	誠文堂神田
日本神話傳説大系	大澤米造	〇・三〇	約	東洋文化協會京橋
幕末、明治、大正	中島徳太郎	非	〇・一〇〇	金澤文化協會石川
回顧八十年史第三輯	中島徳太郎	〇・三〇	約	吉川弘文館京橋
金澤古蹟志九	圖鑑編輯所	〇・五〇	〇・一冊	白揚社神田
日本歴史	伊津野直	〇・四六	〇・一冊	東方文化協會京橋
東方學報京都第四冊	農林省	〇・六五	〇・一冊	京都研究所京橋
日本林制史資料	田村榮太郎	〇・三〇	〇・一冊	白揚社神田
江戸幕府領上	中摩照久	〇・三三	〇・一冊	新光社同
歴史の人物を抉ぐる	貫鹽法枕	〇・七五	〇・一冊	貫鹽法枕道
世界文化史大系5	小野精一	〇・五〇	〇・一冊	宇佐郡史協會大分
アイヌの同化と先蹤	野田智鏡	〇・五〇	〇・一冊	永田文昌堂京都
宇	島本一	〇・一〇〇	〇・一冊	大和上代奈良
石山軍記説教	野田智鏡	〇・五〇	〇・一冊	大和上代奈良
大和石器時代研究	島本一	〇・一〇〇	〇・一冊	文化研究會奈良

歴史

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
南紀熊野の説法	新賀貞次郎	〇・二〇	二〇	紀南の温泉社 和歌山
【二月】				
日本精神 南海雄飛記	實業之日本社	一・二〇	三八	實業之日本社 京都
山梨農民運動史	竹川義徳	一・二〇	三〇	大和屋書店 甲府
日本兵食史下巻	陸軍省 糧秣本廠	五・〇〇	八〇	糧友會 深川
史記 鈔	土橋文夫	九・〇〇	二四	平野書店 京都
大日本史 第五料	東京帝大	七・〇〇	九四	史料編纂所 本郷
明治大正 大阪府史第六卷	大阪市	〇・二八	二八	日本評論社 京都
吉田松陰	徳富猪一郎	一・五〇	三〇	明治書院 神田
オスワルド	玉城 肇	〇・〇〇	四六	弘文堂 本郷
西洋印刷文明史	内山貞三郎	四・五〇	六五	弘文堂 京都
世獨乙演劇史	黒板勝美	〇・七二	七二	國史大系 東京
新訂増補 國史大系 第四十六卷	上野菊爾	二・五〇	四九	積文館 神田
稿本 東洋文化史	大澤米造	二・〇〇	一〇〇	東洋文化協會 京都
幕末、明治、大正 回顧八十年史第十二期	長壽吉	二・八〇	五九	平凡社 日本橋
世界歴史大系 第三篇 西洋近代史				
日本精神 教育	中野八十八	五・五〇	七二	新生閣書店 神田
國史 教育	尾崎久爾	非	一〇	小川善三郎 名古屋
日本考古學概論	大澤米造	一・三〇	一〇〇	東洋文化協會 京都
建武中興	大場磐雄	二・三〇	二四	日東書院 神田
小野翁 野史	建武中上六 百年記念會	非	二七	記念會 澁谷
久知軍記	小野芳彦	五・〇〇	八二	縣立新宮中學 和歌山
吉野朝時代に於ける 讃岐の一大勤王事蹟	羽田清次	非	〇	校同窓會 山
勤王阿蘇家の活躍と 静岡縣郷土研究 第二輯	堀 正二	七・〇〇	七	佐渡叢書 新潟
邦滿洲國史教本	郷土研究協會	非	二六	郷土研究協會 静岡
邦滿洲國史教本	筒井清芳	一・〇〇	一六	好文社 小石
建武中興	藤井甚太郎	非	〇	神奈川縣支部 神奈川
綜合日本歴史大系(12) 明治時代	喜多章明	一・五〇	五八	株式會社 小石
北海 道アイヌ 民族史				アイヌ協會 北海道

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	
佛蘭西側面	後藤末雄	三・〇〇	三〇	第一書房 神田	
滿洲建國正史	滿洲協會	八・〇〇	一五	河出書房 日本橋	
傳説乃河内	松本壯吉	一・七〇	四八	傳説物語會 大阪	
甲斐志料集成 一一	萩原頼平	非	〇	甲斐行會 山梨	
建武中興	岩手縣教育會	同	〇	岩手縣教育會 岩手	
世界文化史大系 11 文藝復興時代	仲摩照久	△	三三	新光社 神田	
増訂 吉野哀史	鈴木及吉	一・八〇	二六	吉川出版部 日本橋	
歴史の人物を抉ぐる	田村榮太郎	一・五〇	四三	白揚社 神田	
日本文化史圖録	木代修一	三・八〇	四五	四海書房 豊島	
憂國の至情	川崎久敏	一・〇〇	二五	朝日書房 神田	
新訂國史大系 第四十卷 増補	黒板勝美	〇・七六	七六	國史大系會 東京	
世界歴史大系 4 東洋中世記 第一篇	志田不動磨	三・八〇	五五	平凡社 日本橋	
斯人出でよ	松村介石	一・三〇	二四	北文館 小石	
静岡縣傳説昔話集	森田 勝	非	〇	谷島屋書店 静岡	
改邦文日本外史	頼山陽	一・五〇	七八	三陽書院 静岡	
池邊義象	池邊義象	一・〇〇	三〇	白揚社 神田	
歴史科學 第二册	中村徳二郎	一・〇〇	三〇	白揚社 神田	
日本國民史下巻 印刷文明史索引	齋藤斐章	五・二〇	三六	賢文館 神田	
史譚と民俗	島屋政一	非	△	〇	文明史刊行會 大阪
日本林制史資料 江戸幕府領下	本山桂川	一・五〇	二八	朝陽會同 神田	
近世日本國民史 久世安藤執政時代	農林省	〇・五〇	五〇	朝陽會同 神田	
新世界興隆史	徳富猪一郎	五・〇〇	五五	明治書院 神田	
四天王寺と大阪	徳尾野有城	非	〇	三三	有田 大阪
海より見たる越中	生田南水	同	〇	二六	大阪六葉會同
趣味の東洋史	井上忠雄	〇	一八	倉田精美堂 高岡	
修訂 駿河國新風 弘法大師と文化	近藤幸衛	一・五〇	三三	寶文館 日本橋	
【四月】					
幕末西洋文化と 沼津兵學校	新庄道雄	一・〇〇	一六	志豆波多會 静岡	
黒船畫譜	朝日新聞社	三・三〇	一五	朝日新聞社 大阪	
幕末、明治、大正 回顧八十年史第五輯	米山梅吉	非	〇	一七	米山梅吉 赤坂
維新を語る	森 一	四・〇〇	一三	森 一 静岡	
大澤米造	大澤米造	一・二〇	△	〇	東洋文化協會 京都
下中彌三郎	下中彌三郎	一・五〇	〇	五八	平凡社 日本橋

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
明治文化研究論叢	尾佐竹 猛	〇・三〇〇	三〇〇	一冊	本社郷
世界文化史大系15	仲摩照久 豫	△約	四〇〇	新	光社郷
日本古典の再吟味	溝口駒造	二・五〇〇	二四三	中文館書店	牛込
神話傳説大系、支那	松元竹二	非	〇・五〇〇	誠	文堂郷
朝鮮臺灣神話傳説集	マリア、ルイ	一・〇〇〇	二七	森	山書店同
トテミズムの研究	古野清人	一・〇〇〇	二七	森	山書店同
皇道乃日本	皇道乃	非	〇・五〇〇	皇道乃	日本社郷
弘法大師傳	内山憲堂	一・五〇〇	三〇	佛	教日曜
新革命前夜物語	白柳秀湖	一・五〇〇	四〇	千倉	書房京橋
ゾオルフ民族文化史	間崎萬里	二・五〇〇	四二	刀	江書院郷
キルヘルム 遍歴時代	中島 清	二・八〇〇	七六	三笠	書房淀橋
日本外史新解	簡野道明	一・九〇〇	五〇	明治	書院郷
日本林制史資料	農 林 省	〇・七〇〇	六〇	朝	陽會郷
日獨國交斷絶秘史	船越光之亟	二・五〇〇	三六	日東	書院郷
日歐米史	藤田 精一	一・八〇〇	三三	樂	園書房同
日本名分汚瀆論	京口元吉	二・五〇〇	〇・五〇〇	廣文	堂書店牛込
概觀日本史要					

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
世界歴史大系2	駒井和愛	二・八〇〇	六三	平	社郷
東洋考古學	小川多一郎	〇・九〇〇	三六	中	和書院本郷
聖駕奉迎	渡邊尙廣	非	〇・五〇〇	渡邊尙	廣書院本郷
記念出版 三角讀本	早川二郎	一・三〇〇	三四	白	揚社郷
日本歴史讀本	早川二郎	一・三〇〇	三四	白	揚社郷
史學概論	アルフレッド、	一・二〇〇	二〇〇	同	同郷
新世界史讀本	アルフレッド、	一・五〇〇	一八	同	同郷
維新史の方法論	磯村英一	一・〇〇〇	三三	同	同郷
近世西洋史下卷	服部之總	一・〇〇〇	三三	同	同郷
世界文化史大系	リチャード	一・八〇〇	二五	叢	文閣郷
隋唐の成世	仲摩照久	△	二二	新	光社郷
元寇史	馬渡重明	一・二〇〇	二二	郷土	史研究會郷
馬渡島と島原亂秘史	馬渡重明	一・二〇〇	二二	郷土	史研究會郷
金澤古蹟志	中島徳太郎	非	〇・二〇〇	金澤	文化協會石川
維新日誌 第二期	橋本 博	同	〇・二〇〇	研	岡郷
大日本神皇記	木村錦州	〇・〇〇〇	二九	皇國	日報社大阪
大日本編之五	東大	七・〇〇〇	九六	部	史料編纂所本郷
第十一編之五	帝國大學	七・〇〇〇	九六	部	史料編纂所本郷
新聞雜誌に現れた明治時代文化	石田文四郎	三・五〇〇	五三	時	代文化會郷
史料大成 中古記	川俣馨一	三・三〇〇	四三	株	外書會社郷

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
維新日誌 第二期	橋本 博	非	〇・二〇〇	研	岡郷
幕末、明治、大正	大澤米造	一・三〇〇	八〇	東洋	文化協會京橋
回顧八十年史第六輯	篠田 雀	△約	二五〇	國民	通信社板橋
新撰郷土史大系	瀧澤良芳	一・五〇〇	三〇	健	文社郷
日本政記論文精解	北垣恭次郎	二・〇〇〇	五〇	實業	之日本社京橋
日本文化史談中卷	實業	一・二〇〇	三四	同	同郷
日本精神作興歴史讀	堀 正平	六・〇〇〇	八〇	劍道	書刊行會吳
本國難神風記	日本	一・〇〇〇	三四	同	同郷
大日本劍道史	堀 正平	六・〇〇〇	八〇	劍道	書刊行會吳
國史の懷古	地理學會	〇・六〇〇	一四	普	及會郷
平間寺史	佐藤教倫	非	〇・二五〇	平間	寺出版部郷
西洋音樂史	石山修平	五・五〇〇	六六	目	黒書店郷
第一卷 希臘篇	長田秀雄	一・六〇〇	四三	春	秋社郷
昭和血士錄	大阪	〇・九〇〇	九六	日本	評論社京橋
明治大正 大阪市史	遠藤安太郎	△	二册	刊	日本山林會郷
第一卷 概論篇	遠藤安太郎	△	二册	刊	日本山林會郷
保護林篇、上、下	遠藤安太郎	△	二册	刊	日本山林會郷
春敵公と舍雪公	霞南小松緑	二・〇〇〇	四四	學	而書院下谷

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
世界歴史大系5	三島 俊一	二・八〇〇	五二	平	凡社郷
東洋中世史 第二編	倉橋惣三	三・八〇〇	四〇	株	式會社郷
日本幼稚園史	新庄よしこ	非	〇・四〇〇	宮澤	小五郎郷
同潤會十年史	宮澤小五郎	非	〇・四〇〇	宮澤	小五郎郷
神話傳説大系	松元竹二	同	〇・八四三	誠	文堂郷
神話傳説大系	松元竹二	同	〇・八四三	誠	文堂郷
幕末、明治、大正	大澤米造	△	二二	東洋	文化協會京橋
回顧八十年史第七輯	大澤米造	△	二二	東洋	文化協會京橋
明治 大阪市史	大阪	〇・四六六	四六	日本	評論社同
大正 大阪市史	大阪	〇・四六六	四六	日本	評論社同
金山太田誌	富岡牛松	一・八〇〇	四三	富岡	書店群馬
大日本産業史	篠田 雀	△	二〇七	通	信社郷
日本國民誌	梶 威人	〇・二〇七	二〇七	萬朝	報社調査部内京橋
名古屋 第一	市名古屋	六・五〇〇	四四	川	瀨書店名古
史人物篇 第二	市名古屋	六・五〇〇	四四	川	瀨書店名古
同	市名古屋	六・五〇〇	四四	川	瀨書店名古
梅光女學院史	梅光女學院	非	〇・五〇〇	梅光	女學院山口
小城郡誌	小城郡	同	〇・五〇〇	小城	郡教育會佐賀
岡山縣傳説讀本	花田一重	〇・六〇〇	八〇	文	正社書店本郷
日吉六十年誌	小倉正巳	非	〇・四六六	大阪	市日吉會郷

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
近世日本國民史 文久大勢一變 上篇	徳富猪一郎	五・〇〇	〇六九	民友社 神田
近世日本國民史 文久大勢一變 下篇	徳富猪一郎	五・〇〇	〇六九	民友社 神田
岐阜縣會沿革誌 續ノ八	岐阜縣會	〇五三	〇五三	岐阜縣會 岐阜
趣味 遊女の時代色	武田完二	二・〇〇	〇三三	大同館書店 神田
銀座解剖圖變遷史編	石角春之助	一・二〇	〇三八	丸ノ内出版社 東京
【八月】				
白山所屬爭議	中田邦造	〇一八	〇一八	石川縣會 石川
金澤古蹟志 第一編	中島徳太郎	非	〇一五	金澤文化協會 同
昭和八年四月 大津・膳所・石山廢置記録	滋賀縣	同	〇三三	滋賀縣會 滋賀
猶太の人人々	安江仙弘	五・〇〇	〇一六	軍人會館 神田
契丹古傳詳解全	濱名寛祐	三・〇〇	〇四七	東大古族學會 中野
小學 日本女性名花集	川畑篤郎	一・四〇	〇三五	厚生閣書店 神田
國史 日本女性名花集	仲摩照久	△	〇三三	新光社 神田
世界文化史大系 20	松本彦次郎	一・五〇	〇三三	日本文化協會 神田
アメリカ諸國の發展	柴田顯正	〇六二	〇六二	岡崎市役所 愛知
國民精神文化研究第一集 第一册 古事記の成立	中山久四郎	二・八〇	〇三三	賢文館 神田
岡崎市史別卷 徳川家康と其周圍 中卷				
史學及東洋史の研究				

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
民間傳承論	柳田國男	二・三〇	〇三三	共立社 神田
明治變態風俗史	石田龍藏	三・〇〇	〇四八	宏元社書店 大阪
戸塚郷土誌	中嶋富之助	〇	〇四五	戸塚町郷土會 神奈川
若松を語る	石崎敏行	非	〇一八	石崎敏行 福岡
大正、昭和 治史の一斷面	片岡直温	同	〇八三	西川百子 京都
神代の繪話	丸尾博通	五・〇〇	〇一七	大衆神道社 牛込
町史布袋町大觀	村瀬鼎五郎	三・〇〇	〇四六	大觀發行所 愛知
美濃國長瀧史料	片野温	非	〇一六	北濃村役場 岐阜
東宇和郡沿革史	西園寺源透	同	〇四二	東宇和郡會 愛媛
安筑市町村提要	飯沼務	同	〇一七	文龍館 長野
【九月】				
會津年表全	北村金三郎	一・二〇	〇三六	會津文庫 福島
神話傳説大系メキシコペルー神話傳説集	松村武雄	非	〇七四	誠文堂 神田
東洋文明史論叢	桑原隲藏	三・八〇	〇五二	弘文堂書房 同
天皇と國史の進展	中村直勝	三・五〇	〇四二	賢文館 同
明治史研究	渡邊幾治郎	三・〇〇	〇四〇	樂浪書院 中野
近世日本國民史 前篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
近世日本國民史 後篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
維新日誌 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
立憲民政黨史	吉岡宇三郎	△	〇五五	立憲民政黨史編纂部 神田
西野近世史 第一篇	大澤米造	三・八〇	〇五二	大澤米造 同
幕末、明治、大正 回顧八十年史 第十一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
顧八十年史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
世界近世史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
立憲民政黨史 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
維新日誌 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
近世日本國民史 前篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
近世日本國民史 後篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
彼理來航以前の形勢	同	〇	〇四八	同
建武中興の本義	平泉澄	二・〇〇	〇三三	至文堂 牛込
甲斐志料集成 九	萩原頼平	非	〇五〇	甲斐志料會 山梨
楠氏研究	藤田精一	一・六〇	〇七六	積善館 大阪
世界文化史大系 四	仲摩照久	△	〇三三	新光社 神田
ギリシヤ民族の活躍	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
靜岡縣史料 第三輯	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
殺す人殺さるる人	澤田順次郎	一・八〇	〇三八	大誠堂 東京
新訂増補國史大系 第三卷 後編 第四篇	黒板勝美	〇	〇二四	國史大系會 同
日本精神文化大系 第六卷 江戸時代篇 上	藤田徳太郎	三・〇〇	〇四八	金星堂 神田
近世日本文學大系 第七卷 浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
名作浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
今昔物語下(本朝)部	同	同	〇二八	同
幕末、明治、大正 回顧八十年史 第十一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
顧八十年史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
世界近世史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
立憲民政黨史 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
維新日誌 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
近世日本國民史 前篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
近世日本國民史 後篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
彼理來航以前の形勢	同	〇	〇四八	同
建武中興の本義	平泉澄	二・〇〇	〇三三	至文堂 牛込
甲斐志料集成 九	萩原頼平	非	〇五〇	甲斐志料會 山梨
楠氏研究	藤田精一	一・六〇	〇七六	積善館 大阪
世界文化史大系 四	仲摩照久	△	〇三三	新光社 神田
ギリシヤ民族の活躍	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
靜岡縣史料 第三輯	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
殺す人殺さるる人	澤田順次郎	一・八〇	〇三八	大誠堂 東京
新訂増補國史大系 第三卷 後編 第四篇	黒板勝美	〇	〇二四	國史大系會 同
日本精神文化大系 第六卷 江戸時代篇 上	藤田徳太郎	三・〇〇	〇四八	金星堂 神田
近世日本文學大系 第七卷 浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
名作浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
今昔物語下(本朝)部	同	同	〇二八	同
幕末、明治、大正 回顧八十年史 第十一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
顧八十年史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
世界近世史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
立憲民政黨史 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
維新日誌 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
近世日本國民史 前篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
近世日本國民史 後篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
彼理來航以前の形勢	同	〇	〇四八	同
建武中興の本義	平泉澄	二・〇〇	〇三三	至文堂 牛込
甲斐志料集成 九	萩原頼平	非	〇五〇	甲斐志料會 山梨
楠氏研究	藤田精一	一・六〇	〇七六	積善館 大阪
世界文化史大系 四	仲摩照久	△	〇三三	新光社 神田
ギリシヤ民族の活躍	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
靜岡縣史料 第三輯	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
殺す人殺さるる人	澤田順次郎	一・八〇	〇三八	大誠堂 東京
新訂増補國史大系 第三卷 後編 第四篇	黒板勝美	〇	〇二四	國史大系會 同
日本精神文化大系 第六卷 江戸時代篇 上	藤田徳太郎	三・〇〇	〇四八	金星堂 神田
近世日本文學大系 第七卷 浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
名作浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
今昔物語下(本朝)部	同	同	〇二八	同
幕末、明治、大正 回顧八十年史 第十一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
顧八十年史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
世界近世史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
立憲民政黨史 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
維新日誌 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
近世日本國民史 前篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
近世日本國民史 後篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
彼理來航以前の形勢	同	〇	〇四八	同
建武中興の本義	平泉澄	二・〇〇	〇三三	至文堂 牛込
甲斐志料集成 九	萩原頼平	非	〇五〇	甲斐志料會 山梨
楠氏研究	藤田精一	一・六〇	〇七六	積善館 大阪
世界文化史大系 四	仲摩照久	△	〇三三	新光社 神田
ギリシヤ民族の活躍	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
靜岡縣史料 第三輯	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
殺す人殺さるる人	澤田順次郎	一・八〇	〇三八	大誠堂 東京
新訂増補國史大系 第三卷 後編 第四篇	黒板勝美	〇	〇二四	國史大系會 同
日本精神文化大系 第六卷 江戸時代篇 上	藤田徳太郎	三・〇〇	〇四八	金星堂 神田
近世日本文學大系 第七卷 浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
名作浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
今昔物語下(本朝)部	同	同	〇二八	同
幕末、明治、大正 回顧八十年史 第十一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
顧八十年史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
世界近世史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
立憲民政黨史 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
維新日誌 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
近世日本國民史 前篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
近世日本國民史 後篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
彼理來航以前の形勢	同	〇	〇四八	同
建武中興の本義	平泉澄	二・〇〇	〇三三	至文堂 牛込
甲斐志料集成 九	萩原頼平	非	〇五〇	甲斐志料會 山梨
楠氏研究	藤田精一	一・六〇	〇七六	積善館 大阪
世界文化史大系 四	仲摩照久	△	〇三三	新光社 神田
ギリシヤ民族の活躍	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
靜岡縣史料 第三輯	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
殺す人殺さるる人	澤田順次郎	一・八〇	〇三八	大誠堂 東京
新訂増補國史大系 第三卷 後編 第四篇	黒板勝美	〇	〇二四	國史大系會 同
日本精神文化大系 第六卷 江戸時代篇 上	藤田徳太郎	三・〇〇	〇四八	金星堂 神田
近世日本文學大系 第七卷 浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
名作浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
今昔物語下(本朝)部	同	同	〇二八	同
幕末、明治、大正 回顧八十年史 第十一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
顧八十年史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
世界近世史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
立憲民政黨史 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
維新日誌 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
近世日本國民史 前篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
近世日本國民史 後篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
彼理來航以前の形勢	同	〇	〇四八	同
建武中興の本義	平泉澄	二・〇〇	〇三三	至文堂 牛込
甲斐志料集成 九	萩原頼平	非	〇五〇	甲斐志料會 山梨
楠氏研究	藤田精一	一・六〇	〇七六	積善館 大阪
世界文化史大系 四	仲摩照久	△	〇三三	新光社 神田
ギリシヤ民族の活躍	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
靜岡縣史料 第三輯	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
殺す人殺さるる人	澤田順次郎	一・八〇	〇三八	大誠堂 東京
新訂増補國史大系 第三卷 後編 第四篇	黒板勝美	〇	〇二四	國史大系會 同
日本精神文化大系 第六卷 江戸時代篇 上	藤田徳太郎	三・〇〇	〇四八	金星堂 神田
近世日本文學大系 第七卷 浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
名作浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
今昔物語下(本朝)部	同	同	〇二八	同
幕末、明治、大正 回顧八十年史 第十一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
顧八十年史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
世界近世史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
立憲民政黨史 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
維新日誌 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
近世日本國民史 前篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
近世日本國民史 後篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
彼理來航以前の形勢	同	〇	〇四八	同
建武中興の本義	平泉澄	二・〇〇	〇三三	至文堂 牛込
甲斐志料集成 九	萩原頼平	非	〇五〇	甲斐志料會 山梨
楠氏研究	藤田精一	一・六〇	〇七六	積善館 大阪
世界文化史大系 四	仲摩照久	△	〇三三	新光社 神田
ギリシヤ民族の活躍	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
靜岡縣史料 第三輯	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
殺す人殺さるる人	澤田順次郎	一・八〇	〇三八	大誠堂 東京
新訂増補國史大系 第三卷 後編 第四篇	黒板勝美	〇	〇二四	國史大系會 同
日本精神文化大系 第六卷 江戸時代篇 上	藤田徳太郎	三・〇〇	〇四八	金星堂 神田
近世日本文學大系 第七卷 浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
名作浄瑠璃集 上	中山泰昌	非	〇一五	誠文堂 同
今昔物語下(本朝)部	同	同	〇二八	同
幕末、明治、大正 回顧八十年史 第十一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
顧八十年史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
世界近世史 第一輯	大澤米造	一・二〇	〇三三	東洋文化協會 東京
立憲民政黨史 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
維新日誌 第二期 第六卷	橋本博	非	△二九六	研岡郷土會 大森
近世日本國民史 前篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
近世日本國民史 後篇	徳富猪一郎	〇	〇五三	民友社 神田
彼理來航以前の形勢	同	〇	〇四八	同
建武中興の本義	平泉澄	二・〇〇	〇三三	至文堂 牛込
甲斐志料集成 九	萩原頼平	非	〇五〇	甲斐志料會 山梨
楠氏研究	藤田精一	一・六〇	〇七六	積善館 大阪
世界文化史大系 四	仲摩照久	△	〇三三	新光社 神田
ギリシヤ民族の活躍	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
靜岡縣史料 第三輯	靜岡縣	〇	〇八五	靜岡縣會 靜岡
殺す人殺さるる人	澤田順次郎	一・八〇	〇三八	大誠堂 東京
新訂増補國史大系 第三卷 後編 第四篇	黒板勝美	〇	〇二四	國史大系會 同
日本精神文化大系 第六卷 江戸時代篇 上	藤田徳太郎	三・〇〇	〇四八	金星堂 神田
近世日本文學大系 第七卷 浄瑠璃集				

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
神國日向	國府種徳 外三名	一・五〇	〇三〇	二四	九州風景協會 世田
類聚國史第七十九	石黒文吉	非	〇一〇	卷物	育徳財團 目黒
聖駕奉迎 三角讀本	渡邊尙廣	同	〇五三	一卷	渡邊尙廣 藤本
松江商工會議所	太田直行	同	〇〇〇	〇〇	松江商工 島根
四十年年誌	乙部靜夫	同	〇〇〇	〇〇	東三河の傳説 會愛知
東三河の傳説物語	石野 瑛	同	〇〇〇	〇〇	武相考古會 川神奈
輝く神奏川縣史	山本武雄	同	〇〇〇	〇〇	信濃毎日 長野
北佐久郡口碑傳説集	館岡虎三	同	〇〇〇	〇〇	新開社 長野
天明救荒録 中村藩	橋本 博	同	〇〇〇	〇〇	角丸商店 福島
【十月】					
維新日誌 第二期	橋本 博	非	△二六	〇	靜岡郷土 會大森
北海道移民史	拓殖部	同	〇一五	〇	拓殖部 北海道
東方考古學叢刊 四	古學會	同	〇〇〇	〇	東亞考古學會 豐島
東京女子高等師範學校六十年史	東京女子高等師範學校	同	〇〇〇	〇	東京女子高等師範學校 小石
民族性と神話	松村武雄	同	〇〇〇	〇	培風館 神田
多紀郷土史話	福原潜次郎	同	〇〇〇	〇	多紀郷土史話會 兵庫
日本茶道史	重森三玲	五・〇〇	〇四九	〇	石清水八幡宮 所同
石清水八幡宮史	田中俊清	〇九六	〇九六	〇	社務所 所同
日向文獻史料	若山甲藏	非	△六〇	〇	日向文獻史料 會官崎
山口縣寺院沿革史	可公茂公	七・〇〇	△七四	〇	山口縣寺院沿革 會山口
實業教育五十年史	文部省實業局	非	〇五三	〇	實業教育五十 週年紀念會 龜町
奈良縣史蹟名勝天然紀念物調査報告(12)	奈良縣	非	△	〇	奈良縣 縣奈良
東京市域擴張史	東京市役所	非	〇二七	〇	東京市役所 龜町
大日本史料 第五編	帝國大學	七・〇〇	〇九七	〇	東京帝國大學 本郷
五十條天皇	長坂金雄	一・三〇	〇四九	〇	史料編纂所 本郷
幕末維新の研究	賀茂百樹	非	△六九	〇	靖國神社 所同
靖國神社忠魂史	片岡重助	〇八〇	〇四三	〇	社會教育會 館同
日本郷土物語 上	黒板勝美	〇五三	〇五三	〇	刊行 會京橋
新訂增補 國史大系	川俣馨一	三・三〇	〇三九	〇	内外書籍 會小石
五七公卿補任第五篇	仲摩照久	同	〇三三	〇	株式會社 神田
史料大成 中古記四	日野開三郎	同	〇五七	〇	新刊 會神田
世界文化史大系一〇					
中世の歐洲文化					
世界文化史大系三					
東洋中世史 第三篇					

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
幕末、明治、大正八回顧十年史 十二	大澤米造	一・三〇	△	〇	東洋文化協會 京橋
西蒙古部族考	須佐嘉橋	三・〇〇	〇一六	〇	須佐嘉橋 小石
史料大成 長秋記一	川俣馨一	一・三〇	〇三六	〇	内外書籍 會小石
維新雜史考	高梨光司	一・五〇	〇三三	〇	高梨光司 大阪
宮崎縣五十年史	松尾宇一	四・〇〇	〇四〇	〇	宮崎縣五十年 會宮崎
現代日本史	大森金五郎	三・五〇	〇六八	〇	富山房 神田
日向の研究 卷一	日高重孝	一・〇〇	〇三二	〇	文華堂書店 官崎
神話時代	中田邦造	同	〇三三	〇	石川縣協 會石川
水戸浪士西上録	同	同	〇二四	〇	同
一向一揆と富樫氏	同	同	〇二四	〇	同
日本食物史	櫻井秀	三・五〇	〇四九	〇	雄山閣 龜町
加賀藩史料七 自元	足立勇	同	〇四七	〇	同
文三年至寶曆七年	前田家編輯部	非	〇一〇〇	〇	前田家編輯部 目黒
國産金物發達誌	小西勝次郎	二・〇〇	〇三〇	〇	文書堂 本郷
埴科郡志	埴科郡役所	同	〇二〇	〇	埴科郡役所 長崎
創立六十年史	山口縣	非	〇二四	〇	山口縣 山口
特許局五十年史	特許局	同	〇二〇	〇	特許局 龜町
【十一月】					
見世物談義	中村新一	一・七〇	〇三七	〇	第三書院 神田
新史談民話	田中祐吉	一・八〇	〇三二	〇	東學社 橋本
世界歴史大系 一五	岡島誠太郎	二・八〇	〇五〇	〇	平凡社 日本
西洋古代史 第二篇	岡本茂男	三・九〇	〇二四	〇	日東書院 神田
對照 大日本全史	鈴木 良	△三九	〇二四	〇	新光社 同
世界文化史大系(22)	新村 出	三・〇〇	〇三九	〇	樂浪書院 中野
世界文化史大系(22)	徳富猪一郎	五・〇〇	〇六六	〇	民友社 神田
史傳叢考	大森金五郎	三・五〇	〇六八	〇	富山房 同
近世日本國民史	橋本 博	同	△二七〇	〇	靜岡郷土 會大森
文久大勢一變 中篇	黒板勝美	〇五〇	〇五〇	〇	刊行 會京橋
現代日本史	佐々木 三治郎	三・三〇	〇三六	〇	啓文社書店 本郷
維新日誌 第二期	安藤徳器	二・〇〇	〇三六	〇	日本公論社 神田
改訂 國史大系 三	内藤智秀	四・五〇	〇七六	〇	教育研究會 同
増補 國史大系 三	徳富猪一郎	同	〇五二	〇	民友社 同
日本歴史重要の研究	同	同	〇五九	〇	同
趣味の維新外史	同	同	〇五九	〇	同
西洋史概観	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 十	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 十一	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 十二	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 十三	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 十四	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 十五	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 十六	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 十七	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 十八	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 十九	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二十	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二十一	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二十二	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二十三	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二十四	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二十五	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二十六	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二十七	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二十八	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 二十九	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三十	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三十一	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三十二	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三十三	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三十四	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三十五	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三十六	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三十七	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三十八	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 三十九	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四十	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四十一	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四十二	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四十三	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四十四	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四十五	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四十六	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四十七	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四十八	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 四十九	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五十	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五十一	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五十二	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五十三	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五十四	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五十五	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五十六	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五十七	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五十八	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 五十九	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六十	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六十一	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六十二	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六十三	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六十四	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六十五	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六十六	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六十七	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六十八	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 六十九	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七十	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七十一	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七十二	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七十三	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七十四	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七十五	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七十六	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七十七	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七十八	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 七十九	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八十	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八十一	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八十二	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八十三	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八十四	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八十五	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八十六	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八十七	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八十八	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 八十九	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九十	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九十一	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九十二	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九十三	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九十四	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九十五	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九十六	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九十七	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九十八	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 九十九	同	同	〇五九	〇	同
近世日本國民史 一百	同	同	〇五九	〇	同

書名	著譯者	定價	頁形體 數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體 數	發行所
江戸と大阪	幸田成友	二・五〇	〇三〇	富山房	古代之東三河	豊田伊三美	〇一四三	〇二四	豊橋汲古會
史料大成 山槐記 ^{二〇}	川俣馨一	三・二〇	〇三〇	株式會社	五島民俗圖誌	久保清	三・〇〇	〇五八	誠社
日本僧兵研究	日置昌一	二・五〇	〇三六	平凡社	大滿洲建國秘史	飯田徳治	三・三〇	〇七二	敬文社
鷹山公偉蹟錄	甘糟繼成	五・五〇	〇二九	鷹山公偉蹟錄會	御觸書寛保集	石井良助	八・〇〇	〇三六	岩波書店
幕末、明治、大正 回顧八十年史 ^{十三}	大澤米造	一・二〇	〇二九	東洋文化協會	邦文日本政記	高柳眞三	三・五〇	〇五二	三陽書院
大中津の名流	山本艸堂	〇・〇〇	〇三四	豐光舎	趣味江戸城大奥秘史	梁岳碧沖	三・五〇	〇五二	三陽書院
聖アロイジ才傳	森雅子	〇・四〇	〇二六	武宮出版部	滿洲に於ける蒙古民族	武田完二	二・五〇	〇五〇	大同館書店
【十二月】					日本歴史讀本	後藤富男	非〇	〇二四	善隣協會
歴史科學合本第四册	中村徳二郎	一・〇〇	〇〇〇	白揚社	栃木縣史四 寺院篇	早川二郎	一・三〇	〇三六	白揚社
福知山町水道誌	福知山町役場	非	△二二七	福知山町役場	横から見た赤穂義士	田代善吉	五・五〇	〇六三	下野史談會
西洋史新講	大類伸	四・五〇	〇八七	富山房	龜山石井實記	三田村玄龍	一・五〇	〇三六	叢文閣
類聚傳記大日本史 第三卷 大名篇	長坂金雄	〇・五〇	〇五〇	雄山閣	新潟市史 下	中山正二	二・〇〇	〇二五	中文館書店
明治勤王黨事蹟	寺崎三矢吉	〇・三三	〇三三	筑後遺蹟會	幕末、明治、大正 回顧八十年史 ^{十四}	新潟市役所	〇二四	〇二五	新潟市役所
神皇正統紀	阪本作之助	一・五〇	〇三〇	刊行會	史料大成 長新記 ^二	大澤米造	一・三〇	〇三三	東洋文化協會
廣島電氣沿革史	川村文夫	〇・五〇	〇三〇	白山比咩神社	近世日本國民史 ^三	川俣馨一	三・二〇	〇三三	株式會社

近世日本國民史 ^三	德富猪一郎	〇五〇	〇五〇	民友社
織田氏時代 後篇	山脇重雄	二・八〇	〇五〇	平凡社
世界歴史大系 ^二	重原慶信	二・〇〇	〇二五	大觀堂書店
改訂 國史概論	蛇原八郎	二・八〇	〇二九	大觀堂書店
日本歐字新聞雜誌史	大木 薫	三・〇〇	〇四二	赤海月社
日本各地傳説集	奈良帝室博物館	一・〇〇	〇五	圖書出版部
第一卷 山陰九州篇	岡田宗司	六・〇〇	〇七六	學藝社
歴史 室物館	橋本 博	非	△	研岡郷會
維新日誌 第二期	岸畑久吉	一・〇〇	〇八一	雄山閣
類傳記大日本史 ^二	長坂金雄	〇・五七	〇五七	早稻田大學
將軍執政篇	高橋彦之丞	〇・一八	〇一八	出稲田大學
史 觀 七	小牧 猛	非	〇	西條史談會
西修誌 一ノ二〇	瀧谷禮治	同	〇二六	朝鮮銀行
吉良物語	藤田亮策	△	〇四九	肥前史談會
朝鮮銀行二十五年史	香島成忠	〇・五〇	〇四九	便利堂
樂浪彩篋家	佐々木清一郎	〇・六〇	〇六〇	誠社
濱田町史				

假名一字のちがひ

假名一字のために意味がかはり前後の文意が不明になることがある、廣告文を書く時、又は校正の時にかういふ場合、特に紛れないやうに注意すること。

—例—

……についで	……についで
……といへまい	……といへない
……あるまいか	……あるまいが
……の提議した	……に提議した
……と語る	……を語る
方針がたつてない	方針がなつてない
國境を撤退した	國境に撤退した

……考へてさせる	……考へさせる
……京都へ出發	……京都出發
……數回に寄贈	……數回寄贈
三分の一を減少	三分の一に減少
三百萬圓を増額	三百萬圓増額

原稿中に紛らはしい略字を用ひぬこと。

—例—

口を國・園・團などの略字とするもの
 厂を厲・歴・曆などの略字とするもの
 广を磨・摩・廳などの略字とするもの
 才を歳・裁の略字とするもの
 后を後の略字とするもの
 灯を燈の略字とするもの

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
松平久坂玄瑞	福本義亮	四〇〇〇	七九六	誠文堂	神田
幕末外池田筑後守	小林久磨雄	・八〇〇	一五四	恒心社	岡山
ブルターク英雄傳	鶴見祐輔	一〇〇〇	五三三	改造社	芝
軍醫としての生	山田弘倫	二五〇〇	四〇七	醫海時報社	小石
武富時敏	澁谷作助	一五〇〇	二六三	武富時敏會	京橋
子爵田中不二磨傳	西尾豐作	非	四九	西尾豐作會	京橋
近代快傑錄	尾崎行雄	一三〇〇	三二	千倉書房	京橋
弘法大師傳	中村孝也	非	一七五	弘法大師千百年小石御遠忌記念會	小石
名僧智僧傳	座光寺憲之	三〇〇〇	七六八	聖教書院	神田
唐の太宗	清家瑩三郎	八〇〇〇	五〇四	康文社	牛込
長久保赤水	杉田雨人	一五〇〇	二六二	又書店	水戸
【四月】					
世界二十傑傳	浩文社	一八〇〇	四九	浩文社	日本橋
平賀義美先生	秋山廣太	非	四二	秋山廣太兵庫	兵庫
故吉野博士を語る	赤松克磨	・六〇〇	二六六	中央公論社	麹町
ブルターク英雄傳一	鶴見祐輔	一〇〇〇	四七四	改造社	芝
支配者のハースト	大野木繁太郎	一五〇〇	三三	千倉書房	京橋
母としての乃木夫人	若澤登一	非	二五八	實業之日本社	同
軍國山鹿素行先生傳	齋藤吊花	二四〇〇	四九	修養圖書會	麹町
精神山鹿素行先生傳	小島德治	二五〇〇	三〇〇	高知書院	高知
土佐俠客義人傳	中山昌樹	二五〇〇	四〇〇	新生堂	神田
フランシジの聖	大坂毎日	二〇〇〇	九	新大阪毎日	大阪
弘法大師	新編	二〇〇〇	八四	中祖傳編纂會	京都
了源上人の研究	編纂會	一〇〇〇	一三	大正堂書店	長野
畫人雲坪	高津才次郎	一〇〇〇	一八	谷光	本
故熊本縣學務部長谷龍之助氏を偲び	谷光	非	一八	谷光	本
【五月】					
孝譽現有大僧正	加藤鏡心	〇	一九	知恩院	京都
田中和吉氏言行錄	藤季洵	非	二〇	啓潤會	福井
超科學日本の田熊翁	河村直	一〇〇〇	二五〇	發明興業館	麹町
補弘法大師傳	中村孝也	一〇〇〇	二五〇	國民文化會	本郷

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
聖者ドンボスコ傳	サレジオ會	非	三七一	ドンボスコ社	大分
贈松平定安公傳	松平直亮	非	六〇	松平直亮四谷	同
大聖釋尊傳	磯村野風	・七〇〇	一九〇	日蓮宗名著會	豊島
世外井上公傳	阪谷芳郎	・七〇〇	七九	株式會社	小石
國谷誠之助傳	片倉健四郎	非	三〇	誠之助會	川
磐城平瀨關室直養傳	諸根樟一	同	二八〇	室關先生會	福島
高僧山下現有上人	井川定慶	・二〇〇	二七四	政經書院	京都
紀伊先賢傳記第一	高垣英一	〇	五〇六	有田郡教育會	和歌
【六月】					
大原幽學の事蹟	飯田傳一	・七〇〇	二四〇	東興社	小石
偉人東郷元帥	大道弘雄	・二〇〇	八二	朝日新聞社	大阪
楠瀬先生	吉本誠一	非	一六	楠瀬先生會	本郷
聖將東郷平八郎傳	小笠原長生	一〇〇〇	五三	改造社	芝
徂徠研究	岩橋遵成	四〇〇〇	五四	關書院	豊島
國民教育大楠公	土橋眞吉	八〇〇〇	八六	斯文館出版部	大阪
より見たる	秋山悟庵	・三〇〇	一七六	大京堂出版部	神田
偉人研究第七十五編	伊藤博文言行錄	・三〇〇	一七六	大京堂出版部	神田
偉人研究第十一編	秋山悟庵	・三〇〇	二五	大京堂出版部	神田
貝原益軒言行錄	大屋徳城	・三〇〇	一六二	同	同
同蓮上言行錄	井口丑二	・三〇〇	一六二	同	同
同豊臣秀吉言行錄	五十嵐越郎	・三〇〇	二四二	同	同
同吉田陰行言行錄	秋山悟庵	・三〇〇	一五〇	同	同
同聖徳太子言行錄	丸島敬	・三〇〇	一七〇	同	同
同居宣長言行錄	大屋徳城	・三〇〇	一六八	同	同
同法大師言行錄	松原至文	・三〇〇	一四四	同	同
同西郷隆盛言行錄	中里介山	・三〇〇	一七〇	同	同
同二宮尊徳言行錄	今井よね	・五〇〇	二八	日本MTL	同
メリー・リード	西村文則	・三〇〇	五三	昭和書房	同
藤田東湖	佐藤兼助	二五〇〇	八三	日本孝子傳	麹町
日本老子傳全	鶴見祐輔	一〇〇〇	六五	改造社	芝
ブルターク英雄傳六	小原正忠	・二〇〇	五八	軍人會	麹町
東郷元帥と	小松緑	・二〇〇	二七	事業部	麹町
日本海海戰	山口愛川	・五〇〇	三五	學而書院	下谷
偉人奇人	山口愛川	・五〇〇	三五	學而書院	下谷
世界の東郷	山口愛川	・五〇〇	三五	學而書院	下谷

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
本居宣長の人及思想	小倉喜市	一・八〇〇	二七〇	大同館書店神田	ブルターク英雄傳三	鶴見祐輔	一・〇〇〇	四八	改造社
維新斷行 中山忠光卿	佐原隆巳	八・五〇〇	二二〇	明倫新聞社山口	澁澤翁の面影	白石喜太郎	一・八〇〇	四三〇	四條書房神田
軍聖東郷平八郎	仁木松雄	二・〇〇〇	三三〇	浩文社日本橋	久米回顧錄上卷	久米桂一郎	〇・六〇〇	六二	早稻田大學牛込
百年記念 田能村竹田先生	木崎好尙	三・〇〇〇	二二五	山陽會四谷	五代友厚傳	五代龍作	非〇・六〇〇	六五	出早稲田大學牛込
新しく説いた日蓮 聖人の御一生	水島芳靜	一・〇〇〇	二六二	富文館書店神田	鷗外森林太郎傳	森潤三郎	二・〇〇〇	二〇二	昭和書房神田
北陸の大和田翁 偉人	中安信三郎	一・五〇〇	四八八	似玉堂京都	俳人芭蕉傳	加藤紫舟	四・五〇〇	五五	天來書房澁谷
【七月】					父とその事業	伊東胡蝶園	同〇・一〇〇	一六	伊東胡蝶園麻布
チャールズ、ゴア	稻垣陽一郎	六・〇〇〇	二〇二	アタナシオ會豊島	國學者傳記集成 第二卷	大川茂雄	一・〇〇〇	二七〇	國本出版社澁谷
財界二千五百人集	中西利八	三・〇〇〇	二册	中西利八芝	明治、大正、昭和 大功臣の親族姻族	南村耕堂	八・〇〇〇	四七三	白雲堂書房世田谷
リビングストン 別巻	畔上賢造	一・四〇〇	三〇〇	向山堂書房澁谷	東郷元帥と乃木將軍	櫻井庄吉	九・〇〇〇	三六	東郷元帥と乃木將軍發行所本郷
昭和財界の人物	中島從宣	〇・二六〇	二六	經世社出版部品川	卓功院追悼錄	市村其三郎	非〇・五〇〇	五三	市村其三郎大阪
ヒットラー傳	澤田謙一	一・五〇〇	五五	大日本雄辯會本郷	實茶翁	福山朝丸	一・〇〇〇	二册	其堂京都
房總に躍る人々	福田祐泉	五・〇〇〇	二五〇	講談社本郷	ブルターク英雄傳 第四卷	鶴見祐輔	一・〇〇〇	五三	改造社
國學者傳記集成 第一卷	大川茂雄	八・〇〇〇	八五三	國本社出版社澁谷					
素額のペーント	柿沼太郎	一・五〇〇	二八八	創元社芝					

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
吾が父を語る	東郷彪	一・二〇〇	三六	實業之日本社東京	世界獨裁英傑譚	小林知治	一・〇〇〇	三三	南光社神田
人間東郷	高木秀男	一・二〇〇	二五	文進社麹町	世外井上公傳第五卷 附同勝之助君略傳	阪谷芳郎	六・〇〇〇	二〇六	内外書籍小石
洋畫本多錦吉郎	村居鏡次郎	非〇・一九〇	一九	本多錦吉郎會本郷	奥達先生の面影と談話及遺訓	永島忠重	一・五〇〇	五二	奥達會東京
哲人西村泊翁	足立栗園	一・五〇〇	三二	文陽社小石	福澤諭吉と弟子達	和田日出吉	一・五〇〇	三六	千倉書房同
中野神右衛門	中野禮四郎	非〇・二五〇	二五	中野禮四郎半込	新井龜太郎小傳	石井唯一	非〇・一九〇	四	石井唯一群馬
度會人物誌	中村英彦	三・〇〇〇	三四	度會郷友會神田	金山王後宮信太郎	宮川次郎	三・〇〇〇	二五八	蓬萊書院澁谷
【九月】					伊達政宗	渡部義顯	五・〇〇〇	四八	伊達會東京
晩年の東郷元帥	小笠原長生	一・五〇〇	三三	改造社芝	大聖弘法	金孝敬	八・〇〇〇	二五	大聖會法小石
教育家 石田梅岩	岩内誠一	三・二〇〇	四八	立命館出版部京都	山鹿素行先生日記全	宮崎賢一	〇・四二〇	二	刊洋行會下谷
奥平侯家墳墓考	黒屋直房	非〇・二二〇	二二	碧雲莊府下	商工人物選集第一輯	市川彌三次	一・〇〇〇	一〇〇	刊洋行會下谷
昭和人物月旦上卷	原田高一	五・〇〇〇	三三七	大日本國政會町	上越人物評論	山口哲雄	一・〇〇〇	一九四	山口哲雄新潟
實録維新十傑第一卷	伊藤仁太郎	〇・六七〇	六七	研究會町	【十月】				
西宛南洲上	大江新吉	一・五〇〇	三四	平凡社日本橋	松浦博士	高橋重藏	一・二〇〇	四九	京都禁酒會京都
野球王	高村眞夫	六・〇〇〇	三三八	凡人社本郷	岡倉天心	清見陸郎	三・五〇〇	三三	平凡社日本橋
小山正太郎先生	伊藤仁太郎	一・八〇〇	五三	郁文會出版部神田	ミスハンナリデル	飛松甚吾	非〇・一八七	一七	熊本回春病院
元帥東郷平八郎	大日本山林會	三・〇〇〇	三三	大日本山林會赤坂	聖德太子讚仰	林貞三	一・五〇〇	三四	軍事會館町

書名	著譯者	定價	頁形數	發行所
ナイチンゲール嬢傳	村田 勤	一・五〇	二六四	不二屋書房
松岡康毅先生傳	大山卯次郎	非〇	五五	大山卯次郎
福澤諭吉先生傳	鈴木梅四郎	一・五〇	三五〇	森山書店
竹堂粕谷義三傳	關 抵二	非〇	三三〇	竹堂粕谷義三
新愛知縣偉人傳	愛知縣教育會 知一師偉人文庫	一・七〇	四八八	川瀬書店
福翁自傳	山本昌一	非〇	五九	時事新報社
福翁百話	同	・五〇	四二	同
渡邊廉吉傳	橫江勝美	非〇	二六〇	大洋社
科學界の英雄を語る	石井悅朗	一・〇〇	一四二	桂文閣
北水洋の聖者	宮家馨夫	一・〇〇	二七六	教文館出版部
人間苦闘史	村松梢風	一・五〇	三六七	千倉書房
佛學始末	瀧田貞治	六・〇〇	△	巖松堂書店
村上英俊	小林秀雄	三・五〇	三册	古典部
テースト氏	小中萬逸	一・八〇	三三四	野田書房
大西郷秘史	田中萬逸	一・八〇	三三四	野田書房
新渡戸稻造傳	石井 滿	三・三〇	六三〇	關谷書店
實錄維新十傑	伊藤仁太郎	〇・九〇	九	平
福澤先生を語る	高橋義雄	・九〇	二七四	岩波書店
諸名士の直話	岩崎祖堂	三・九〇	一三三	珍文社
壯談 歴代閣僚傳	木谷正之助	非〇	二七三	木谷正之助
五世 彌太夫の六十年	平松實馬	・七〇	一六	肥書店
彌太夫の六十年	湯口 昌	非〇	三三	三麟商道團
城山翁喜壽の賀	早川友吉	二・〇〇	三三	早川文書
中京現代人物評傳二	高田末吉	〇	一六	丸之内出版社
政界財界	高田末吉	〇	一六	丸之内出版社
躍新日本を操る人々	高田末吉	〇	一六	丸之内出版社
大滿洲國要人畫報	高田末吉	〇	一六	丸之内出版社
【十一月】				
久米九十年回顧錄下	久米晴子	八・〇〇	三〇	早稻田大學
博士九十年回顧錄下	久米晴子	八・〇〇	三〇	早稻田大學
前原一誠傳	妻木忠太	一・〇〇	二二五	積文館
ダビデ傳	山本泰次郎	三・五〇	三二	聖書講義社
島崎藤村研究	秋田雨雀	一・五〇	三三	聖書講義社
西行法師評傳	尾山篤二郎	三・〇〇	三三	聖書講義社

絶對信賴し得る 大倉の工學圖書

改訂 大建築學 全四册 大熊博士增訂 價二八・五〇	改訂 健康住宅設計圖案集 大毎新聞社選 定價二・八〇	改訂 日本住宅百圖 遠藤於菟著 定價四・七〇	西洋住宅百圖 遠藤於菟著 價各五・〇〇	報知 住家設計圖案 佐藤博士編 定價五・五〇	和洋住宅設備圖集 遠藤於菟著 定價二・三〇
改訂 日本建築詳細圖 三一・二 遠藤・井出著 價各一・八〇	和洋建築常識 佐藤彰美著 定價一・八〇	西洋建築入口窓圖集 佐藤彰美著 定價二・五〇	西洋建築天井圖集 佐藤彰美著 定價二・八〇	近代欄間各種 渡邊安次郎著 定價一・七〇	規矩術 附・社寺建築の大意 山本一夫著 定價三・二〇
土木工學便覽 全二册 長崎 敏音著 定價八・〇〇	最新 工事請負便覽 畑中 健三著 定價四・五〇	各種 工事の見積と其價格 畑中 健三著 定價三・五〇	鐵筋混土及 施工要覽 畑中 健三著 定價四・〇〇	土木 工事と機械 野澤 房敬著 定價四・三〇	混凝土用粹型附・實用表 野澤 房敬著 定價二・〇〇
隧道 施工法 渡邊 技師著 定價三・八〇	地下道と地下室 相澤 時正著 定價三・三〇	灌漑工事設計資料 松本 博俊著 定價四・五〇	金屬及び 腐蝕と防蝕法 加瀬 博士著 定價三・三〇	實用電弧鎔接機 遠藤 義夫著 定價三・五〇	塗料及塗裝法 清水 正雄著 定價三・五〇

大倉書店

★ 書究研と典辭準標の界學語各 ★

大英和辭典全二冊 藤岡博士 一〇〇〇	新英和辭典 大倉編輯所 價一・五〇	大獨日辭典 登張信一郎 一〇〇〇	新獨和大辭典普及版 登張信一郎 價三・八〇	新獨和辭典 登張信一郎 價二・八〇	新佛和辭典 野村泰亨 價二・八〇	新和佛辭典 松井上田 價二・八〇	新露和大辭典普及版 八杉他二名 價四・八〇	修改新式辭典 芳賀藤村 價二・八〇	增新撰俳諧辭典 岩本宮澤 價四・八〇	大辭典 改修言泉 全六冊 特製六六圓 並製三九圓 縮版一七圓	補佛敎大辭典 縮版一七圓
最新英語音聲學 神保三格 價二・三〇	添削式和文獨譯 辻大島 價二・三〇	實獨逸商業通信文 大島俊一郎 價二・〇〇	和文獨譯練習 辻善定 價九・〇〇	和獨敎材 辻善定 價九・〇〇	佛語の發音及文法 松井知時 價一・三〇	グレガ露西亞文法 岩澤丙吉 價三・八〇	日滿露會話 横田佐藤 價一・七〇	改露西亞語學階梯 八杉貞利 價二・〇〇	新初等ロシア語讀本 八杉貞利 價一・三〇	初露西亞語文法 八杉貞利 價一・八〇	露西亞書翰文 價二・六五

五九四

八三二京東・座口替振 店書倉大 町場茅・橋本日・京東

東京書籍商組合史

菊判布裝
全一冊
實價貳圓
送料十二錢

全國書籍商組合員名簿

昭和十年三月開
全一冊
實價五拾錢
送料六錢

圖書月報

每月一回發行
一部定價五錢
一ヶ年十二冊
送料共六拾錢

發行所

東京市神田區駿河臺一丁目二番九地

東京書籍商組合事務所

振替東京三一〇〇三番

五九五

高等化學名著選

東京文理科大学
助教 理學博士

石川 清一 編

全一冊 菊判 洋布裝函入 定價三・八〇 送料各・三三

改訂版 無機化學要論

東京文理科大学
助教 理學博士

石川 清一 編

全一冊 菊判 洋布裝函入 定價三・八〇 送料各・三三

改訂版 有機化學要論

成蹊高等學校
教授 理學士

岩 永 源 作 編

全一冊 菊判 洋布裝函入 定價二・八〇 送料各・三一

改訂版 橫觀無機化學

成蹊高等學校
教授 理學士

岩 永 源 作 編

全一冊 菊判 洋布裝函入 定價二・八〇 送料各・三一

改訂版 橫觀有機化學

ホレマン無機化學を凌駕せん
その採用全國に亘り實に百數十
十有餘校に達する名著、最近
新時代の要望に適應せしむる
ため一大改訂成つて益々新
優秀、適切な書となる。
高等學校、高等專門學校、師
範學校專攻科の教科書及び大
學、文檢受驗參考書として、
改訂版「無機化學要論」と眞
に双壁と推獎されてゐる。
各元素の記述的事項を横に連
絡し「橫觀」の名を以て驚異的
重版記録を示せる名著、更に
最近の研究を加へ、最新の材
料を取り入れ益々完璧に近か
らしめた。
改訂版「橫觀無機化學」の獨創
的名著を以て、斯界に一新機
軸を展きたる著者が、更に斯
學々生の熱望により前者と双
壁たらんことを期したる名化
學書である。

高等物理學名著選

名古屋高等工業
學校教授 理學士

一瀬 正己 著

上下全二冊 定價上四・〇〇 下五・〇〇 送料各・三三

物理學一般

名古屋高等工業
學校教授 理學士

一瀬 正己 編

上下全二冊 定價上三・〇〇 下三・〇〇 送料各・二一

物理學要論

上田蠶絲專門學
校教授 理學士

金子 英雄 著

全一冊 菊判 洋布裝函入 定價四・五〇 送料各・三三

生物物理學要論

東京高師教授
東京高師助教
東京高師助教授

内藤卯三郎 共著
水野國太郎 著
池本義夫 著

上下全二冊 定價上六・八〇 下五・八〇 送料各・三三

物理學實驗法講義

斯學の理論及實際の兩方面を
徹底せしめ、整理したるシステ
ムを以て高等程度物理學の全
事項を收め、煩雜難解の學理を
平明簡潔に叙し、高等學校專
門學校教科書又は參考書並に
大學、文檢受驗用として現代
學生の要求に最も好く適合せ
しめたる名著である。
物理的アイディアを深刻且つ懇
切に理論は厳密に、實際は平
明に、挿圖は鮮明に、實際は
正確に、問題は適切に、比較は
て選明に、一歩進んだものである。
最近に於けるコロイド物理化
學の方面より生物學を觀察研
究せる權威書、斯學研究者に
は勿論、蠶絲、農林、醫學、藥
學、高校理科の學生に好適！
教室に於ける講義實驗として
適切なるものを主とし、更に測
定實驗を加へ、且つ科外觀察の
方法學を懇切に説明し、進んで
物理化學を究めんとするものに
必要なる事項を收めた、小の
檢中學校教授者に好適である。
書檢者並に師範學生の參考

五九七

東京市神田區 培風館 電話 三三三六 一七四
東京市神田區 培風館 電話 三三三六 一七四

東京市神田區 培風館 電話 三三三六 一七四
東京市神田區 培風館 電話 三三三六 一七四

五九六

集全クツザルバ

りあに店書各は物實 卷六十全 呈進本見容内

豪文大最界世だん生の西蘭佛は者作原
威權高最の界學文佛本日代現は者譯

第一卷	人間戯曲劇總序	太宰 施門
第二卷	ゴリオ爺さん	坂野 紹一郎
第三卷	ユルシユウル・ミルエ・アデイン	新庄 嘉章
第四卷	幻滅	宮本 正清
第五卷	セザール・ピロトオ	丸山 和馬
第六卷	ブチブルジョア	大坪 一
第七卷	現代史の裏面	丸山 和馬
第八卷	赤い部屋・マルカス	大坪 一
第九卷	木菟黨	小野 龍雄
第十卷	農民	水野 亮
第十一卷	村の同祭	新吉 和橋

第十二卷	不老長壽の秘薬	山内 義雄
第十三卷	追放者	河盛 好浩
第十四卷	ルイ・ランベール	豊島 徳夫
第十五卷	セラファイタ	辰野 隆夫
第十六卷	ゴヤベエル大佐	堀口 大治
第十七卷	知られざる傑作	水野 亮
第十八卷	戦やめたメルモット	高川 堅
第十九卷	フアチノ・カネ	須川 正三
第二十卷	財布の愛人を籍りて	成瀬 隆三
第二十一卷	「陣中の友」他二篇	神西 清
第二十二卷	より「陣中の友」他二篇	武林 無想庵
第二十三卷	イヴの娘	大佛 次郎
第二十四卷	正・續女性研究	鈴木 信太郎
第二十五卷	カトリック・メデーチ	渡邊 信太郎
第二十六卷	カトリック・メデーチ	鈴木 信太郎

定規込申約豫

全巻一時拂金拾五圓
一月一時拂金五圓
毎月申込金五圓
申込金は最終會費に繰入
中途解約者には返金せず
送料・各册 市内六錢
地方十四錢
會費と共に拂込願ひます

配本期間
昭和九年十月より毎月一卷
乃至二年刊行・昭和十年十
二月完結の豫定
新刊九ボイント活字
新刊均平五〇〇頁
各巻極彩色印刷

所行發

東京市日本橋區
通三丁目一番地
河出書房
電話日本橋二七七七
振替東京一〇八〇二

會友糧所行發

町島中越區川深市京東
内廠本秣秣秣秣秣秣秣
番三〇一(73)所本話電
番二〇九六一京東替振

同	糧友會編	正阿久藏著	陸本軍廠編	陸本軍廠編	陸本軍廠編	桂岡一郎著	糧友會編	陸軍編糧	糧友會編	糧友會編	雜誌
家庭貯藏糧の詰方	家庭パンと洋菓子の方	パンの科學	炊事教育榮養概念・食物知識	炊事教育調理概論	日本兵食史	日本米食史	軍隊及團體炊事献立カード	基本料理法	食品の選擇 早見書	日本主要食品榮養圖解	糧友
送料一、〇〇	送料一、五〇	送料三、二〇	送料〇、五〇	送料〇、五〇	送料三、〇〇	送料三、〇〇	送料三、二〇	送料一、五〇	送料一、五〇	送料二、五〇	營業雜誌と官廳純研究 雜誌の長所を採つた雜誌 每號百六十頁 一ヶ月 一圓六十二錢 三ヶ月 三圓 郵税一錢五圓 會費會費共
上巻五、〇〇 下巻三、五〇 送料各三、〇〇	定價三、〇〇	定價三、〇〇	定價三、〇〇	定價三、〇〇	定價三、〇〇	定價三、〇〇	定價三、〇〇	定價三、〇〇	定價三、〇〇	定價三、〇〇	
この献立カードがあれば、軍隊、工場、學校、寄宿舎、下宿屋、食堂など至極簡易に計算が出来る。群籍無量二萬卷、前後七年にしてなつた本書は米食人たる日本人の食に關する小圖書館である肯なる哉本書は現代主食改善運動の原動力となつた。上代より近代迄の幾多戰陣の兵食状態を明瞭にし人未踏の分野を開拓概観せし書。榮養學等前軍隊で兵士に炊事調理を教へる際の教科書である至極簡易に要領を摘記したものである。榮養概念と食物知識を知るに隨分書籍があるが炊事する人、調理人はどれ位知つて居ればよいか、それを答へて出版したのが本書。パンの科學と題し、パンを中心としての粉類の科學である。こうした書は本邦では唯一無二の名著たるを失はぬ。菓子やパンの書籍は数多くあるが、この様に圖説をし親切に要領を示したものは本書を第一とする。家庭で食物を貯藏する事は家計經濟上、趣味生活の上最も痛切に感ぜられる事、本書によつて其の	紙表裝五、〇〇 布表裝三、五〇 紙表裝三、五〇 送料三、五〇	紙表裝五、〇〇 布表裝三、五〇 紙表裝三、五〇 送料三、五〇	紙表裝五、〇〇 布表裝三、五〇 紙表裝三、五〇 送料三、五〇	紙表裝五、〇〇 布表裝三、五〇 紙表裝三、五〇 送料三、五〇	紙表裝五、〇〇 布表裝三、五〇 紙表裝三、五〇 送料三、五〇	紙表裝五、〇〇 布表裝三、五〇 紙表裝三、五〇 送料三、五〇	紙表裝五、〇〇 布表裝三、五〇 紙表裝三、五〇 送料三、五〇	紙表裝五、〇〇 布表裝三、五〇 紙表裝三、五〇 送料三、五〇	紙表裝五、〇〇 布表裝三、五〇 紙表裝三、五〇 送料三、五〇		

東洋經濟新報社 發行 圖書目錄

東京市日本橋本石
電話一八二番、八二番、八三番
日本橋一四八七番、二七八五番
振替口座東京六五一八番

刊週 東洋經濟新報

(毎土曜日發行)

一ヶ月前金 一ヶ月前金
三ヶ月前金 三ヶ月前金
郵定 郵定
税價 税價

刊月 英文東洋經濟新報

一ヶ月前金 一ヶ月前金
郵定 郵定
税價 税價

著者	書名	頁數	郵定	税價
時事新報編輯部編	日本産業の合理化	四六三頁	一・五〇	一・五〇
時事新報編輯部編	財づる物	四六〇頁	一・五〇	一・五〇
時事新報編輯部編	利權物語	四六〇頁	一・五〇	一・五〇
時事新報編輯部編	相場戦術百態	四六〇頁	一・五〇	一・五〇
猪間驥一著	經濟圖表の見方	三五六頁	一・五〇	一・五〇
高橋龜吉著	金融の基礎知識	四四〇頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	明治大正財政詳覽	八七四頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	明治大正國勢總覽	八七四頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	株式會社年鑑	四四〇頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	經濟年鑑	四四〇頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	生命保險會社の批判	四四六頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	(十年版)株界二十年	四四六頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	短期新東日日表	四四六頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	(十年版)會社かがみ	四四六頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	日本經濟年報(發行)	四四六頁	一・五〇	一・五〇
大藏省編	大日本外國貿易月表	四四六頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	日本の景氣變動	四四六頁	一・五〇	一・五〇
高橋龜吉著	日本金融論	四四六頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	金本位制の研究	四四六頁	一・五〇	一・五〇
西野喜與作者	半世紀財界側面誌	四四六頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	會社經營効率の研究	四四六頁	一・五〇	一・五〇
東洋經濟編	東株日日高低精覽	四四六頁	一・五〇	一・五〇

凡ての古書の御用は一誠堂へ

稀觀書
絶版書
大部數叢書類の
御注文は先づ在庫品豊富の
一誠堂書店へ

一誠堂書店

本店・東京市神田区神保町一丁目
支店・東京市神田区神保町一ノ七
電話神田75番750番・振替東京25281番

(五其) 書學文國るな重の代時戸江

隅田春妓容性	並木五瓶	寛政八	高尾船字文	瀧澤馬琴	寛政三	還魂紙料	柳亭種彦	文政九
競作勢物語	奈河龜助	安永四	椿説弓張月	同	文化七	用捨箱	同	天保三
伊賀越乘掛合羽	同	同	朝日奈巡鳥記	同	文政四	邯鄲諸國物語	同	同
加賀山廓寫本	同	天明元	近世説美少年録	同	同十一	諺紫四舍源氏	同	同十三
心學早染草	山東京傳	寛政三	開卷驚奇俠客傳	同	天保四	春色梅曆	爲永春水	天保三
江戸艶氣樺燒	同	天明五	南總里見八犬傳	同	天保三	春色辰巳園	同	同
福徳果報兵衛	同	寛政五	東海道中膝栗毛	十返舎一九	文化六	春色惠之花	同	同
古契三娼	同	天明七	江の島土産	同	同七	春告鳥	同	同
通言總籙	同	同	續膝栗毛	同	文政五	お染久松色讀版	鶴屋南北	文化十
忠義水滸傳	同	寛政十	世中貧福論	同	同	隅田川花御所染	同	同
昔語稻妻表紙	同	文化三	浮世風呂	式亭三馬	文化九	東海道四谷怪談	同	文政八
梅花氷裂	同	同	浮世床	同	同	三人吉三廓初買	河竹默阿彌	萬延元
双蝶記	同	同十	浮世形六枚屏風	柳亭種彦	文政四	村井長庵	同	文久二

〔一九〕 地誌・地圖

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
【二月】 滿蒙地理風 俗寫眞大鑑 郷土傳説第二輯 大阿波の横顔	山田米吉	3.00	約200	日本圖書會社 徳島
歐米函館診	小山恒男 外一	6.00	約130	日本圖書會社 大阪
近代函館	大塚高俊	2.00	約300	近世學社 札幌
滿洲の我移民村	岸井壽郎	5.00	約140	成美堂 日本橋
地理學の研究と指導	井上長太郎	1.00	約340	土屋商店 本郷
今後の地理學教育	鶴居滋一 外三	2.80	約270	南光社 神田
富源滿洲國	岡戸理七	2.80	約280	海外雄飛社 名古屋
自然地理圖演習	東木龍七	2.50	約370	古今書院 神田
我が統治地	大宜味朝徳	1.00	約200	海外研究會 本郷
南洋群島案内				
蒙古とはどんな處か 南洋にて得たるもの	吉村忠三 山本巴水	3.00 0.28	290	善隣協會 濱松
滿洲讀本	東亞經濟調查局	1.00	約180	東亞經濟調查局 神田
最新滿洲國地理	淺野利三郎	4.00	約130	三省堂 神田
地理模型の複製法	山本熊太郎	9.00	約160	古今書院 同
【二月】 滿蒙認識と地理教育 修訂駿河國新風土記 富士山附録第九十輯	尾野作次郎 新庄道雄	1.00 1.00	約180	古今書院 神田
埼玉縣地誌	前田虎一郎	2.00	約180	古今書院 神田
京都史蹟めぐり	寺井史郎	1.00	約250	西尾勘吾 京都
我等の滿鮮	早坂義雄	2.00	約370	北光社 札幌
海島民俗誌	本山桂川	1.50	約330	一誠社 神田
三河國名所圖繪中	山村敏行	非	約360	愛知縣教育會 愛知
金澤古蹟志第五編	協澤文化會	非	約150	金澤文化協會 石川
滿洲國讀本	中目尙義	3.00	約230	日本評論社 東京

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
大日本地誌大系 第一卷編 武藏國風土記稿 第一卷	芹田伊人	非	〇三九	雄	山開閣町
大東京市區分地圖	菊池啓祐	・六〇	〇一九〇	雄	文館神田
修訂駿河國新風土記 安部郡上 第六篇	新庄道雄	・〇〇	〇一九〇	志豆波多會	醫學部
明け行くエチオピア	黒田雅子	・五〇	〇六九	國際經濟	研究所 東京橋
新しく觀た滿鮮	西村眞琴	・八〇	〇三七	創元	社 大阪
滿支風景庭園鑿	後藤朝太郎	・八〇	〇二二	成美堂書店	日本橋
アメリカを見る	明智瀧朗	・五〇	〇二二	經濟知識社	神田
京都史蹟めぐり	寺井史郎	・〇〇	〇三〇	西尾勘吾	京都
最新ソヴイエト聯邦地理	淺野利三郎	・四〇	〇一六	三省堂	神田
四國靈蹟寫眞大觀	中西惟浩	・七〇	〇〇〇	寫眞大觀	會社 德島
金澤古蹟志 第十編	中島徳太郎	非	〇九〇	金澤文化協會	石川
東京府地誌	堀江賢二	・一六〇	〇二五	古今書院	神田
西洋拜見	辻二郎	・二〇〇	〇三三	共立社	同
大塚地理學會誌 論文集第二輯下	田中啓爾	・二〇〇	〇二六	古今書院	同

【三月】

【四月】

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
神祕國モロツコ ソヴェト現勢資料 一九三四	鳥居久作	・一六〇	〇一七	鳥居久作	荏原
新考地形學索引 第一卷、第二卷	岩田壽	・五〇〇	〇一五	露西亞通信社	神田
修訂駿河國新風土記 第八輯	辻村太郎	・八〇	〇七	古今書院	神田
滿鮮を斯く見る	新庄道雄	・一〇〇	〇八〇	志豆波多會	神田
地番入大千葉市全圖	全國社會教育 育事協會	非	〇二六	社會教育會	神田
千葉觀光社	千葉觀光社	・四〇	〇〇〇	千葉觀光社	千葉
【五月】					
文化地理學の諸問題	西龜正夫	・二〇〇	〇二八	古今書院	神田
壹岐島民俗誌	山口麻太郎	・二〇〇	〇二六	一誠社	神田
教材世界地理上	香川幹一	・一三〇	〇四〇	古今書院	神田
繪の國豊前豊後	國府犀東	・一五〇	〇三三	九州風景協會	世田
秋田郷土叢話	細江省吾	・二〇〇	〇五〇	秋田縣圖書館	秋田
今日のソヴェト	花岡止郎	非	〇四三	國際思想	會社 芝
エチオピア探訪報告	大山卯次郎	・三〇〇	〇五〇	駿南社	東京橋
エチオピア全貌	田中春翠	・三〇〇	〇二七	大阪圖書	社 大阪
帝國の全貌	比嘉春潮	・三〇〇	〇六〇	島發行所	杉並
米國瞥見記	伊藤四郎	非	〇三七	伊藤四郎	品川
孔子聖蹟志	馬場春吉	・五〇〇	〇八五	大東文化協會	神田
簡地形學概説	小野寺太郎	・一五〇	〇二六	啓文社	本郷
エチオピア帝國	田鍋安之助	・三〇〇	〇四三	斯文書院	牛込
新撰風土記	篠田雀	・三〇〇	〇二六	國民通信社	板橋
最近調査大日本分縣 地圖併地名總攬	日下伊兵衛	・三〇〇	〇二五	日下伊兵衛	大阪
ヨロッパ印象記	藤森成吉	・一〇〇	〇二六	大畑書店	神田
圖日本地理	佐々木清治	・二〇〇	〇三三	賢文館	同
横濱百景	小島十三郎	・一〇〇	〇二〇	横濱貿易	社 神田
南洋大觀	山田毅一	・二〇〇	〇三九	平凡社	日本橋
別府灣を中心と せる郷土研究	中村精行	・二〇〇	〇三〇	宮崎書店	大分
南洋大觀改訂版	山田毅一	・二〇〇	〇三六	平凡社	日本橋
日光附近の地誌	山口貞雄	・一〇〇	〇一九	古今書店	神田
三河誌下卷	渡邊政香	・四〇〇	〇六七	三河志	愛知
國立公園	鳥取縣	・一〇〇	〇一四	再版刊行會	愛知
風土記第七輯	新庄道雄	・一〇〇	〇一三	志豆波多會	神田

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
近畿名蹟全書 卷二 奈良縣之北部	衣馬六郎	一・五〇	〇三〇	〇	寶盛館書店神戸
【六月】					
下北地方誌	笹澤善八	〇・八〇	二六〇	〇	下北新報社青森
新日本地理挿繪解説	長谷川與三治	非	〇二〇	〇	日本圖書株式會社四谷
名古屋案内	遠藤紫朗	〇・五〇	〇二二	〇	名古屋社愛知
若松港案内	西海堂書店	〇・八〇	〇九〇	〇	西海堂書店福岡
新編武藏國風土記稿第六卷	蘆田伊人	非	〇五三	〇	雄山閣關西
足で視た聯邦	馬場秀夫	一・五〇	〇三三	〇	ナウカ社神田
佐賀縣史蹟名勝天然紀念物調査報告	佐賀縣	〇・二五	〇二二	〇	佐賀縣佐賀
寶庫スマトラの全貌	辻森民三	三・〇〇	〇三三	〇	立命館出版部京橋
地理實習地形圖に關する作業	北田宏藏	二・〇〇	〇二九	〇	古今書院神田
山水名光	鐵道省	非	〇二九	〇	ジャパン・ツーリストビュロー同
新日本大觀	大道弘雄	三・〇〇	〇五九	〇	朝日新聞社大阪
趣味ガイド旅子	中西芳朗	二・七〇	〇三三	〇	旅子開
旅行ガイド旅子	池上鋼他郎	非	〇三九	〇	池上鋼他郎金澤
加能越三州地理志稿	中田邦造	〇・三〇	〇三〇	〇	石川縣圖書館會金澤
大東京の現勢	高山中助	〇・八〇	〇一〇〇	〇	東京海友社
哈爾濱日記	安藤次郎	非	〇六〇	〇	新開社
極北探險秘録	山本義夫	〇・八〇	〇一三	〇	大誠堂京橋
南洋事情	陸軍省	〇	〇三六	〇	陸軍省
樺太拓殖計畫の全貌	佐々木龍一	二・五〇	〇二五	〇	中央情報社同
大東京繁昌記	報知新聞	一・〇〇	〇二五	〇	成美堂日本橋
滿鮮三千里	依田泰	〇・五〇	〇二六	〇	中澤菊太郎長野
北アルプス	小笠原勇八	一・八〇	〇三三	〇	三省堂神田
南洋十字星	古田中正彦	一・五〇	〇二五	〇	アトリエ社牛込
滿洲事情	長尾宗次	一・三〇	〇四七	〇	三省堂神田
郷土を如何に研究すべきか	熊谷辰治郎	〇・三〇	〇一八	〇	日本青年館四谷
歐米旅日記	阿部宗孝	一・〇〇	〇二四	〇	株式會社京橋
大日本地誌大系新編	雄山閣	非	〇四八	〇	株式會社京橋
武藏國風土記稿第二卷	文部省	〇・五〇	〇四〇	〇	東京帝國大學
滿鮮地理歴史研究報告第十四	文部省	〇・五〇	〇四〇	〇	東京帝國大學

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
西班新事業日本と新興滿洲國上、下	松井健三	五・〇〇	〇二冊	〇	西語部會大阪
【七月】					
霧島國立公園案内	富田重治	〇	〇	〇	案内協會鹿児島
山と峽谷附温泉	大泉黒石	一・五〇	〇二五	〇	浩文社日本橋
少年幕末に於ける北地探検	針生宗伯	一・八〇	〇二五	〇	大同館書店神田
人文地理六講	佐藤弘	二・五〇	〇四三	〇	高陽書院同
本州沿岸水路誌第一卷	水路部	二・五〇	〇三〇	〇	水路部京橋
三河國名所圖繪下	山村敏行	〇	〇九〇	〇	愛知縣教育會愛知
國立公園日光案内	二荒神社	〇・五〇	〇三六	〇	二荒神社栃木
滿洲國經濟地理圖說	川西正鑑	四・五〇	〇五五	〇	刀江書院神田
地理論叢	石橋五郎	二・八〇	〇三二	〇	古今書院同
第四輯昭和九年	新宮高平	一・〇〇	〇二七	〇	志豆波多會同
修訂駿河國新風土記	今村學郎	二・八〇	〇三五	〇	目黒書店神田
地理學年報第二卷	長谷川清三郎	二・〇〇	〇二二	〇	梓書房同
千島の山	片岡彦一郎	一・五〇	〇二七	〇	梓書房同
最新北アルプス登山	片岡彦一郎	一・五〇	〇二七	〇	梓書房同
滿蒙事情講習會記事	植山光四郎	〇	〇二七	〇	借行社同
實地踏査	塚田忠泰	一・八〇	〇二二	〇	朝日書房同
全國峽谷景觀	兒島勘次	二・〇〇	〇二〇	〇	梓書房神田
臺灣の山地	上月順治	〇・四〇	〇五	〇	大阪實文館大阪
神戶地誌	志村秀吉	〇・七〇	〇一四	〇	武館下谷
海の生	下永憲次	一・〇〇	〇一八	〇	文聖會神田
命線熱帯の日本	蘆田伊人	非	〇三〇	〇	雄山閣關西
あふがにすたん記	新編武藏國風土記稿第三卷	〇	〇	〇	新編武藏國風土記稿第三卷
【八月】					
大塚地理學會論文集三	田中啓爾	二・五〇	〇二六	〇	古今書院神田
南海鐵道沿線大觀	原靜村	五・〇〇	〇二二	〇	南海新聞社大阪
朝鮮沿岸水路誌	水原藤泰	二・五〇	〇三六	〇	水原藤泰部京橋
修訂駿河國新風土記稿第二卷	桑原藤泰	一・〇〇	〇三三	〇	志豆波多會同
水路誌附録第一卷	水路部	二・〇〇	〇三三	〇	水路部京橋
水路誌附録第二卷	水路部	二・〇〇	〇三三	〇	水路部京橋
大日本	同	一・八〇	〇二二	〇	同
南島叢考	宮良當壯	二・五〇	〇四〇	〇	英文法論所麻布

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
最新滿洲帝國及極東地理資料	東京吉川獎文堂編輯部	二〇〇〇	三〇〇	東京吉川獎文堂
邦經濟地理	平竹傳三	三〇〇〇	三七六	ナウカ社
滿洲旅行記	吉本米子	非〇	一九六	冬柏發行所
南紀風物誌	西瀬英一	一〇〇〇	二五〇	竹村書房
輕井澤公園	輕井澤ヨル	非〇	五	輕井澤ヨル俱樂部
熊本縣觀光案内	深町糸雄	〇	二〇	熊本縣觀光案内所
伊豆の番頭	芹澤天岳	〇	二〇	伊豆溫泉名所所
飛驒の小白川郷	山本節	非×	二〇	山本節岐阜
熱河三四	關野貞	〇	八	座右寶刊行會
文部省推選派遣教育家の見たる海外事情	肥後彰	非〇	五三	福徳生命保險株式會社
水路誌附錄第二卷	水路部	二〇〇〇	四八	水路部
新編武藏國風土記	蘆田伊人	非〇	三六	雄山閣
交通地理形態論	淡川康一	三〇〇〇	四七	弘文堂書房
滿蒙講座全	安部長一郎	三〇〇〇	四九	立命館出版部
王道は東より	鹽谷温	二〇〇〇	四九	鹽谷温
史蹟名勝天然紀念物調査報告書二	神奈川縣	非〇	二〇〇	神奈川縣
國立公園十二勝	岡田紅陽	非〇	一〇〇	報知新聞社
滿鮮を旅する	四ツ橋銀太郎	二〇〇〇	一九〇	四ツ橋銀太郎
日本名勝大寫真	日本觀光協會	三〇〇〇	△	日本觀光協會
帝都の展望	山崎鑿一郎	三〇〇〇	△	東京行會
沖繩の産業	伊仲皓	一〇〇〇	三九	伊仲皓
經濟地理	研究會	二〇〇〇	三八	叢文閣
近畿名勝全書卷三	辰馬六郎	一〇〇〇	三二	金剛社
奈良縣西北部	費川良以	一〇〇〇	二五	志豆波多會
古知野町案内	尾濃新聞社	三〇〇〇	四三	尾濃新聞社
豊橋案内	鈴木澄衛	△	二六	豊橋商工會
神戸市略解	神戸市役所	×	六	神戸市役所
河邊郡大觀	大塚定彬	四〇〇〇	九四	秋田出版協會

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
滿蒙探檢四十年	有富光門	一〇〇〇	三六	大日本雄辯會
大日本地誌大系新編	蘆田伊人	非〇	三七〇	雄山閣
武藏國風土記	佐々木清治	三〇〇〇	三八	賢文館
圖說日本地理中卷	香川幹一	三〇〇〇	四二	古今書院
教材世界地理下卷	福富忠雄	非〇	二二	海王會
練習船シヤトル	佐藤弘	二〇〇〇	五二	古今書院
産業地理管見	橋本弘毅	一〇〇〇	二二	叢文閣
經濟地理學の方法論	藤田元春	五〇〇〇	△	刀江書院
新日本圖帖	瀧本二郎	三〇〇〇	四一	歐米漫遊留學案內
歐米漫遊留學案內	竹内亮	一〇〇〇	二九	福岡協和會
北九州の山とところ	水路部	五〇〇〇	三〇六	水路部
ニユージブラン	德永重康	非〇	△	滿蒙學術調查團
第一次滿蒙學術調查團報告第五部第一編	椎名六郎	三〇〇〇	五七	讚岐郷土會
讚岐郷土讀本	石黒大介	一〇〇〇	一九四	新興出版社
フイリツピン大觀	德永重康	非〇	△	第一次滿蒙學術調查團
第一次滿蒙學術調查團報告第一部				術調查研究團
日本地理圖集	西田與四郎	三〇〇〇	二〇八	東洋圖書株式會社
宇都宮市地誌	子安善之助	非〇	△	宇都宮市會
德島縣新名勝案内	阿波名勝會	一〇〇〇	二五	阿波名勝會
飛驒	富田稀彦	五〇〇	二八	住伊書店
誇り	能義郡	非〇	△	能義郡刊行會
現代展望郷土誌	池澤萋谷	△		帝國聯合社
滿洲・支那・朝鮮	檜崎觀一	二〇〇〇	四〇	大阪屋號書店
滿洲の地質及鑛産	遠藤隆次	三〇〇〇	二二	三省堂
大日本地誌大系一新編	蘆田伊人	非〇	三九	雄山閣
編武藏國風土記	北海道海運	〇		北海道海運
躍進の北海道	通信社			通信社
港灣・河川・鑛業	大竹博吉	三〇〇〇	三七二	章華社
新露西亞風土記	昇直隆	一〇〇〇	四一	昇直隆
露西亞縱橫記	野村益三	一〇〇〇	×	帝都教育會
伊勢參宮三都めぐり	德永重康	非〇	△	第一次滿蒙學術調查團
第一次滿蒙學術調查團報告第四部第一編	星野辰男	三〇〇〇	△	東京朝日新聞社
Manchoukuo A pictorial Record				東京朝日新聞社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
雪の山旅	小島六郎	一・五〇〇	二四〇	三省堂
我等の熊本	渡邊公平	一・五〇〇	三六二	我等の熊本會社
歌米漫遊留學案內「米國篇」	瀧本二郎	三・八〇〇	四一〇	歐米旅行會社
伊豆半島めぐり	茂木慎雄	非	一五〇	東京鐵道局
南洋赤道を背にして	能仲文夫	一・五〇〇	五〇	中央情報社
四國地理學會論文集第一輯	四國地理學會	一・〇〇〇	一七三	四國教育圖書株式會社
大東京地圖書	植野錄夫	七・七〇〇	七〇	東京地圖書株式會社
青森縣を語る	川崎文男	七・〇〇〇	二四〇	東奥日報社
飛驒の白川村	川口彌治郎	一・二〇〇	二五五	住伊書店
加賀と能登	青柳眞三郎	三・〇〇〇	二〇三	北國夕刊社
【十二月】				
日本アルプスへ	窪田空穂	一・五〇〇	二九三	郷土研究社
日本アルプス縦走記	武藤貞一	一・〇〇〇	二九二	新政社
世界地圖第百版	宮川次郎	三・五〇〇	三三三	蓬萊書院
臺灣放言	長谷川孫兵衛	一・五〇〇	一八九	長谷川孫兵衛
肥前風土記新考	井上通泰	二・〇〇〇	二六〇	政經書院
熱帯紀行	中河與一	一・八〇〇	二六〇	竹村書房
地理論叢第五輯	石橋五郎	二・三〇〇	三三三	古今書院
大日本地誌大系新編武藏國風土記稿八	蘆田伊人	非	三七三	古今書院
愛知縣案內	愛知縣	〇・三〇〇	三〇	愛知縣
ベンガル灣水路誌	水路部	五・〇〇〇	五九	愛知縣
僕の見た滿鮮	小生夢切	一・〇〇〇	一五九	愛知縣
岐阜縣大地理	北里善從	七・〇〇〇	九三	愛知縣
湯島一丁目と附近の今昔誌	小野桂	非	〇	湯島一丁目會
大地理學會論文集四	田中啓爾	二・三〇〇	二四〇	古今書院
滿洲產業建設學徒研究團報告第一篇 團行動	久保勘三郎	非	〇	至誠會本部
熱河	岡野貞	四・〇〇〇	六三枚	座右寶刊行會
土崎發達史	竹島卓一	四・〇〇〇	八四枚	座右寶刊行會
今野賢三	今野賢三	三・〇〇〇	三九	發達史刊行會

〔110〕法律

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
改手形法註解	菰淵清雄	二・三〇〇	三〇	嚴松堂
法令全書十一	內閣印刷局	六・〇〇〇	約	內閣印刷局
内海水道航行規則	對米船船提	三・五〇〇	一三〇	同
聖德太子憲法	奧田正造	三・〇〇〇	三	森江書店
港ニ關スル法規	內務省	一・五〇〇	六〇	港灣協會
民事訴訟法要義	細野長良	四・五〇〇	四六	嚴松堂
勞働立法パンフレット	藤野惠	二・〇〇〇	八七	研勵立所
兒童虐待防止法解説	帝國學地方	一・三〇〇	〇	帝國學地方
朝鮮一法六卷	行政學會	一・七〇〇	〇	行政學會
共犯マイヤ	中村京雄	一・七〇〇	〇	中村京雄
日本法令年表	同	一・七〇〇	〇	同
皇國制度講話	酒卷芳男	三・五〇〇	三九	岩波書店
大事件の真相と判例前	小島德彌	二・七〇〇	八七	松華堂
實例犯罪心理	菊地甚一	一・五〇〇	五五	松華堂
皇室制度講話	大森英太郎	一・〇〇〇	二五	大畑書店
イェリネク、法の社會倫理的意義	松岡義正	二・〇〇〇	九	清水書店
新民事訴訟法	菰淵清雄	二・〇〇〇	三三	同
改正小切手法註解	牧野英一	二・八〇〇	三七	良書普及會
刑法改正の諸問題	島田武夫	二・〇〇〇	二一	有斐閣
刑法概論各論	平尾廉平	一・八〇〇	二八	大同書院
新舊對照	加藤正治	三・五〇〇	五七	有斐閣
破産法要論	拓務大臣	三・五〇〇	一四	拓務大臣官房
外地ニ行ハルハル	官房	一・二〇〇	三四	省
商業法規教科書	松本丞治	一・一〇〇	三三	省
債權編各論	編法會	六・五〇〇	二六八	啓法會
刑法の基礎觀念	奈良正路	三・〇〇〇	三三	松山房
刑法大綱各分册論	宮本英脩	一・〇〇〇	一五〇	弘文堂

法律

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
昭和六年民事法	末弘嚴太郎	四〇〇〇	五九	有斐閣神田
法律學說判例總覽民法 相續編 第一續編 民法 梅一トル法批判	高窪喜八郎	八〇〇〇	九一〇	法律評論社同
法令全書第十二號	尺貫法存續	八〇〇〇	三〇〇	尺貫法存續社同
穂積原重遺文集	聯印印刷局	六〇〇〇	三〇〇	聯印印刷局同
穂積重遠	内閣印刷局	六〇〇〇	三〇〇	内閣印刷局同
想の發展過程	スナリケイ チノ山之内	九〇〇〇	一五八	大畑書店同
最新自動車關係法令	湯澤陸雄	八〇〇〇	二九	警眼社同
最新商業法規大要	鳥海篤助	六〇〇〇	一七〇	神戸書院同
民法	同	一〇〇〇	三六	同
改正恩給法便覽	佐藤伍作	五〇〇〇	一五	大日本忠愛會同
最新六法全書	田中豐三	二〇〇〇	二〇〇	浩文社同
新手法と小切手法	大阪銀行	二〇〇〇	一〇〇	集會所同
改正醫藥法	池松重行	七〇〇〇	一八〇	醫政社同
齒科醫藥法	山名壽三	三〇〇〇	八四	有斐閣同
國際法論全	千野國丸	一〇〇〇	二四	銀行問題會同
新手法小切手法	同	一〇〇〇	二四	銀行問題會同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
電氣關係內務法規	オーム社	二五〇〇	九〇	オーム社同
綜合日本民法論二	沼義雄	四〇〇〇	三六	嚴松堂同
法令全書第一號	内閣印刷局	六〇〇〇	四六	内閣印刷局同
【二】				
加除諸願屆書式	日暮岩五郎	二〇〇〇	〇〇	帝國法律會同
改手形法及	中村健太郎	三〇〇〇	五	中村法律事務所同
小切手法及	日本勸業銀行	〇〇〇〇	〇〇	日本勸業銀行同
海上衝突豫防法	海士學館	六〇〇〇	二四	海士學館同
改正遊覽券取扱	川西實夫	二五〇〇	〇〇	鐵道教育會同
大日本帝國	中野久吉	非〇〇〇	〇〇	日本陪審協會同
【三】				
普通商法大要	游佐慶夫	一〇〇〇	二六	嚴松堂書店同
産業組合に関する申請及 届出並登記簿記書式	千石興太郎	五〇〇〇	二六	産業組合會同
恩給法解説	宮越卓	八〇〇〇	二五	盛義堂書店同
新手法小切手法	銀行問題會	八〇〇〇	二七	銀行問題會同
質疑應答全集	丸島利三郎	一三〇〇	三三	井塚松雲堂同
最新醫藥法令集	同	一三〇〇	三三	井塚松雲堂同
花蓮港廳警察法規	大谷仁兵衛	三〇〇〇	〇〇	帝國地方會同
物權法新釋上卷完了	奈良正路	三〇〇〇	〇〇	行政學會同
現行登記法令大全	藤田鼎	七〇〇〇	二四	登記學會同
海商法原論	森清	三〇〇〇	四九	有斐閣同
憲法資料上卷	伊藤博文	八〇〇〇	〇〇	憲法資料會同
改小切手法註解	手塚篤校訂	八〇〇〇	〇〇	憲法資料會同
正小切手法註解	荻淵清雄	二〇〇〇	〇〇	清水書店同
各國倉庫業關係	伊地知重義	非〇〇〇	〇〇	日本倉庫協會同
法律の最近判例實話	安島馨	一五〇〇	〇〇	日本公論社同
日本民事訴訟法	中島弘道	七五〇〇	〇〇	松華堂書店同
近世法學通論	三浦信三	一八〇〇	〇〇	有斐閣同
新小切手法	伊澤孝平	八〇〇〇	〇〇	波書店同
最新普通文官 試驗問題 新問 裁判書記 範解答全集	高橋鐵也	一六〇〇	〇〇	文憲堂書店同
家族婚姻	戸田貞三	二八〇〇	〇〇	中文館書店同
國際法學大綱	田岡良一	三三〇〇	〇〇	中文館書店同
刑法における概念の 規範的構成	武藤文雄	二〇〇〇	〇〇	有斐閣同
知らねば損する 商人の法律	相原壽	〇〇〇〇	〇〇	誠文堂同
搜查管轄	橋本諒亮	非〇〇〇	〇〇	野付同
試驗問題 民事訴訟 法模範解答	普文學會	八〇〇〇	〇〇	清水書店同
親族相續法要覽	同	八〇〇〇	〇〇	普文學會同
新輯六法全書	三省堂	一八九〇	〇〇	三省堂同
實例犯罪心理講話並 證人犯人の訊問要領	小南又一郎	一八〇〇	〇〇	人文書院同
法律學說判例總覽 第十三卷 破産法上	高窪喜八郎	八〇〇〇	〇〇	法律評論社同
警察受行政法編	松華堂	一〇〇〇	〇〇	松華堂同
驗全書	中村進午	三〇〇〇	〇〇	松華堂同
國際法論綱	中西熊三郎	四〇〇〇	〇〇	清水書店同
改訂書式總攬第一輯	田中清一	六〇〇〇	〇〇	大同書院同
自由心證と經驗則	田畑忍	一〇〇〇	〇〇	政經書院同
帝國憲法逐條要義下	新光閣	二五〇〇	〇〇	新光閣同
警察法規類纂	岩崎高敏	一〇〇〇	〇〇	松華堂同
願書申告 訴訟申請 願書執行 百問手続 願書何て 百問手続	岡田直策	四八〇〇	〇〇	森山書店同
國稅徵收法精解	玉木爲三郎	〇〇〇〇	〇〇	生命保險協會同
保險約款集附簡易 生命保險法令	同	〇〇〇〇	〇〇	生命保險協會同

法律

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
註解醫事關係法令要覽	龜山孝一	三〇〇〇	五〇	巖松堂
醫事藥事實用法典	川口丙三郎	一・五〇〇	二〇六	碧雲書房
社會法と市民法	橋本文雄	二・八〇〇	三九六	岩波書店
新法學通論	星野武雄	一・六〇〇	三〇〇	大明堂書店
小作調停法の話	小岩井淨	二〇〇	七	全國農民組合本部
法學餘錄	未川博	一・五〇〇	一四八	政經書院
貨引換證常識二百題	後屋敷保啓	二・五〇〇	四三	交通展望社
町村事務提要	丸山龍太郎	〇	七	埼玉縣町村會
財産權の強制執行	谷井辰藏	三・〇〇〇	三三	巖松堂
物權法新釋	奈良正路	九・〇〇〇	二六二	法錚閣
新海軍法令集	黑板利眞	九・〇〇〇	七五	境川文庫
耕地整理組合	長谷川正一	二・二〇〇	四〇〇	長谷川正一
如何にして通信特別會計に善處するか	加藤惠義	三・五〇〇	一九	逓信協會
新客觀主義論	久禮田益喜	三・五〇〇	三九	松堂
刑罰法	金子安治郎	一・五〇〇	三七	明堂
海軍々人恩給解説				
行政法論綱上卷	小川喜一	一・六五〇	三〇四	松華堂書店
最新刑令釋義	正木亮	一・三〇〇	三九	巖松堂書店
十周年記念法學論集	武内義雄	四・五〇〇	六九〇	岩波書店
判例大系六民法	村田憲治	七・五〇〇	三三三	法會
債權編各論	大竹武七郎	一・六〇〇	二六〇	松華堂書店
刑法綱要(總論)	松華堂	三・三〇〇	八〇	同
新警察練習書	編輯部	三・三〇〇	八〇	同
法令全書第二號	內閣印刷局	六・〇〇〇	二五〇	內閣印刷局
【四月】				
大審院刑事判例	法曹會	二・〇〇〇	一三六	法曹會
要旨類纂	橫田喜三郎	三・五〇〇	四三	有斐閣
立教教授層祝賀	立作太郎	四・〇〇〇	三八〇	日本評論社
國際法論文集	矢部克己	三・〇〇〇	四三	松華堂書店
時局國際法論	神武部	二・〇〇〇	九	神武部
手形法及小切手法	法務部	九・〇〇〇	六九	境川文庫
第一編手形法	黑坂利眞	九・〇〇〇	六九	境川文庫
新海軍法令集	田中耕太郎	九・〇〇〇	三二	岩波書店
(法律哲學概論)				

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
法律百般相談相手	岩崎高敏	二・〇〇〇	八八	藤谷崇文館
現土木關係法令集	帝國法制會	一・二〇〇	二七	鐵道圖書局
擔保物權法	穂積重遠	一・二〇〇	二六	有斐閣
國際法下卷	橫田喜三	二・八〇〇	三九六	橫田喜三
英美法教材第二卷	高柳賢三	四・〇〇〇	四三	高柳賢三
日本法制原論	中村万吉	三・〇〇〇	三九四	中村万吉
祝賀論文集	杉村章三郎	六・五〇〇	九〇	有斐閣
米國憲法本質論	藤井新一	一・二〇〇	二四七	同
憲法資料中卷	伊藤博文	七・〇〇〇	五〇	憲法資料會
美濃部達吉博士の日本憲法論批判	佐藤清勝	二・五〇〇	二九三	東亞書局
國際法概論	松原一雄	四・八〇〇	五三	巖松堂書店
法學入門	末弘嚴太郎	一・五〇〇	二二	日本評論社
法學通論講義案	田上穰治	非	一八	田上穰治
法律學說判例總覽第十三卷破産法下	高窪喜八郎	八・〇〇〇	約	法律評論社
現行海軍法令	海文堂	九・〇〇〇	約	海文堂
民法判例教材親族二	渡邊一郎	三・二〇〇	約	明治大學
帝國憲法逐條要義	田畑忍	三・〇〇〇	四七	株式會社
英領北ボルネオ產業關係法	拓務省	〇	三五	拓務省
大審院民事判例要旨	金光良純	二・〇〇〇	一五〇	法曹會
マルクス主義と刑法	フ、ピオントコ	二・〇〇〇	二七五	株式會社
法令全書索引目錄	內閣印刷局	六・〇〇〇	三〇〇	內閣印刷局
消防組織法概要	木村忠二郎	一・五〇〇	一五	平野書房
日本行政法原理	織田万	五・八〇〇	六四	有斐閣
改訂國際私法論	河邊久雄	三・八〇〇	五七	巖松堂書店
改訂統一手形法論	毛戸勝元	四・〇〇〇	五五	有斐閣
滿洲國法考	岸田英治	一・〇〇〇	二二	斯文書院
會社法講義案上卷	猪股淇清	一・〇〇〇	一〇	明治大學
衆議院議員選舉法改正解説	深谷善三郎	七・〇〇〇	一〇〇	中央社
訂債權法總論	岡村玄治	三・〇〇〇	三五	巖松堂書店
債權總論上	池田寅二郎	一・八〇〇	一四	清水書店
株式會社定款論	西本寬一	三・八〇〇	四八	大同書院
改正自動車取締令	良書普及會	一・八〇〇	三三	良書普及會

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
債權法新論	岩田新	三・五〇	三九〇	有斐閣
訂會社法提要	田中誠二	三・五〇	四七八	同
法律に於ける倫理と技術	牧野英一	三・三〇	三八四	同
自働車關係	氣賀美次	一・五〇	四七〇	同
贈收賄罪の知識	生天目健二	一・五〇	二六五	同
帝國的刑法の國體	里見岸雄	四・〇〇	四四〇	同
債權總論 中卷(一)	勝本正晃	五・〇〇	六八八	同
火災保險實務の手引	高森昇一郎	二・三〇	三三六	同
火災保險勧誘の手引	同	一・八〇	三〇四	同
勞働契約の研究	八木清信	二・五〇	二九〇	同
金銀物件、土地建物、手形證券掛符完收とだまされぬ取引策	小笠原正考	一・五〇	三三〇	同
第六十五議會通過警察關係法律全文及要旨	若泉小太郎	四・〇〇	二二〇	同
憲法と政黨	美濃部達吉	一・五〇	二三五	同
增補刑法大要	泉二新熊	四・〇〇	六八六	同
手形及小切手法	大濱信泉	三・三〇	三三四	同
法窓漫筆	末弘嚴太郎	二・〇〇	三六七	同
船舶安全法關係	大矢五作	一・五〇	三三〇	同
日本民事訴訟法論	山田正三	三・五〇	三七三	同
再刑事訴訟法講義	宮本英修	三・〇〇	三七八	同
訂参考法鑛業法令集	中村喜元	三・〇〇	三〇〇	同
條挿入鑛業法令集	淺井義明	五・〇〇	四〇八	同
ワーク、アント	高橋	一・〇〇	一〇〇	同
高橋州警察法規	齋藤常三郎	二・五〇	四〇四	同
破産法及和議法研究	黑坂利眞	九・〇〇	九〇七	同
新海事法令集	原田慶吉	一・八〇	一八四	同
「法學提要希臘語義解」第三、四卷邦譯	内閣印刷局	六・〇〇	三〇〇	同
法令全書五	石村隆司	一・八〇	一八四	同
判例所得稅法	島津嘉孝	三・〇〇	三〇〇	同
現六法問答義解	八木橋雲平	一・四〇	一四〇	同
地方稅滯納處分法規	同	一・四〇	一四〇	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
國民必携現行法律書	國民法律會	非×	×	國民法律會
派出所、駐在所、勤務必携	城南隱士	八・五〇	三三三	同
地租手續便覽	協大阪財務會	八・〇〇	一七〇	同
高等試驗口述問答集	高文受	八・〇〇	二二六	同
海商法規解説	中島信一	一・〇〇	三三七	同
最新都市計畫法の智識	木下三四彦	五・〇〇	九三	同
實用手形手引	牛山 巍	九・五〇	二九	同
ヘーゲルの法律哲學	田村 實	二・三〇	三三三	同
工業政策要論	磯部喜一	二・八〇	三三四	同
法令索引總攬(一)	增島六一郎	三・五〇	△二冊	同
アイン(二)シワ	鈴木安藏	一・八〇	二三四	同
日本憲法學の發展	鈴木安藏	一・八〇	二三四	同
銀行取引の發展	妹尾一雄	二・七〇	九三	同
法律學的解説	西山暢道	三・〇〇	二四	同
商權擁護の炬火	奧 一夫	八・〇〇	二〇五	同
最新民事訴訟法判例彙集	南波杏三郎	一・八〇	三三三	同
搜查學大要	片山義明	三・七〇	〇六三	同
會社法原論	片山義明	三・七〇	〇六三	同
國內國警察法要義	志保澤喜多	一・四〇	一三三	同
外併用警察法要義	宮本英修	一・〇〇	五七〇	同
刑法大綱 第二分冊	馬場千代	非〇	〇	同
改正手形法の見方	島根縣	同〇	一六五	同
醫事法規集	醫師會	三・八〇	〇二七三	同
民法判決例總覽	梶 康郎	三・八〇	〇二七三	同
重要判決例總覽	大竹武七郎	三・八〇	〇六八	同
刑法綱要 各論	同	二・二〇	〇六八	同
刑法綱要(各論)	同	二・二〇	〇六八	同
手形法及小切手法	島本英夫	三・〇〇	〇四三	同
增補健康保險法規	浦生俊文	三・〇〇	〇二〇	同
船舶職員法及關係法令	遞信協會	四・〇〇	一七八	同
商法の常識	栗栖起夫	一・〇〇	〇二二	同
陸軍軍法會議法講義	日高已雄	二・〇〇	〇四五	同
海商法講義全	加藤正治	五・〇〇	〇五九	同
恩給權の保全と立替の眞相	國與年想	二・〇〇	〇二〇	同
二十世紀の眞相	立命館出版部	一・四〇	〇二五	同
於ける死に刑	立命館出版部	一・四〇	〇二五	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
獨逸聯邦世襲農場法	農林省	〇・六	六	農林省廳
富山縣教育法規	富山縣教育會	二・五〇	四八	富山縣教育會
小協商規約	赤松祐之	〇・八〇	二	日本國際協會
一般議定書	同	二・五〇	四〇	同
例規判例手續挿入	内田重雄	一・三〇	三〇	寶文館
改正恩給法通解	鳥村他三郎	二・八〇	三七五	巖松堂書店
行政法要論各論	普文學會	〇・八〇	×	清水書店
刑法各論要覽	川村精治	三・〇〇	二五〇	文部省宗教廳
宗教法令類纂	松島與三	非	〇・一七	帝國教育會
諸法按科ニ關スル規	村田憲治	八・〇〇	二〇七	啓法會
判例體系10	内閣印刷局	六・〇〇	三〇〇	内閣印刷局
法令全書第六號	文信社	八・〇〇	一八四	文信社
改訂國際私法便覽	海文堂	〇・六〇	×	海文堂
市政關係法規集	海文堂	〇・六〇	×	海文堂
增訂現行海事法令	海文堂	〇・六〇	×	海文堂

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
秘書法制關係資料上	伊藤博文	七・〇〇	〇・六三	秘書類纂會
秘積陳重遺文集	秘積重遠	五・〇〇	〇・六九	岩波書店
和蘭の印象と國際法	織田萬	二・二〇	二〇四	立命館出版部
日本比較憲法論	藤井新一	二・五〇	〇・三五	有精堂出版部
最新ソグイェート刑事訴訟法	胡麻本萬一	一・五〇	〇・一七	増田書店
最新株式會社法實務	宮田暢	三・五〇	〇・八〇	文錄社
債權總論上卷	勝本正晃	四・三〇	〇・五八	巖松堂書店
英國法制研究	穂積重威	二・六〇	〇・三六	三省堂
日本漁業權制度概論	原暉三	二・二〇	〇・三六	杉山書店
刑法に於ける保護の名譽	小野清一郎	三・八〇	〇・五九	有斐閣
歐米に於ける主權の概念の歴史及再構成	原田鋼	六・〇〇	〇・六五	同
法律より見たる日本民法	勝本正晃	二・五〇	〇・二六	巖松堂書店
判例民事法總索引	民事法判例會	二・五〇	〇・三七	有斐閣
自大正十年度至昭和五年	農林省農務局	〇・三八	〇・三八	農林省農務局
農業水利制度參考資料	農務局	〇・〇〇	〇・〇〇	同
農業水利ニ關スル各國法令	太田哲三	三・〇〇	〇・三七	東洋出版社
事業會計實務	新井正三郎	二・六〇	〇・三四	新井正三郎
總登記申請附屬書式全集	新井正三郎	二・六〇	〇・三四	新井正三郎

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
破産及和議手續記録	田中正雄	三・〇〇	〇・三九	政經書院
中華民國手形法	田中耕太郎	四・〇〇	〇・四五	中央大學
船舶安全法關係法令	鈴木武雄	一・五〇	〇・五九	日本海事學會
漁業法及漁業組合令	管船省	一・五〇	〇・五九	出版部
關東係法	北海道廳	三・〇〇	〇・二五	内閣印刷局
法令全書第七號	内閣印刷局	六・〇〇	〇・九六	内閣印刷局
樺太廳警察法規全	樺太廳	〇・三三	〇・三三	帝國學地方會
改正愛知縣自動車關係法	長谷川與一	七・〇〇	〇・二九	東文堂書店
關東係法	滋賀縣漁業組合協會	非	〇・二六	漁業組合協會
擔保附社債研究	栗栖越夫	四・八〇	〇・六四	文雅堂
當座預金取引の研究	網島克己	一・七〇	〇・三四	同
法座預金取引の研究	振淵銳夫	四・八〇	〇・五五	清水書店
改正手形法及小切手	吳文	四・八〇	〇・五五	弘文堂書房
日本民事訴訟法	齋藤常三郎	八・〇〇	〇・一一	同
上訴以下講義案	齊藤悠輔	二・〇〇	〇・三五	松華堂書店
搜查事務提要	齊藤悠輔	二・〇〇	〇・三五	松華堂書店

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
帝國憲法要綱	金森德次郎	三・〇〇	〇・三三	巖松堂書店
物權法論	近藤英吉	一・八〇	〇・三三	弘文堂書房
法律における文化と價值	牧野英一	二・〇〇	〇・三六	有斐閣
商法大要第一分冊	野津務	一・八〇	〇・三五	同
民法講義(總則)	川添清吉	二・三〇	〇・二九	巖松堂書店
法令全書第八號	内閣印刷局	六・〇〇	〇・〇〇	内閣印刷局
增補監獄法概論	正木亮	一・四〇	〇・二二	有斐閣
最新水産法規集	編輯部	一・五〇	〇・六九	水産社
現行神社令規	和歌山縣	非	〇・二七	和歌山縣
會社法講義案	神職會	一・〇〇	〇・一五	神職會
行政法提要總論上卷	猪股洪清	一・〇〇	〇・一五	明治大學
警察官願屆書式集	中村彌三	一・四〇	〇・一七	敬文堂書店
警察法規及六法圖解	向井秋雄	〇・〇〇	〇・〇〇	同
石油業法	松華堂	八・〇〇	〇・〇〇	松華堂
試驗問題集	内山省三	三・五〇	〇・三三	石油時報社
商法總則模範解答	普文學會	八・〇〇	〇・二九	清水書店
刑事事實例問題集	齊藤悠輔	四・〇〇	〇・七〇	松華堂

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
自動車取締令自動車事業法關係法規講義	相羽 有	五〇〇	二九八	日本自動車蒲田校	中華民國刑法	小野清一郎	三〇〇	三九〇	中央大學神田
辯護士第一卷法廷に現れたる強盜・強姦・殺人・放火	山田 武雄	三〇〇	四一〇	山田武雄新湯	最新不動產登記手續	千野國丸	二〇〇	三五一	銀行問題大阪
綜合日本民法論(4)	沼 義雄	四七〇	六三三	巖松堂書店神田	改訂增補 水産關係法規 解説	今村與作	二五〇	五七	大日本水産會赤坂
兒童虐待防止法の話	兒童擁護會	二〇〇	二三三	兒童擁護協會麹町	手形及小切手法下	大濱信泉	三〇〇	四二二	巖松堂書店神田
手形法	烏賀陽然良	二〇〇	二九二	弘文堂書房神田	鑛業法研究	鹽田 環	二六〇	三三二	鹽田環法律事務所
明治大正保險史料	玉木爲三郎	非	〇	生命保險會社	女性の法律	尾山萬次郎	一五〇	〇	昭和法制學會豊島
判例採用會社	上野泰吉	二五〇	三三五	法律新報社同	日本民法講義總則	片山 哲	一三〇	三三三	學藝書房大森
臺灣違警例 解説	甲斐春夫	二〇〇	四七六	日本警察社牛込	私生子と其法律關係	齋藤常三郎	一五〇	二五〇	弘文堂書房神田
犯罪既決例 解説	杉本正幸	四〇〇	五〇〇	巖松堂書店神田	秘書 法制關係資料下	小池恒由	一三〇	三三七	松本陽堂
不動産銀行法釋義	天野弘一	〇	三〇六	天野弘一日本橋	訂增補 金銭債務臨時調停法解説	伊藤博文	七〇〇	五七六	秘書類會麹町
法窓異見	田中耕太郎	七五〇	七九四	岩波書店神田	執行手續實教	長島 毅	一五〇	二五五	清水書店神田
世界法の理論第三卷	穂積重威	二六〇	二七六	三省堂同	競賣手續實教	大濱信泉	二八〇	三五五	廣文堂書店牛込
英國動産賣買法原文附・米國法對照	野津 務	二五〇	二八〇	有斐閣神田	商法總則 營業論	五味政廣	一五〇	二六九	朗月堂書店山梨
商法總則 第一部	官崎直二	一五〇	五五三	實業之日本社東京橋	日本憲法の基本主義	野村 務	三〇〇	四三八	有斐閣神田
改正法に據る手形と小切手の書方と見方						美濃部達吉	一八〇	二〇六	日本評論社東京橋

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
實例競賣法綜覽完	中島寛二	七五〇	九四九	酒井書店本郷	陸軍獸醫師關係法規	小出留三郎	非	〇	陸軍獸醫師會世田
民法研究第一卷	石田文次郎	三〇〇	五二二	弘文堂書房神田	參照條文附	飯豐武雄	五〇	四〇〇	日本度量衡會芝
民法研究二	勝本正晃	四〇〇	五三三	巖松堂書店同	産業組合	中央會	五〇	八四	産業組合會麹町
日本刑法各論	小泉英一	二〇〇	三三〇	南 郊 社牛込	債權法總論要覽	普文學會	八〇	〇	清水書店神田
民族更生の根本精神に立脚せる現下國逸政府の諸法規を檢討す	水井豊太郎	五〇〇	一一二	永井豊太郎大阪	支那及び滿洲關係條約及公文集	新井小一郎	九〇	一七四	金 泉 堂東京橋
海上賣買論	上坂西三	四二〇	五六四	東京泰文社牛込	【十一月】				
株式讓渡論	古山嶋藏	三〇〇	三四	日本會社大阪	支那及滿洲關係條約及公文集	半澤玉城	六〇〇	二〇四	外交時報社麹町
法令令書第九輯	内閣印刷局	六〇〇	〇	内閣印刷局麹町	大坂市公債條例集	大坂市役所	〇	三三六	大坂市役所大阪
法學研究三	中山伊知郎	二〇〇	四二二	岩波書店神田	昭和三十九年 滿洲國法令輯覽	庶務部	〇	〇	帝國地方會東京橋
別公民法規要典	坪内武四郎	一八〇	五五五	東京開成館小石	地方制度財務實業	法制局	〇	〇	東亞法學會板橋
商業組合法逐條字解	有松 昇	一四〇	三四	新光閣神田	東亞法制研究第一輯	布勢信平	三〇	二〇	弘文堂書房神田
中華民國民法債權各則	我妻 榮	四〇〇	四三三	中央大學同	滿洲國ヲ繞ル各國國籍法	田島 順	二〇〇	二九〇	法律新聞社日本
ナチスの法律	同	二〇〇	三三二	日本評論社京橋	擔保物權法	編 輯 部	六〇〇	一五六	巖松堂書店神田
産業組合法通義	蓮池公咲	一五〇	三三七	高陽書院神田	刑事判例研究一	草野豹一郎	三八〇	四九二	大坂市役所大阪
醫師法、齒科醫師法、診療所、齒科診療所關係法令集	齋藤 首	非	〇	齋藤 首千華	財務法規提要	大坂市役所	非	〇	大坂市役所大阪
加除自在 現行鹿兒島縣教育法規集	鹿兒島縣教育會	一〇〇	三七	鹿兒島縣教育會鹿兒島	商事訴訟論	栗栖越夫	三三〇	三七四	文 原 堂日本
鳥縣教育法規集	鹿兒島縣教育會	一〇〇	三七	鹿兒島縣教育會鹿兒島	民事訴訟論	山田正三	三三〇	四九八	弘文堂書房神田

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
最新地租法要義	柳義治	三・三〇	三六	森山書店
新地租法要義	野間繁	三・三〇	三六	章華社
國際私法 第三分冊	山田三良	九〇	二六	有斐閣
滿洲國法令輯覽一	國務院	〇	〇	帝國學地方會
條約彙纂 第三卷	外務省	四・五〇	四四	內閣印刷局
新聞雜誌 書籍出版	編者	五〇	一四	讀書新聞社
刑罪珍書解題	尾佐竹猛	一・五〇	三六	犯罪科學會
日本民法要論	平林庄太郎	三・五〇	五四	良榮堂
警察講習講義錄	平嵐規矩雄	一・六〇	一四	警察講習所
獨逸に於る新カルテ	天野健雄	一・五〇	二四	東京商工所
取調の要件と	山口弘三	八〇	一七	新光閣
香川縣犯罪檢舉錄	刑事協會	非	二二	刑事協會
損も得と變る	伊藤喜八	一・五〇	三二	二松堂書店
法律と人情の新戰術	村田憲治	五・〇〇	〇	啓法會
親族編 下	齋藤常三郎	三・〇〇	五〇	弘文堂書店
日本和議法論下				

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
警察講習講義錄三	五十嵐規矩雄	一・六〇	〇	講義錄發行所
改衆議院議員選舉法	高橋 晃	七〇	一六	一號社
改正衆議院選舉法	川手忠義	一・五〇	三八	行政評論社
商法大要 第二分冊	野津 務	一・八〇	二三	有斐閣
教材 陸軍軍法會議	日高己雄	一・五〇	元〇	良榮堂
墮胎罪 研究	小泉英一	二・五〇	二六	巖松堂書店
水産關係法規	大日本水産	二・五〇	二六	大日本水産會
日本民事訴訟法	齋藤常三郎	八〇	九	弘文堂書店
新六法全書	巖松堂書店	三・二〇	〇	巖松堂書店
大審院民法判例索引	增田六一郎	二・五〇	五四	湯川弘文社
刑事訴訟法概論 第一分冊	千賀孝善	一・〇〇	九	進社
水陸交通事故判例	内田豐治	二・〇〇	二六	立興社
憲法の歴史的研究	鈴木安藏	三・五〇	四七	叢文閣

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
伊太利ニ於ケル公衆販賣業並行商取締ニ關スル法規	天野健雄	二・三〇	三三	東京商工會
租稅法規提要	大藏省	八〇	七二	東京財務協會
刑法論 攷	飯塚敏夫	三・五〇	五九	松華堂書店
學理的判例物權法	森山武市郎	三・〇〇	四四	同
商法概論下 海商編	西本辰之助	二・五〇	四一	巖松堂書店
憲法原論	竹内 雄	三・三〇	五〇	同
詐欺罪解説	小田泰三	非	一六	小田泰三
實例 仲裁手續	西川 沈	二・五〇	三〇	川瀨日進堂
民事訴訟法 第八編	河中俊四郎	三・〇〇	〇	良書普及會
日本法制史概論	牧 健二	二・〇〇	一三	弘文堂書店
法令全書 十	內閣印刷局	六〇	〇	內閣印刷局
判例總攬 (上)	半田健次郎	五〇	〇	同
滿洲國法令輯覽三	國務院	〇	〇	同
犯罪搜查法	有松清治	一・五〇	五五	同
最新百餘種圖書式	出口雄康	三・〇〇	〇	同
例とその解説	岩崎高敏	九〇	〇	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
判例民事法十二	民事判例會	五・〇〇	〇	有斐閣
親族法要綱	永田菊四郎	二・三〇	二六	巖松堂書店
中華民國民事訴訟法	菊井維大	四・〇〇	四三	中央大學
創作及著作權とは何ぞや	中里彌之助	七〇	〇	隣人之友
大審院裁判例七	山川金五郎	一・五〇	二九	法律新聞社
公法學の諸問題一	宮澤俊義	三・五〇	四七	有斐閣
同 二	同	三・八〇	五三	同
商事判例集	小町谷操三	一・五〇	二二	岩波書店
海法會誌 十九	伊澤孝平	非	〇	日本海法會
馬政關係法規	松波仁一郎	〇	〇	帝國馬匹協會
判例物權法總論	山田仁市	〇	〇	同
新民事訴訟法學說判例	柚木 馨	二・五〇	二九	巖松堂書店
特許實用新案意匠商標審決判例要旨集	寺澤音一	二・〇〇	〇	法文社
引用條信託法令全集	內藤 隆	二・三〇	三四	巖松堂書店
工業組合法講義	稻村眞介	一・五〇	三〇	財政經濟社
法令全書 十一	廣瀬 保	一・五〇	三〇	工業組合
	內閣印刷局	一・六〇	〇	內閣印刷局

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
改正選舉法令詳解	小林尋次	一〇〇	二七六	警察精神社 麩町
昭和九年選舉法令改正解説	古井喜實	一八〇	四九六	中央報徳會 四谷
信託法に於ける信義誠實の原則	野津務	二四〇	二六五	中央有斐閣 神田
産業經濟關係法規要覽	赤堀郁太郎	三〇〇	二九六	中央業協和會 麩町
口述受驗叢書 警察法編	鳥津嘉孝	八〇〇	二四〇	新光閣 神田
著作出版 音樂法規	梅津勝夫	八〇〇	一四〇	敬文館 同
加除自在 産業組合關係法規集	産業組合中央會 岡山支會	〇	〇	岡山支會 岡山
宗教法案資料	淺野研眞	一〇〇	二九六	東方書院 神田
改正農會法令解説	湯河元威	三〇〇	一七四	帝國農會 麩町

印刷用紙計算法

菊判三百二十頁の書籍を一千冊印刷するときには菊全判紙何程を要するか。普通の計算法によると、先づその頁數三百二十に印刷部數一千を乗じ、次に全紙片面には十六頁づゝ印刷されるを以て三十二で除すると一萬といふ所要枚數を見出すことが出来る。更にその連數を知らうとすれば一連の標準枚數五百を以て除すれば二十連であることが分る。

また一冊に要する枚數を見るには、頁數三百二十を三十二で除すれば十枚であることがわかる。従つて五百冊を印刷するにはその五百倍、即ち五千枚となる。五千枚は即ち十連である。而して四六判に於ては全紙片面に三十二頁づゝ印刷されるを以て菊判の半數となる。

以上の所要枚數は製本に必要な刷本の數量であつて、實際に印刷する場合に於ては印刷のために必要な枚數及び印刷工程に於ける「ヤレ」等を豫め餘分に見ておかなければならない。

〇〇〇頁の印刷用紙算出表の示數には印刷に必要な枚數及びヤレの數量は含んでゐない。而して菊判十六頁の割合を以て算出した示數であるから、(1)菊判十六頁掛及び四六倍判十六頁掛は示數の通り、(2)四六判三十二頁掛及び菊半裁三十二頁掛は示數の半數、(3)菊倍判八頁掛は示數の倍である。

〔二二〕 政治・外交

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
新疆に於ける蘇聯邦と英國合衆國政府ハイテイ國政府間の協定	大月久治	非	三三	大月社會問題調査所 大阪
日本印度間の通商に關する條約の効力存続暫定取極	赤松祐之	二〇〇	三	日本國際協會 麩町
世界の今日日 綜合	同	〇六	八	同 同
世界現勢圖鑑	中平亮	〇	二三四	平凡社 日本橋
同 東南亞細亞諸國	野波靜雄	〇	一九三	同 同
昭和五年國勢調査報告 第四卷 大分	内閣統計局	一・二〇	△二五〇	内閣統計局 麩町
植民史の研究	市村與市	〇	三六六	植民史の研究會 名古屋
將來の海軍問題	關根群平	一・〇〇	一五〇	千倉書房 京橋
政黨を脱退して	松岡洋右	二〇〇	〇	大阪毎日 大阪
日本國民に訴ふ	立花宗幸	一・〇〇	〇	大日社 神田
日本政黨罪惡史	立花宗幸	一・〇〇	〇	大日社 神田
天皇政治論	村瀨武比古	五〇〇	二六	東邦書院 京橋
國家社會主義の排す	片山廉平	〇	三〇	片山廉平 世田
衆議院先例要覽	衆議院	〇	三〇〇	衆議院 麩町
秘密結社	前田越嶺	一・三〇	〇	高原書店 京橋
一九三五—六年度の政黨の軍民離間運動の實證	廣田重太	三〇〇	〇	廣田文庫 豊島
政治運動の實證	河野政美	〇五〇	〇	帝國新報社 京橋
問建の赤化と危機	篠原匡文	三〇〇	〇	東亞政治調査所 麩町
我國防線の危機	岡村恒夫	五〇〇	〇	東亞政治調査所 麩町
勢力の觀實と情産	南郷次郎	三〇〇	〇	亞細亞情報社 芝
我國體の源流と研究	三宅悟堂	三〇〇	〇	國民新聞社 神戶
非常時日本國防經	赤松小寅	一・五〇	〇	修明園 神戶
運ヒツト語る	葛岡常治	一・五〇	〇	社會教育協會 小石
米國禁酒法撤廢	松華堂	各	〇	社會教育協會 小石
警察受驗全書 常識	松華堂	各	〇	社會教育協會 小石
警察の實務	松華堂	各	〇	社會教育協會 小石

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
檢束必携	三田村武夫	・四〇	二二	松華堂
滿洲問題	矢内原忠雄	・五〇	二七	岩波書店
強力政治の將來	佐々弘雄	・五〇	三六	河出書房
天皇の御本質と 天皇政治の本義	中谷武世	・二〇	一八	國民思想
天皇政治の本義 刑罰對策上より觀たる刑罰 制度の矛盾點、獨逸憲法の 獨裁化	原誠一	・三〇	三七	東京中央會社
最近の世界を巡りて	本多市郎	・一八〇	六四	平凡社
政局を繞る人々	角屋謹一	・三〇	三〇	文王社
非常時讀本	三田村武夫	・二〇〇	三六	松華堂
國體の根本精神	宇宙社	・二五〇	四二	宇宙社
ロシヤは如何にして 極東に迫るか?	伊藤隆文	・二〇〇	四〇	國防研究會
一般軍縮會議 一變動期	海軍省	・五〇	二五	海軍省
大變動期	滿川龜太郎	・五〇	二五	錦旗社
世界と日本	池田秀雄	・三〇〇	五三	日本評論社
滿洲統治論	貴島桃隆	・三〇〇	六〇	龍閣社
廣田外交の對外反響 敢て天下の輿論と貴 衆議院議員に訴ふ	峰岸清之	・三〇〇	六〇	拓務評論社
來るべき世界の姿	茂木惣兵衛	・五〇	三九	千倉書房
非常時の同胞に望む	海軍省	〇	二五	海軍省
海洋時代	同	〇	三五	同
最近の支那	西田耕一	・二〇	三三	大阪會社
明倫會	明倫會本部	〇	六	明倫會本部
警察教科書	愛知縣警察練習所	〇	一八	警察練習所
日本憲法と政黨政治	赤松克麿	・二〇〇	一八	國民協會
議會を通じて國寶高 橋是清翁の經國前編	小野桂	・五〇	一五	輝く日本社
委任統治制度ノ研究 第一卷—第三卷	東亞振興會 調査部	非△	三册	東亞振興會
千九百三十一年第十五回國 際勞動總會ニ於テ採擇セラ レタル條約案及勸告	東京支局	・二〇〇	三	國際勞動局
學國一致論	同	・三〇〇	三	東京支局
誰が世界を 動かすか?	小林知治	・二〇〇	六	漫畫時代社
同	石野義助	・三〇〇	三	石野義助

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
時の人岡本一已述 政界を擧撃す	伊藤稔	・二〇〇	四〇	大文社
對滿政策の確立と日 滿統制經濟に就いて	加藤久米四郎	非〇	三七	福井安久
露西亞の現實ト 第三インターナシヨ ナルに關する研究	花岡止郎	・六〇	三三	國際思想會
賊は尊氏一人か	藤本秀之助	非〇	二七	同
日本孤立せず	相馬基	・三〇〇	二二	日本通信社
帝國の非常時	荒木利一郎	・二〇〇	二九	新大阪毎日
斷じて解消せず	青木節一	・八〇〇	二五	朝日新聞社
日本脱退の前後	石川吉郎	非〇	七〇	帝國在郷軍人會 第十四師管區 聯合支隊
世界の變局と 日本の覺悟	三鷹尊人	・一〇〇	二四	公人書房
財閥・政黨・政黨	刀彌館正雄	・三〇〇	三三	東京朝日新聞社
日本外交點描	林憲治	・一八〇	三〇	警世社
國際聯盟は 解消するか	渡邊哲雄	・一八〇	三〇	警世社
現代知識の展望	北吟吉	・二〇〇	三〇	國民協會
憲政常道論の迷信	浦松佐太郎	非〇	三七	太平洋問題會
太平洋の新狀勢	佐藤慶治郎	・四〇〇	四〇	日章塾
世界革命趨勢大觀	同	・四〇〇	四〇	日章塾
日本の危機	宿田倍達	・二〇〇	三三	新東京社
政局はどう動く?	岩田三治	・二〇〇	三三	新東京社
第六十五回帝國議會 代表雄辯集	檜垣清人	・八〇〇	二九	日本講社
改造を急ぐ日本	手塚信吉	・二五〇	二九	日高皇道社
世界大戦は起る?	伊藤隆文	・二〇〇	二九	青年會本部
一九三六・アメリカ はどうか見る	世界時事 題調査所	・二五〇	三九	國防研究會
政權亡者字垣と朝鮮 に於ける彼の準備工作	山澤兵部	・二〇〇	二六	日本公論社
日本の國際的 立場と其使命	大久保弘一	・二〇〇	二六	操觚大道社
世界は何處へ	塚本義隆	・五〇〇	二八	大阪會社
一九三三年に於ける 國際聯盟の活動	赤松祐之	・二五〇	三〇	新開聯合社
議會常識讀本	松田一郎	・三〇〇	二七	日本國際協會
【四月】	同	・三〇〇	二七	日本國際協會
佛蘭西政治經濟研究	田畑爲彦	・二〇〇	三六	立命館出版部
最近世界外交史前編	芦田均	・四〇〇	七五	明治圖書
立教授還曆祝賀 外交史論文集	山川彦松	・三〇〇	五七	有斐閣
自治講習會講演集	山形縣 地方課	非〇	四〇	山形縣 地方課

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
統帥權の獨立 ヒットラー運動 と獨逸の現狀 不安なる歐洲の政情	中野登美雄 服部 續 陸軍省 調査班	六〇〇 一八〇 〇	七九 三六 二七	有斐閣 日黑書店 陸軍省調査班 東京
世界の觀た滿洲國 非常時に際して 全國民に訴ふ	貴島桃隆 松岡洋右 松本重敏	三〇〇 三〇〇 三〇〇	四 五 四	國際經濟 研究所 又新 社山梨 日黑書店 神田
國體正話 第六十五帝國議會 於ける小進送に関する質問 と答辯	松岡洋右 交通日 新開社	三〇〇 五〇〇	四 二六	國際經濟 研究所 又新 社山梨 日黑書店 神田
我が國體是即道義 皇室中心主義 軍人の使命と政治	和九平 津村 重 大井一哲 木島康陽	〇 三〇 三〇 三〇	五 八 三 三	政治經濟 時論社 出版部 和九平 廣島 日本社會 問題部 東京
軍人の政治干與問題 第六十五議會と 特別市制	大井一哲 木島康陽	三〇 三〇	三 三	政治經濟 時論社 出版部 和九平 廣島 日本社會 問題部 東京
新日本建設計畫大綱 醫業分業是乎非乎	新日本國民 同盟書記局 茂木太市	二〇〇 二〇〇	三 三	政治經濟 時論社 出版部 和九平 廣島 日本社會 問題部 東京

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
飛躍日本の政治 世界の觀た滿洲國 政局はドウなるか	和久田 球磨 貴島桃隆 菅野秀雄	六〇〇 三〇〇 二〇〇	一八〇 四 六	研究社 龍岡 東京 龍岡 東京
世界を渦巻く 三六年度の危機と 海國日本の使命	永井 茂 大阪毎日 新聞社	一〇〇〇 二〇〇	一九 六	創作オフィス 廣島 大阪毎日 社大阪
南洋の委任統治 此の日本國をどうする	麓 純 新義社 新川 新	七五〇 一五〇	一四 三六	新極東 社杉並 香風閣 書房神田
新興獨逸の紹介三輯 日蘭會商の豫備知識	樹本芳郎 貴島桃隆	非〇 三〇〇	六 三	新興獨逸 乙東京 府府 國際經濟 研究所 東京
【六月】 南海の生命線 南洋群島の重要性	吉田美英 衆議院 事務局	三〇〇 〇	八 二	生命線 社下谷 衆議院 事務局 東京
西洋政治學批判 日本警察史	佐藤清勝 山元一雄	二〇〇 一五〇	二五 四七	創造社 神田 松華堂 書店同
苦境に立てる アメリカ外交	清水 博	二〇〇 〇	四九	斯文書院 牛込
た國に政治 め民に戦ふ	野依秀市	二〇〇 〇	三五	秀文閣 書房芝
市町村國稅事務 取扱手續	澤榮一郎 榊本芳郎	五〇〇 非〇	五三 七	廣島財務 協會廣島 新興獨逸 會東京
【五月】 新興獨逸の紹介二輯	榊本芳郎	非〇	七	廣島財務 協會廣島 新興獨逸 會東京
新東洋主義論 最近の抗日南支那 議會政治の檢討	伊藤阪二 伊藤劍南 美濃部達吉	二〇〇 五〇〇 三〇〇	三〇 五 五八	新東洋 社神田 日本經濟 會福岡 日本評論 社東京
第六十五帝國議會 拓務議事詳録 雲南に對する 英佛の活躍	佐々木龍一 陸軍省	三〇〇 〇	五〇 三	中央情報 社東京 陸軍省 同
日本外交秘録 革新論及革新 運動を戒む 青年が祖國を見直せ 誤れる支那の對日政 策と列國の對支活動 日本に捧ぐる力	刀禰館正雄 齋藤隆夫 齋藤亮輔 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省	二〇〇 五〇〇 二〇〇 〇 〇 〇	二八 二〇 二〇 三 三 三	朝日新聞 社東京 日本評論 社東京 新正堂 大阪 陸軍省 調查部 東京 陸軍省 調查部 東京
立憲自治と公民生活 建設途上の滿洲國	羽田隆雄 篠崎嘉郎	三〇〇 非〇	三 二六	中央情報 社東京 陸軍省 同
ハルビン諸事情 一木樨村長に對する世間 の誤解附明神官を通じて 觀たる日本の國民性	山田好文 ホラ、エフ、 小原敬士	非〇 一三〇	三 一七	香風閣 書房神田 山田好文 社神田
國際政治情勢地圖 日本に對する 強盜遠征 亞比利亞事變と 國際關係の真相	野村忠治 竹山安太郎 山榊儀重	〇 一八〇 六〇	二 三 三	帝國在郷 軍人部 東京 日東出版 社神田 寶文館 日本
憲政よ何處へ 大乗精神の 政治的展開 滿洲事變日録史	倉田百三 半澤玉城 松尾正直	一五〇 五〇〇 二〇〇	三二 一 一	大東出版 社芝 外交時報 社東京
蔣介石氏に告ぐ 東半球主義	同	二〇〇	一	新東洋 社同
軍民第一輯 世界平和の敵は誰だ 政黨政治の必然性	染谷銀三郎 松岡哲史 濱田紫山	二〇〇 一〇〇 三〇〇	六 六 九	軍民社 同 甲書房 神田
蘭印通商問題 滿洲問題と日米親善論	濱田紫山 浮田和民	三〇〇 一五〇	九 二七	經濟調查 會同 經綸會 出版部 東京
アメリカ道 行くべきカ	浦松佐美太郎	非〇	六	大平洋 問題會 東京

大學林語學參考書

本書林語學參考書の特色。一日一課二時間短期間。習可能な組織法。國音標文。字の併用。文法の密接なる動詞。重要動詞。變化表。語法添附。語法添附。質問券。附し本。中の疑。は著者。責任。答す。

獨逸語短期大學 (全三卷)	佛蘭西語短期大學 (全三卷)	標準支那語講座 (全二卷)	獨逸語四週間 (卅三版)	佛蘭西語四週間 (十九版)	支那語四週間 (七版)	英語四週間 (六版)	露西亞語四週間 (六版)	伊太利語四週間 (三版)	西班牙語四週間 (新刊)	葡萄牙語四週間 (最新刊)	エスペラント四週間 (三版)
文學博士 山岸光宣監修 各定價一・五〇 送料一〇	文學博士 吉江喬松監修 各定價一・五〇 送料一〇	元陸大教授 宮島吉敏編輯 各定價一・五〇 送料一〇	文學士 森 儂 郎著 定價一・五〇 送料一〇	大阪外語講師 德尾 俊彦著 定價一・五〇 送料一〇	元陸大教授 宮島 吉敏著 定價一・五〇 送料一〇	明大教授 松本 環著 定價一・五〇 送料一〇	早大教授 岡澤 秀虎著 定價一・五〇 送料一〇	大阪外語講師 德尾 俊彦著 定價二・〇〇 送料一〇	東京外語教授 笠井 鎮夫著 定價二・〇〇 送料一〇	東京外語教授 星 誠著 定價二・五〇 送料一〇	小野田幸雄著 定價一・五〇 送料一〇
各定價一・五〇 送料一〇	各定價一・五〇 送料一〇	各定價一・五〇 送料一〇	定價一・五〇 送料一〇	定價一・五〇 送料一〇	定價一・五〇 送料一〇	定價一・五〇 送料一〇	定價一・五〇 送料一〇	定價二・〇〇 送料一〇	定價二・〇〇 送料一〇	定價二・五〇 送料一〇	定價一・五〇 送料一〇

六四三

東京 市軒 牛町 區二 大 學 林 書 振 替 口 七 座 四 東 京 番

新 刊 重 版

著者名	澤田總平 清共著	德本正俊著	村上才太郎著	澤田總清著	相良 左著	村上才太郎著	德本正俊著	宮下幸平著	相良 左著	山崎美成著	丸山眞幸著	井上頼文著
書名	十八史略新講	源氏物語講義 二卷	花月双紙の講義	漢文作法要說	上級生の英文法	増鏡の講義	雨月物語詳釋	左傳新講	英文法講義	古今和歌集遠鏡	倭漢朗詠集	古事記讀本
定價	壹圓八拾錢	各冊參圓八拾錢	壹圓	壹圓	壹圓貳拾錢	壹圓貳拾錢	壹圓八拾錢	貳圓五拾錢	貳圓五拾錢	壹圓八拾錢	貳圓五拾錢	九拾錢
送料	拾貳錢	貳拾四錢	拾錢	八錢	八錢	拾貳錢	拾錢	拾貳錢	拾八錢	拾貳錢	拾貳錢	六錢

六四二

東京市神田區保町一丁目五九番 (振替東京五九六番電話神田四二一)

芳 文 堂

川上三太郎先生編・宮尾しげを畫伯裝幀

新川柳大觀

百年稀出の川柳家として斯界の第一人者たる川上三太郎先生の苦心は實に此間三星霜を費したる川柳寶玉集にして收むる處の類題千三百餘、句集一萬、加ふるに巻頭の寸劇四篇は川柳味津々として其の輕妙なる筆致は先生獨得の一手、實に昭和川柳壇の一大名著たり。敢て川柳同行の士に薦むる所以なり。



編者自ら知人に宛てたる一節に曰く「次に小生三年前より『新川柳大觀』の編纂に志し爾來材料の蒐集、句稿の整理に苦心努力中とのところ愈々此程完成出版の運びとなりし。此の『新川柳大觀』は明治、大正、昭和の三時代に於けるあらゆる名吟佳唱を悉く一粒選りにピンセットで拾ひ上げたもので、量の上から言へば上記三時代の三冊合本、内容から言へば明治、大正、昭和の川柳名句寶玉集、更に是を社會的に言へば川柳を通じて見たる唯一無二の明治、大正、昭和の新風俗史であります。但し小生はたゞ單にそれを編輯しただけに止まり、此等の誇りは總べてその中に收められた一句一句が持つて居るのであります。従つて以上は一片の空虚なる自畫自讃ではありませぬ。何卒一應お目通し下さい。」云々
同好の士よ机上に一本を賜らん事を。

定價金一圓五十錢
送料十錢
四六判 横綴四五〇頁
コッパ 函入豪華裝飾本

社 文 草 兌 發

八町倉鎌區田神市京東
五〇七三三 京東替振

全學界、讀書家の絶大なる期待、聲援裡に今や歩一步、卷また卷、完璧無比の総合的國語「大辭典」は日に日に完成への一路

卷四廿全

大辭典

を辿りつゝある。此の世界的最大最高の大日本國語總辭典の完成の爲め尙一層の御熱援を祈る。

日本語を語る人種必備の寶典

本大辭典は日本人が嘗て用ゐた現に用ゐつゝある一切の「辭」を網羅する。凡ゆる術語、辭典専門語辭典から人名、地名、動植物、礦物より方言、古語、俚語、語原、音韻、五體漢字典等をも兼ね、政治外交、法律、社會宗教、科學、家庭、醫學、農工商業、美術、音樂、哲學、文藝、歴史、經濟は勿論の事外來語、有職故實、故事成語、隱語通語辭典等の用をも兼ね備へて居る。而してその採録語彙の解説は現學界の専門大家の模範的な解説を附し、語彙は廣く原本文獻から拾ひ、現代用語にはアクセントを附し、一切の語彙を音的に排列する等、最も新らしい特色を有して居る。その裝幀たるや明朗なる空色の美本と爲し書齋の高級裝飾品とも爲す事が出来る加その價格の廉なる事既に一切の書籍にその比を見ず、普及の爲其採算を度外視す。

全廿四卷 定價一册五圓

毎月豫定通り一册配本既刊六册
既刊全拂 預約 規定
申込と同時に既刊分全部拂込あと毎月順次拂込毎に配本す
毎月分拂 特達 毎に一册四圓
申込の月より 特達 毎に一册四圓
全卷一時拂 特達 毎に一册四圓
配本爾後 送月七十五錢 市内六錢

東京 日替 橋本 凡平
東京 日替 橋本 凡平
東京 日替 橋本 凡平

東京高師 岸一敏著 定價八十錢 送料十四錢

忠犬八公物語

尋常小學修身書卷二に「恩を忘るな」のもとに、掲載された銅像となつた忠犬ハチの真相を綴つたものである。

舞踊のオーソリチー 石井 漢著 定價一圓 送料十錢

吃音はなほる

著者は幼にして極度の吃音であつた、今は其根跡だにないいかにして治つたか、その矯正法が正しく書かれてある。

渡邊精一著 定價壹圓五十錢 送料十四錢

天體の話

正確なる科學知識を子供に授けるために書かれた天體に関する知識の寶庫である理科の參考書なり。

大森輝喜著 定價一圓五十錢 送料十錢

禮拜と教育

子供の教育上宗教はいかに取扱はるべきか著者十有餘年の體験記はよくこの難問に答へてゐる。

日大講師 藤平武雄著 定價一圓五十錢 送料十二錢

歴史と生の哲學

我々は人間が何であるかは却つて歴史によつて知るのである。

伊藤安二譯 定價一圓二十錢 送料十錢

街頭心理學

一、兩親と兒童二、年若き人々へ三、娘達へ四、青年達へ五、夫婦生活六、妻へ七、夫へ八、老齡等々街頭の心理はつきぬ。

文學博士 松原 寬著 定價一圓五十錢 送料十錢

街頭の哲學

一、哲學の實踐二、哲學の動向三、哲學思潮の展開のもとに十九項に分つて哲學を街頭にひきおろす。

東京高師 寺田彌吉 共著 定價一圓五十錢 送料十二錢

哲學物語

哲學の早わかりとして何人にも讀ましめんと苦心せられたる本書は一度ひもどけば一氣に讀み終る。

古賀正共著 定價二圓五十錢 送料十四錢

小學校の職業指導

一、目的二、實際三、處理のもとに門司市立小學校に於て現に實施しつゝある生きた小學校に於ける職業指導の實際を記す

讀賣新聞 柴山勇三郎著 定價一圓五十錢 送料十二錢

モノシリ博士の理科

少年少女の科學教育の書は多しと雖も初等理科をかくまでわかり易くかきまてわかり易くかきたるものは他になし

法學博士 芦田均著 (注文殺到)

最近世界外交史

全三冊 完

前篇

(自ビスマルク) 至世界大戰 紙數七百四十頁 定價四圓八十錢

中篇

(自世界大戰) 至戰後の歐洲 紙數七百二十頁 定價四圓八十錢

後篇

(自米國參戰) 至聯盟脫退 紙數七百餘頁 定價四圓八十錢

●不滅の世界的名著あらはる!!

●最近外交史界の驚異!

▲大戦前後海外に在つて親しく帷幕に參畫せる芦田博士が畢生の最雄篇

▲列國外交の樞機を洞察し術策を別抉せる斯界無二の國寶的文獻

▲日本精神を振作して非常時國民の覺醒を促せる萬人必讀の熱著

▲全三冊二千三百頁考證精確・論斷明快!

町舟入區橋京市京東
社會書圖治明
五三四六京電 三一五八一京東替振

四五八三六京東替振 區川石小市京東
六四四五川石小話電 五三町早竹

絶對に信賴し得る

東京商科大學教授
牧 一先生著

代數學方面の新研究 著者
幾何學方面の新研究 著者
吉岡斗松先生著

第三高等學校教授
阪倉篤太郎先生著
大谷大學教授
浦川源吾先生著

受位 受位 受位 受位 受位 受位 受位
英文和譯新指導
和文英譯新指導
代數新指導
幾何新指導
代數融合問題新指導
國文解釋
漢文解釋

定價 各冊金一元

書送料金十五錢

◎內容見本 發行所 東京市日本橋區 本町四丁目十一 盛林堂書店

最新刊

舊約の話

魂の文學！ イスラエルの子等の靈的ローマンス！
永遠の旅を歌ひ行く順禮民族の内面的物語！
神と偕に生活する選民の光榮ある歴史と文學！

内容目次

略駝と天幕。教會と聖書。エヂプトからの解放。ソロヒムとヤエウエ。ヨシユア。支族の勇將達。預言者サムエル。王統なる權威。ソロモンとヤエウエ。ヨシユア。よ汝らの天幕に歸れ。我らの神ヤエウエ唯一のヤエウエ。奇跡。イスラエルよ汝の神に會ふ準備をせよ。ヤエウエの慈悲。イスラエルの聖なる者。ベテレヘル及エフライム。美しき者はその信仰によつて生くべし。宗教改革。その心の上に録さん。學者の幻。汝ら慰めよ。最初の教會員。最後の預言者達。神の豊かなる知恵。聖言に就いての深奥な學者。聖徒の兩刃の劍。天の御國。エスロモン。人の靈魂は主の讚燈火なり。空の空なる哉。アレキサンドリア。シラクク及ソロモン。イスラエルの讚美の中に住み給ふ。主の僕。以上の三十四章よりなる。

クラシツクな勇國氣を豊かに醸す寫眞三十六枚(五十圖より成る)を有し、極めて趣味的にして新譯味の躍如たる、舊約聖書神學の大衆的研究書！

ケンブリッジ大學教授・神學博士 ネアン著 八代斌助譯

四六版・上製
コットン上等紙
地圖及索引附
寫眞三十六枚入
定價二圓九十錢

大衆化されたる舊約聖書神學！

版三忽

舊約聖書續篇

特價版一圓 布裝天金二圓 皮裝四圓五十錢 (舊約と新約との間の聖書)

六五三

東京市本町區 聖公會出版社 電話 振替東京一四七〇 電話 七山八二〇

六五二

第一書房好評書目

六五四

友松圓諦著 佛教聖典	友松圓諦著 佛教聖典	友松圓諦著 佛教聖典	友松圓諦著 隨筆集	高神覺昇著 佛教聖典	高神覺昇著 隨筆集
阿含經講義	法句經講義	現代人の佛教概論	不二の世界	般若心經講義	眞理を歩む
昏迷せる現代人の人生觀に、 一道の光明を與へる名著。絶 讃を浴びた聖典講義。 出版界空前の感遊を以て迎へ られたラヂオの聖典講義で文 部省推薦の名著。 佛教を現代に蘇らせた快著で 從來の佛教研究に一つのエポ ックを劃したものだ。 著者の日常生活から佛教を説 いたもので、興味津々たる中 に佛教を知ることが出来る。 「法句經講義」に次いで好評を 博した聖典講義で、佛教を實 際化し生活化せる名著。 眞理を思慕しつつ歩み來たれ る著者の人生記録、宗教隨筆 集の最高峰だ。	四六判三百二十頁 總クローズ裝美本 定價一圓五十錢	四六判四百四十頁 總クローズ裝美本 定價一圓五十錢	四六判四百二十頁 和紙裝美本 定價一圓五十錢	四六判三百三十頁 總クローズ裝美本 定價一圓五十錢	四六判四百四十頁 總クローズ裝美本 定價一圓五十錢

山田靈林著	岡田正三著	平野止夫著 小説	木村善之著	ヘルマン・ヘッセ 三井光彌譯	島崎藤村著	土田杏村全集
禪學讀本	論語講義	親鸞	西行	シツダール夕	文學讀本	豫約・全十五卷 內容見本贈呈
著者の體驗から禪を説き、禪 の妙味を傳ふ。卷末に「坐禪 の實修法」を添ふ。 本書は「論語」を現代人向きに 解釋されたものでこれでこそ 初めて生きた孔子がみられる 最も史實に依り雄大な構想の 下に描かれた我國最初の全傳 小説、近來の名作だ。 歌僧西行の一生を繪卷を見る 如く、詩を讀む如く書かれた る新人の勞作。 現代獨逸文壇の巨匠が、取扱 へる求道と解脱の物語で、友 松師激賞の快著。 日本の文豪、先生によつて建 てられた日本民族の文學の寶 塔、季節の讀本を見よ。	四六判三百五十頁 和紙裝美本 定價一圓五十錢	四六判三百五十頁 和紙裝美本 定價一圓五十錢	菊判二百頁 紙製美本 定價一圓	四六判各三百五十頁 秋冬の卷・春夏の卷 各一圓五十錢	東京市麴町區 三番町一 三番口座東京 振替口座東京 六四二二二三	第一書房

六五五

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
地方自治講座	石川治繁	・五〇	二六	靜岡縣地方課
仙臺市及市民	松本榮且	・五〇	九六	自治研究會
【九月】				
北洋日本の危機	江崎利雄	・五〇	二〇七	新報社
司法警察官	橋本諒亮	非	〇一四	新報社
犯罪より捜査	河合榮治郎	・五〇	〇四九	日本評論社
歐洲最近の動向	佐藤清勝	・五〇	〇三五	東京時局會
大日本政治思想史	内閣統計局	・九〇	△二七	東京統計協會
昭和五年 國勢調査報告	久保勘三郎	非	〇五九	至誠會本部
滿洲産業建設徒研究團報告	外務省	・三〇〇	〇六四	良榮堂
國際事情續編第七	會計検査院長	・七〇	〇七三	會計検査院
検査報告集 第二輯	官房調査科	・三〇〇	〇七三	會計検査院
自治大成	吉岡基	△		帝國聯合社
國家の研究	船田享二	・二七〇	〇八二	刀江書院
支那租界論	植田捷雄	・二〇〇	〇七二	巖松堂書店
【十月】				
世界と日本	東京政治經濟研究所	・五〇	〇六五	岩波書店
農村問題對策	助川啓四郎	・二〇〇	〇四五	立命館出版部
米國政治經濟研究	田畑爲彦	・三〇〇	〇四五	同
明日の日本	河崎顯了	〇	〇二二	破塵閣書房
租稅國家論	大畑文七	・三〇〇	〇三五	有斐閣
昭和五年 國勢調査報告	内閣統計局	・九〇	△二七	東京統計協會
太平洋問題資料	浦松	非	〇五	太平洋問題會
英帝國の外交政策	佐美太郎	・三〇〇	〇四一	文王社
政界人物風景	角屋謹一	・三〇〇	〇四一	全國都市問題會
第四回全國都市問題會議總報告	全國都市問題會	同	同	同

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
第四回全國都市問題會議總報告	全國都市問題會	非	〇二五八	全國都市問題會議事務局
列強對滿工作史上卷	伊東銳太郎	・一〇〇	〇三六	日本公論社
危機外交秘密史	貴島桃隆	・三〇〇	〇三三	新報社
歴代國務大臣演說集	石丸藤太	・一〇〇	〇四四	松柏館書店
覆面の軍縮會議	全國都市問題會	非	〇五二	全國都市問題會議事務局
同 參考資料六	同	同	〇五九	同
皇道日本の世界統制	大場喜嘉治	・一〇〇	〇三五七	二松堂書店
英吉利内閣制度論	中村茂	非	〇一六〇	國政研究會
昭和五年 國勢調査報告	内閣統計局	・一〇〇	△一四五	東京統計協會
ユダヤ民族と其動向	田中眞三郎	・二〇〇	〇六〇	ホーリネス社
【十一月】				
蘭領ニューギニア	松江春次	非	〇二〇	松江春次
買収	貴島桃隆	・三〇〇	〇四五〇	國政研究會
歴代國務大臣演說集	森吉義旭	・一〇〇	〇二二	尖進社出版部
批判ファシズム	同	同	同	同
國家理論	同	同	同	同
第六十五回帝國議會 衆議院議事摘要	衆議院事務局	非	〇三冊	衆議院事務局
床次竹次郎氏は何故政友會を脱黨したか	篠塚保	・二〇〇	〇六二	篠塚保
ナチスの動き	松波治郎	・二〇〇	〇六二	農藝社
昭和五年 國勢調査報告	内閣統計局	・一〇〇	△一六三	東京統計協會
警察精神の新研究	伊藤博文	・七〇〇	〇六〇	拓務省拓務局
海外拓殖事業調査資料	拓務省	・三〇〇	〇三〇	拓務省拓務局
類纂帝國議會資料上	伊藤博文	・七〇〇	〇六〇	秘書類纂會
皇國の經綸及規範	黒川文淵	・三〇〇	〇三三	凡社
元老・重臣・官僚華族	野依秀市	・七〇〇	〇一七	秀文閣書房
日獨國交斷絶秘史	關野直次	・一〇〇	〇三六	日東書院
大日本政治學	佐藤清勝	・三〇〇	〇二五九	凡社
日露の現在及將來	吉村忠三	・一八〇	〇三五	日本公論社
内閣統計局	内閣統計局	・一〇〇	△二五	東京統計協會
大月久治	大月久治	非	〇四	大月久治
渡邊良吉	渡邊良吉	・二〇〇	〇一六	有朋堂書店
支那問題概論	支那問題會	・二〇〇	〇四八	文化集團社
日蘭會商の真相	大道弘雄	・二〇〇	〇四八	朝日新聞社
歐洲近世外交史中卷	林毅陸	・三〇〇	〇四二	一誠社
歴代國務大臣演說集	貴島桃隆	・三〇〇	〇三三	新報社
太平洋問題資料	浦松	非	〇五	太平洋問題會
極東問題	佐美太郎	・三〇〇	〇四一	文王社
警察精神の新研究	伊藤博文	・七〇〇	〇六〇	秘書類纂會
海外拓殖事業調査資料	拓務省	・三〇〇	〇三〇	拓務省拓務局
類纂帝國議會資料上	伊藤博文	・七〇〇	〇六〇	秘書類纂會
皇國の經綸及規範	黒川文淵	・三〇〇	〇三三	凡社
元老・重臣・官僚華族	野依秀市	・七〇〇	〇一七	秀文閣書房
日獨國交斷絶秘史	關野直次	・一〇〇	〇三六	日東書院
大日本政治學	佐藤清勝	・三〇〇	〇二五九	凡社
日露の現在及將來	吉村忠三	・一八〇	〇三五	日本公論社

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
昭和五年 國勢調査報告四府縣編 山口縣	内閣統計局	一・二〇	△ 一三三	東京統計協會 京橋
【十二月】				
滿洲國と問題	英 修道	一・五〇	〇 三五	日本國際協會 東京
立憲哲人政治	鈴木梅四郎	一・〇〇	〇 二六	千倉書房 京橋
國策直言	長島隆二	一・五〇	〇 三七	立命館出版部 同
危機外交秘密史	伊藤銳太郎	一・六〇	〇 三七	日本公論社 神田
The Worlds news Press	國際經濟研究所	五・〇〇	〇 一〇	國際經濟會 京橋
ワラン民族運動と	野副重次	一・五〇	〇 二九	日本公論社 神田
日本の新使命	大江專一	一・二〇	〇 三三	實業之日本社 京橋
世界列強の戦争	衆議院事務局	〇	〇 三三	衆議院事務局 麹町
第六十六回帝國議會	四宮恭二	一・二〇	〇 二九	政經書院 京都
ナチス	東郷 實	一・五〇	〇 二八	玉川學園 淀橋
精神日本の建設	佐藤貞次郎	〇	〇	東亞經濟部 麹町
列國の對支投資下	山元一雄	一・五〇	〇 二二	福岡縣警務所 福岡
警察實務提要	佐美太郎	非	〇 二二	太平洋問題會 麹町
太平洋問題資料一三				
滿洲國の蒙古人				

〔二二〕 經濟

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
【一月】				
經濟寶鑑	北浦万次郎	一・二〇	× 二二三	大阪經濟社 大阪
名古屋市財政概要	名古屋市日本商業會	〇	〇	名古屋市 名古屋
商業實務講義第三卷	日本通商會	一・五〇	〇 二九	誠文堂 神田
昭和七年海運概況	管船局	〇	〇 二九	對米船舶提供團 麹町
火災保險新講	吉井桃磨呂	非	〇 三四	博文館 日本橋
帝國決算統計	會計検査院	△ 四八〇	〇	會計検査院 麹町
金の儲け方殖産の實際方法	眞鍋治水	一・八〇	〇 三〇	東京法律會 大阪
外國爲替新讀本	山崎靖純	一・八〇	〇 三五	立命館出版部 京橋
納税組合の指導に就て	久保太助	一・五〇	〇 二五	百道刊行會 福岡
検査報告集 第四輯	會計検査院	〇	〇 五〇	會計検査院 麹町
經濟學序說	八木澤善次	三・五〇	〇 四七	巖松堂 神田
港灣經濟論	山本五郎	二・五〇	〇 二九	山本五郎 大阪
國際經濟戰略	湯原惣助	非	〇 二九	自衛社 澁谷
歐洲中世經濟史	三田同學會	二・五〇	〇 四九	千倉書房 京橋
膨張的財政の建設的役割	渡邊 鼎	三・二〇	〇 四九	中文館書店 牛込
簿記原理解	小島精一	一・三〇	〇 二七	千倉書房 京橋
經濟學第二冊	黒澤 清	二・〇〇	〇 三一	東洋出版社 京橋
金融經濟大綱	松浦 要	一・五〇	〇 三〇	巖松堂 神田
平價切下に備へよ	小林 新	四・五〇	〇 五〇	東京泰文社 牛込
商工經營要論	勝田貞次	一・〇〇	〇 二九	千倉書房 京橋
庶民マルクス經濟讀本	向井廣松	一・七〇	〇 二五	同文館 神田
米國平價切下の影響	松尾小三朗	〇	〇 七	帝國經濟聯盟 麹町
將來我國の平價切下の影響	勝田貞次	一・三〇	〇 九七	景氣研究所 同
農地價格論	佐藤吉四郎	非	〇 三五	十六銀行 岐阜
	杉本正幸	四・五〇	〇 四二	巖松堂 神田

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日先戰と輪轉法	塚谷雅仙	二・五〇	一五〇	大同書院
一九三三年六月以降の通商政策の發展	赤松祐之	二・〇〇	三〇	日本國際協會
獨逸政治經濟研究	田畑爲彦	二・〇〇	三〇	立命館出版部
經濟講演集 第一輯	早瀬利雄	二・〇〇	六〇	橫濱經濟研究所
【二月】				
産業組合の實際	奥原潔	〇	六	長野縣産業組合青年聯盟
統制農業の提唱	苔米地義三	二・〇〇	五〇	文化農報社
新度量衡法による支那輸出入關稅定率表	大阪市	二・〇〇	五〇	大阪市大阪
商業實務講義 四卷	小川菊松	〇	五〇	誠文堂
マン經營學下	向井梅次	三・〇〇	九〇	森山書店
世界經濟の動向	金原賢之助	三・〇〇	四八	慶應義塾産業研究會
世界金本位制度	園乾治	三・〇〇	七八	慶應義塾産業研究會
我國産業の動向	松村四郎譯	三・〇〇	四七〇	ナウカ社
地代論	大貫將	三・〇〇	三六	丸の内出版社
反産論	藤原俊雄	一・〇〇	二〇	實業之日本社
明日の經濟と資本				

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本の經濟的國是	茅原廉太郎	一・五〇	一六二	內觀社
全訂版經濟學史概論	二木保幾	一・五〇	三二七	明善社
産業組合と反産運動	宇原義豐	一・〇〇	二六三	經濟研究社
中小工商業	渡邊鎮藏	一・五〇	一四二	千倉書房
死活的問題	船田勇	二・〇〇	四九	東洋出版社
稅務會計	アレキサンダ	一・〇〇	一九一	ナウカ社
ソヴェト信用制度	官田保郎譯	一・〇〇	八二	大道社
エチオピア經濟事情	庄子勇之助	一・五〇	八二	大道社
會計實務誌	岩垂至	二・七〇	三九〇	同文館
日本資本主義分析	山田盛太郎	一・五〇	二四〇	岩波書店
私有財産制度の意義	山本勝市	一・四〇	六六	青年教育會
株式會社設立と清算	野村男三	二・〇〇	三九五	日本公論社
英國綿業の衰退と其の對策	秋山斧助	〇	三三五	全國産業團體聯合會事務局
初島の經濟地理	内田寛一	二・五〇	二四〇	中興館
石炭統制案	國家經濟研究所	非	△二九	國家經濟研究所
【三月】				
町村の豫算附決算	土谷覺太郎	一・〇〇	×一八七	帝國自治會

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本職業大系一編	豐原又男	一・〇〇	三五六	職業紹介會
經濟市況の全知識	安達太郎	二・〇〇	二八〇	商況研究會
商況面の基礎知識	同	一・二〇	二七六	同
通貨制度研究	石橋湛山	二・五〇	七三五	研究會報告
貨幣と景氣變動	豐崎稔	一・五〇	一三四	高陽書院
社債研究資料	田邊三郎	非	〇	社債制度調查會
新會計學提要	有本邦造	一・〇〇	二二	大同書院
公債の話	高橋渡	一・八〇	一六〇	雄風館書房
百貨店小賣店問題	谷口吉彦	一・五〇	二八八	日本評論社
統計學分冊	有澤廣巳	一・二〇	三二	明善社
會計整理實務要綱	水野菊一	一・五〇	二五三	東京泰文社
農業經濟論	近藤康男	二・〇〇	四三	時潮社
滿洲國輸出入稅表	西川長治郎	一・〇〇	九	西川出版部
日本中央市場文獻記	大野勇	非	〇	西川出版部
恐慌の經濟的動向	慶應大學金融研究會	四・八〇	〇	森山書店

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
金利計算表	青木倫太郎	一・〇〇	一九〇	川瀨日進堂
全訂版經濟學原論	山崎覺次郎	二・〇〇	二五三	有斐閣
問題企業簿記學	河野繁一	五・八〇	八〇〇	章華社
歷史的社會發展	研究會	一・三〇	二六	經濟學會
法則概説(一)外幣	ラビトウス	一・三〇	四三	白揚社
價值及貨幣	橋本弘	一・三〇	四三	白揚社
東京市土地表	武内達太郎	各	△三六	武内義尙
經濟原論	喜多利雄	三・〇〇	六六	大同書院
日本經濟	廣江源三郎	一・八〇	三四	明文堂
商業簿記教科書	中島直吉	三・〇〇	三五	中島直吉
世界資本主義	高橋龜吉	一・五〇	四八二	千倉書房
市場組織論	河原實太郎	二・三〇	二九八	杉山書店
組合製糸論	星井輝一	一・三八	四六	明文堂
産業協力的運動	嶺慶二	一・三〇	一六	日本製鐵從業員組合書記局
日本統計學會	日本統計學會	非	〇	日本統計學會
年報第三年	日本統計學會	三・〇〇	〇	日本統計學會
商店經營學讀本	稻垣喜太司	三・〇〇	〇	高原書店

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
明治大正第二類 航空保險論	玉木爲三郎	非	三三	生命保險會社
金本位の停止 と通貨の統制	木村良一	五〇〇	六五	協松堂
世界經濟年報23	竹島富三郎	四八〇	六五	文雅堂
最新商店經營	蛭川行道	九〇〇	二九	文雅堂
國家改造の 原理及其實行	河合良成	一〇〇〇	二八	日本評論社
日本商品の話	中外商業 經濟部	一六〇	五九	千倉書房
日本の平價切下	田川大吉郎	二〇〇	六六	實處牛込
農村經濟の發展 と其の擔當者	社會局 トラハデン	一〇〇	三五	社會局
現代の信用 及信用組織	川崎三郎	二〇〇	三五	文閣
通貨經濟會議報告	國際聯盟 事務局	一五〇	二六	新日本社
各國原產地 標記法便覽	柴田英吉	三〇〇	二三	柴田貿易所
保險經營學	酒井正三郎	一八〇	二二	森山書店
石油國策	松方孝次郎	二五〇	一〇七	露西亞通信社
俗實經濟の話	武藤山治	三〇〇	二六	時事新報社
經營學原論	村本福松	一五〇	二六	千倉書房
現代工業政策論	白井義三	三三〇	三三	高陽書院
檢査報告集第三輯	會計檢査院	〇	〇	刀江書院
昭和七年度主稅局第 五十九回統計年報書	主稅局	四〇〇	八〇	時事新報社
訂經營業論	増地庸治郎	一六〇	二八	東京泰文社
國際經濟戰と日本	刀彌館正雄	二〇〇	七〇	東京泰文社
經濟學とは?	高橋渡	一四〇	二四	章華社
チユーネン分 配論の研究	山田雄三	一八〇	八一	今日の問題
經濟學原論	渡邊一郎	二二〇	九三	新正堂
人口問題講演集	人口問題 研究会	三五〇	八七	大同印刷
朝日經濟年史	大道弘雄	一五〇	三七	明治大學
日本經濟の基礎知識	服部文四郎	二九〇	三七〇	明善社
世界恐慌四ヶ 年の總決算	ヴァルガ 經濟研究会	一〇〇〇	二五	誠堂
會計監査綱要	中瀬勝太郎	三三〇	三三〇	松堂
經濟科學大綱	末高信	二〇〇〇	二八	善社
世界景氣の分析三	ヴァルガ 景氣研究会	一〇〇〇	二五	關町

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
經營學原論	村本福松	一五〇	二六	千倉書房
貸借對照表分析論	小菅敏郎	二二〇	二五	高陽書院
世界經濟風土記	日高利一	一六〇	三五	刀江書院
世界經濟の歐洲	武藤山治	三〇〇	一六	時事新報社
俗實經濟の話	上坂西三	三三〇	二二	東京泰文社
貿易實務	經濟地理 研究会	二〇〇	二四	章華社
世界經濟地理	堀經夫	一八〇	三〇	今日の問題
英吉利社會經濟史	荒木都市	一三〇	三〇	新正堂
保險革新の鋒火	大毎、東日、エ ノミスト部	一〇〇〇	二八	大同印刷
躍騰する人氣株	水田淳亮	一六〇	二八	明治大學
經濟地理學	藤江利雄	三〇〇	四三	明善社
財政學	野本悌之助	二八〇	三六	森山書店
企業財政の比率分析	門脇逸司	一五〇	二七〇	同
標準商店簿記	増地庸治郎	二〇〇	三六	東洋出版社
經營財務論	シラン、ニ、 ウングル、 堀經夫、外一譯	三三〇	四七	日本評論社
現代經濟學概觀	カール、コウツ キー、向坂遊 逸郎、外一譯	二二〇	二六	改社
貨幣論	利工場、鐵山、 の調査	一五〇	二〇	同
米の問題	白石幸三郎	四〇〇	一〇	東京朝日
獨乙社會保險	長岡保太郎	八〇〇	一三	協調會
國際經濟問題の解説	大毎、東日、エ ノミスト部	一八〇	九九	一元社
テクノクラシー治下では あなたの生活はどうなる	ハロルド、ロエ ・友澤註譯	九〇〇	一八	敬文堂書店
不動産の評価	杉本正幸	四〇〇	五三	敬文堂書店
村の經濟六十年史	岩田健治	一〇〇〇	三九	實益農業社
貨幣の切替	中村仲助	非	〇	一號社
昭代貨幣	宮川貞一郎	一五〇	三〇	雄風館書房
昭和八年の經營	山田忍三	非	〇	白木屋
經濟問題の研究	内田寛一	四〇〇	六六	中興館
無盡講演集	山田稔	一五〇	九二	無盡協會
通商非常時の解剖	貴島桃隆	一〇〇〇	二〇	國際經濟
繁榮の經濟學	安西文夫	六〇〇	二二	同人社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
勸業債券利殖の秘訣	園史郎	・〇〇	一〇	日本債券社
鐵道貨物運賃	高橋秀雄	二〇〇	五八	鐵道書院
平價切下の次	伊地知重司	一・二〇	二五	日本公論社
米をめぐる問題	朝倉昇	・五〇	八〇	明文堂
誰にもできる不	王塚締伍	二〇〇	四六	合社
レーマン原價計算	山邊六郎	二・三〇	二六	高陽書院
蘭印市場に於	大阪市役所	・八〇	二七	大阪市役所
醫療組合論	賀川豊彦	・四〇	一五	産業組合
社會經濟と統制經濟	武田鼎一	二・三〇	二〇	敬文堂書店
日本主義經濟	愛野濱男	〇	三	白濱理三
建設の新目標	千野國九	一・〇〇	一六	銀行問題
平價切下の策	原廣太郎	・五〇	〇	文友堂書店
意義影響對小	鈴木萬造	・六〇	一八	國民新聞社
賣店帳合式	大日本聯合	・二五	一七	女子青年團
腕一本開運術	女子青年團	・二五	一七	女子青年團
子經濟活動實例	女子青年團	・二五	一七	女子青年團
の進行と株景式	女子青年團	・二五	一七	女子青年團

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本經濟の進出と	谷口義彦	二・〇〇	二九	千倉書房
經濟國策の將來	小野武夫	・三〇	二五	潮社
郷土經濟史研究提要	畑石輝治	一・五〇	〇	千倉書房
工業經濟の話	田中末廣	一・五〇	二七	立命館出版部
滿蒙副業資源讀本	藤原泰	二・〇〇	三五	文雅堂
信託企業概論上卷	道端良秀	・三〇	〇	佛敎法制經濟
唐代寺院の經濟	神原周平	一・〇〇	〇	新報社
日本經濟年報	經濟時代	一・〇〇	〇	經濟時代社
生命保險會	東京商工	一・〇〇	〇	東京商工
統計簿記方	同	一・〇〇	〇	同
機械製造工場用	同	一・〇〇	〇	同
經濟性の計算方法	同	一・〇〇	〇	同
新貨幣金融論	高島佐一郎	二・三〇	三六	千倉書房
滿洲貿易事情後篇	貿易局	〇	〇	商工省貿易局
商店新經營十二講	古澤常次	一・〇〇	二六	同
小賣商店の人事管理	屬寬夫	非	〇	同
ケインズ貨幣論第五	鬼頭仁三郎	二・五〇	〇	同
分册貨幣の統制	吉田良三	二・五〇	〇	同
商業簿記提要	吉田良三	二・五〇	〇	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
【五月】				
財界夜話	小柴茂生	一・五〇	三六	經濟通信社
現株賣買の奧義	阿部熹作	五〇〇	一五	大阪經濟社
價格の研究	武田鼎一	一・四〇	一七	敬文堂書店
山村經濟更生事例	農林省	〇	一七	大日本山林會
經濟早わかり	黒羽兵治郎	二・五〇	〇	大阪商科大學
大阪商業史料集成	三輪美嘉久	非	〇	經濟研究所
世界經濟年報24	グアルガ	・八〇	一六	新報社
新經濟工作論	スチュウイス	・六〇	〇	叢文閣
英吉利政治經濟研究	大木金次郎	三・三〇	〇	立命館出版部
通商非常時下の	田畑爲彦	三・三〇	〇	立命館出版部
景氣はどうなる	時事新報社	・五〇	〇	國際經濟
日本上代寺院	竹内理三	三・六〇	〇	研究
最新商業簿記	岩崎彦雄	三・〇〇	〇	大岡山書店
實用商業簿記	上田半次郎	二・五〇	〇	神田簿記學校
外國貿易統計	官崎力藏	一・五〇	〇	日露通信社
財政經濟總說	官崎力藏	一・五〇	〇	青木學堂

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
會社監査の方法	山内勝雄	一・八〇	一七	東亞學藝協會
最新銀行會計論	長谷川安兵衛	三・五〇	〇	東京泰文社
國民經濟讀本	土方成美	一・〇〇	〇	日本評論社
經濟十年史	木村孫八郎	三・五〇	〇	大村書店
工程管理	木村増太郎	・五〇	〇	木村増太郎
商學史	寺石正路	六・五〇	〇	富山房
金融機構論	小島昌太郎	二・〇〇	〇	雄風館書房
勸業債券の買方賣方	白金光助	・八〇	〇	立命館出版部
有價證券利廻早見表	後藤一平	・五〇	〇	立命館出版部
模範經營讀本	田中滿三	・八〇	〇	照林堂
家事經濟要説	松平友子	一・三〇	〇	文光社
貨銀制度の研究	西川武五郎	・五〇	〇	マネジメント
我が國に於ける	小島昌太郎	非	〇	小島昌太郎
インフレーション	谷村勇	・三〇	〇	中堅建設
型を破りつゝ	同	・三〇	〇	同
ある經濟政治	同	・三〇	〇	同
金本位制と其將來	高木謙一	一・二〇	〇	高原書店
貨幣と物貨	荒木光太郎	一・八〇	〇	東洋出版社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
宇治田榮三郎集	柳川三郎	非	三九	宇治田商學士麻布
遺稿	新田瓜山	一・八〇	一八〇	大同書院大阪
銀行無盡會社の破綻と其の對策	岡崎公宏	三・五〇	四九	栗田書店神田
金融經濟總論	森川太郎	三・六〇	五二	甲文堂書店向島
實踐金融論	高橋龜吉	二・五〇	六八	千倉書房京橋
The Import Faciliti of Japan 1934	秋山宗市	四・〇〇	二二八	ヘラルド社神田
景氣と相場の見方	野澤秀信	一・二〇	三五	千倉書房京橋
滿洲大豆暴落とその對策	篠崎嘉郎	非	八二	日滿實業協會神田
市場研究第一卷	小原敬士	同	二二	橫濱經濟研究所神田
何故貿易は好轉したか	福田敬太郎	三・三〇	四四	寶文館日本橋
東北經濟論叢第五卷	天野健雄	〇	五	天野健雄神田
生	山崎延吉	一・五〇	二四	商學研究會仙臺
ワグマン博士著 世界經濟機構と景氣變動	小島昌太郎	三・五〇	四〇	雄風館書房本郷
變態膨脹期の經濟	大塚和郎	一・三〇	二七	同
日本經濟學史の二編	石毛實	一・〇〇	二五	東洋經濟社日本橋
昭和四年全國回生	大藏省	非	二七	內閣印刷局神田
昭和四年豫算提要	主計局	一・二〇	一九	明治大學神田
實際取引所概論上卷	北崎進	一・二〇	二六	森山書店同
幣政策批判	市川欣二郎	三・〇〇	二七	東京實業社牛込
科學的購買論	三井田龍藏	七・〇〇	一八	生命保險研究所神田
生命保險之考査及檢討(續編)	大藏省	三・〇〇	七	日本評論社京橋
豫算の九年說	細川龜市	三・三〇	三九	森山書店神田
上代貨幣經濟史	清水伸	一・三〇	三〇	同
増稅問題の檢討	小笠原	一・二〇	三七	立命館出版部京橋
金の諸問題	三笠景氣	一・〇〇	二三	叢文閣神田
世界景氣の分析	研究會	一・〇〇	二二	北洋俱樂部下谷
の正しい見方	朝田進	二・〇〇	四	同
【七月】	松井勇	非	〇	廣業社神田
商業の經營管理に用ふる統計圖表				

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
日本經濟學史の二編	石毛實	一・〇〇	二五	東洋經濟社日本橋
昭和四年全國回生	大藏省	非	二七	內閣印刷局神田
昭和四年豫算提要	主計局	一・二〇	一九	明治大學神田
實際取引所概論上卷	北崎進	一・二〇	二六	森山書店同
幣政策批判	市川欣二郎	三・〇〇	二七	東京實業社牛込
科學的購買論	三井田龍藏	七・〇〇	一八	生命保險研究所神田
生命保險之考査及檢討(續編)	大藏省	三・〇〇	七	日本評論社京橋
豫算の九年說	細川龜市	三・三〇	三九	森山書店神田
上代貨幣經濟史	清水伸	一・三〇	三〇	同
増稅問題の檢討	小笠原	一・二〇	三七	立命館出版部京橋
金の諸問題	三笠景氣	一・〇〇	二三	叢文閣神田
世界景氣の分析	研究會	一・〇〇	二二	北洋俱樂部下谷
の正しい見方	朝田進	二・〇〇	四	同
【七月】	松井勇	非	〇	廣業社神田
商業の經營管理に用ふる統計圖表				
日本經濟學史の一齣	住谷悅治	二・〇〇	四五	大畑書店神田
商業組合概説	小笠原	一・八〇	二八	巖松堂書店同
昭和九年度帝國歳入歳出豫算	大藏省	三・五〇	二二	內閣印刷局神田
日本國家主義と經濟統制	作田莊一	一・七〇	二九	青年教育會神田
シノフの基礎理論	大山石鏡	一・〇〇	二五	日本評論社京橋
三井三菱物語	岩井良太郎	一・五〇	三五	千倉書房同
マルクス經濟學評論	高田保馬	二・七〇	三九	改造社同
保險銀行信託早解り	大島 諒	三・〇〇	二九	大衆經濟社神田
圓・弗・磅・法の話	木村禧八郎	一・八〇	六五	千倉書房京橋
獨逸に於ける農村產業組合及聯邦租稅社	中 央 會	三・五〇	一〇〇	産業組合會同
本邦中小工業金融論	松崎 壽	三・八〇	五八	文雅堂同
列國の對支投資上卷	渡邊義雄	二・〇〇	三五	東洋出版協會京橋
會計監査	並木信政	二・二〇	四〇	日本公論社神田
各種債權の保全と回収の秘訣	千野國九	二・八〇	三一	銀行問題社同
新債權取立手續				
農業經濟圖説	西川武五郎	一・〇〇	九二	マノ社同
昭和八年日本外國貿易年表	栗原藤七郎	一・八〇	二四	明文堂神田
激動期に生く	大藏省	三・五〇	五五	內閣印刷局神田
事業財政分析觀察法	清澤 洌	一・五〇	四〇	千倉書房京橋
日本の新産業組合	西野嘉一郎	二・五〇	三五	高陽書院神田
株式投資の話	江川彌太郎	五・〇〇	二四	丸の内出版社京橋
躍進する我が財界と重要産業の實勢	榎 義衛	一・五〇	三〇	立命館出版部同
個人納稅讀本	杉山義夫	一・〇〇	二三	大阪商會社大阪
火災保險會計	片岡政一	一・二〇	一四	森山書店神田
人口統計に於ける諸問題	葛城照三	四・〇〇	五七	東京泰文社牛込
經營學の基礎的問題	岡崎文規	三・三〇	二六	立命館出版部京橋
取引所金融機關と不動產金融機關	馬場敬治	二・五〇	三二	日本評論社同
不動產金融機關の基礎的問題	向井鹿松	一・三〇	二八	森山書店神田
係先例彙報	川島良一	一・五〇	〇	西岡實太牛込
好況か不況か其對策	日本式收支簿記	一・〇〇	二七	凡進社出版部京橋
日本式收支簿記	杉山 茂	一・〇〇	二五	千倉書房京橋

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
經濟地理學提要	豐田與一郎	二〇〇〇	二六〇	甲文堂書店向島
恐慌下の蠶業更生策	宮田義雄	五〇〇	二〇六	時政報社日本橋
大憲極法強弱力線法	伊藤修	〇〇〇	二〇六	新中京經濟社愛知
平價切下とソシア	松岡哲史	二〇〇	二〇六	和甲書房神田
最近の世界通貨	石村隆司	〇〇〇	二七〇	大阪財務協會大阪
豫算の傾向	宮越卓	一九〇〇	四七〇	盛義堂書店神田
論算の傾向	田中力	一三〇〇	三六〇	日本評論社京橋
計劃經濟と流通經濟	沙見三郎	三〇〇〇	三六〇	有斐閣神田
各國所得稅制論	喜屋商店	非〇〇〇	六〇〇	喜屋商店日本橋
株式戰略講義	大阪市	三〇〇〇	五二〇	大坂市大坂
支那輸出入關稅定率表一九三〇年七月現在	中山伊知郎	二〇〇〇	三三〇	岩波書店神田
經濟學研究	碓氷茂	八〇〇〇	二四〇	明文堂同
滿市場問題研究	浦松佐美太郎	非〇〇〇	六〇〇	調查查會同
支那の經濟問題	古山鐵郎	一〇〇〇〇	二九〇	經濟日報社日本橋
支那の經濟問題	有本邦造	八〇〇〇	二六〇	森山書店神田

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
日本の新平價問題	安田與四郎	一三〇〇	二八〇	安田與四郎
新産業組合論	照井一郎	一五〇〇	二八〇	弘明堂書店神田
明治前期財政經濟史料集成第十三卷	大内兵衛	〇〇〇〇	五七〇	改造社芝田
日本貿易の基礎	土屋喬雄	二〇〇〇	三三〇	日本國際協會同
支那人人口問題研究	猪谷善一	二〇〇〇	三三〇	日本國際協會同
支那人口問題研究	飯田茂三郎	一〇〇〇	一八〇	橋書店日本橋
太平洋問題資料八	浦松佐美太郎	非〇〇〇	二六〇	太平洋問題調查會同
東亞經濟調查局譯書	佐藤貞次郎	〇〇〇〇	三三〇	東亞經濟調查局同
日本經濟的發展	今關定義	非〇〇〇	三三〇	調查查會同
村北六縣現勢	川口良一	二〇〇〇	二五〇	秋田縣耕會同
日本經濟的發展	經濟情勢	二〇〇〇	三三〇	叢文閣同
經濟國策資料第三輯	調查查會	〇〇〇〇	三三〇	經綸會出版部同
合同後の製鐵問題	出田正義	三〇〇〇	四三〇	森山書店同
絲綢業の朝鮮蠶	大村勇	一三〇〇	一八〇	森山書店同
個人所得稅と其の業務	英米の取引所	五〇〇〇	二六〇	新開聯合社京橋

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
金融の話	金原兼一郎	八〇〇〇	一八〇	立命館出版部京橋
小口金融の話	高橋渡	一〇〇〇〇	一八〇	雄風館書店本郷
工業經濟研究六	工業經濟研究会	八〇〇〇	二五〇	森山書店神田
町村稅制研究	佐藤平高	〇〇〇〇	二二〇	福岡縣會同
外課稅制の制限	齋藤恒之助	一五〇〇	三三〇	千倉書房京橋
發展と投資法	大橋敏郎	八〇〇〇	二二〇	日本經濟社同
景氣變動の見方	木本龍太郎	一五〇〇	三三〇	千倉書房同
轉換期に在るアメリ	淺宮政夫	一五〇〇	三三〇	丁酉社本郷
躍進日本の經濟知識	高木友三郎	一三〇〇	二七〇	森山書店神田
我國最近の財政	石橋湛山	一〇〇〇〇	二六〇	平凡社日本橋
取引所制度改善案	平賀義典	非〇〇〇	二〇八	東京株式取引所同
産業經濟資料第二八輯日貨	秋山斧助	〇〇〇〇	六〇	全國産業團體聯合會事務局同
大坂市の貿易	大坂市	〇〇〇〇	二二〇	大阪市同
貿易管理論	島田義照	一〇〇〇〇	二二〇	大阪石同
國際經濟の諸問題	山本義雄	一〇〇〇〇	二二〇	世界經濟會同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
最近の日本經濟史	高橋龜吉	二〇〇〇	五二	平凡社	銀行信託會社の批判	伊藤三郎	二〇〇〇	二六	經濟時代社
我國最近の財政	石橋湛山	二〇〇〇	五三	同	銀行業態の擱み方と見方	中田政吉	〇三八	文雅堂	同
利廻相談	前田梅松	一五〇〇	三三	千倉書房	不換紙幣通貨論	春日井	二〇〇〇	三三	同
産業貿易觀	安川雄之助	一五〇〇	三六	同	歐洲經濟通史	東晋太郎	三〇〇〇	八二	森山書店
十周年記念經濟論集	武内義雄	五〇〇〇	〇〇	岩波書店	昭和九年農山漁村經濟狀況視察報告	審査會	非〇	四五	審査會
地方財政の理論	青木得三	一三〇〇	一五	巖松堂書店	貨幣政策と景氣變動	平尾彌五郎	二五〇〇	三三	同
重要經濟統計	瀧谷善一	一六〇〇	一四	大阪實文館	濫費の悲劇	石井滿	一五〇〇	三七	松栢館書店
昭和九年度追録會計學原論提要	有本邦造	一五〇〇	一七	大同書院	貿易爲替計算の常識	芳野國雄	一〇〇〇	二三	千倉書房
第二編 財產評價論					日本社會經濟史	內田繁隆	一八〇〇	三三	章華社
【十月】					商況讀本	安達太郎	一三〇〇	二八	商況研究會
三會計學講義	三宅則義	二七〇〇	五七	東京泰文社	貿易政策論	濱田恒一	一三〇〇	三三	改造社
住宅學	高村榮次	一五〇〇	一五	高原書店	對照經濟記事の讀方	和田六灘子	一〇〇〇	二四	經濟知識社
貨幣第一冊基礎概念	友岡久雄	一三〇〇	一三	巖松堂書店	株式會社會計	長谷川安兵衛	二〇〇〇	三五	東洋出版社
新聞經濟面の讀み方	木村孫八郎	一八〇〇	一六	栗田書店	石油問題	淡徳三郎	一五〇〇	三五	福田書房
産業組合論	白井鋼之助	一五〇〇	一八	東京農業大學出版部	日本産業戰略	清水芳太郎	一五〇〇	三三	千倉書房
思想情報パンフレット計	伊藤輔利	一五〇〇	一三	思想研究所					

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
最近のメカニクス	島田孝一	三〇〇〇	四九	早稻田商學會	人口問題資料第四輯	館	三五〇〇	九〇	人口問題會
業種別原價計算書	神馬新七郎	五〇〇〇	四三	共立社書店	販賣心理の研究	青木庄左衛門	二〇〇〇	三七	三笠書房
鑄物工場の原價計算	飯野健次	一五〇〇	一九	平凡社	質屋利子の研究	小坂淺次郎	非〇	五七	東京質屋組合
滿蒙經濟の實勢	井口武三郎	五〇〇〇	五八	火保研究社	林業簿記及收益評定論	島田錦藏	三〇〇〇	二七	西ヶ原刊行會
現行火災保險料率の解剖	波多野鼎	二〇〇〇	三七	千倉書房	金融事項參考書	大藏省理財局	一六〇〇	四一	内閣印刷局
景氣論	高橋龜吉	一五〇〇	四九	同	改訂増補産業平和論	氏家貞一郎	一三〇〇	二七	文雅堂書店
滿洲經濟と日本經濟	渡邊壽雄	七〇〇〇	一六	日本計畫社	改訂増補前期財政經濟史料集成十四	大内兵衛	〇〇	四三	改造社
新經濟讀本	直井武夫	二五〇〇	四二	ナウカ社	訂經營業要論	增地庸治郎	一六〇〇	二八	巖松堂書店
農業經濟學下卷	郷司信次	非〇	二六	商業興信所	財界親分乾分物語	佐藤善郎	一三〇〇	二五	白揚社
名古屋市内簿	千石與太郎	二〇〇〇	六三	産業組合	新貿易方策と爲替	宮川貞一郎	一五〇〇	二五	雄風館書房
土地評價簿	三輪美嘉久	二〇〇〇	四二	中外商業	抵當銀行論	永島慎之助	三〇〇〇	三六	文雅堂
中外商業ハンフレット	徳田昂平	五〇〇〇	三九	新報社	貸出金の整理	井上勝馬	二五〇〇	四三	大坂會
株式賣買物語					附在米日本の産業	藤井整	一五〇〇	四二	警報社
【十一月】					日本古代經濟	西村眞次	三〇〇〇	二六	東京堂
新廣告の理論と實際	堀 梅天	二〇〇〇	四六	慶應義塾	交換篇第一册	塚本美隆	五〇〇〇	一九	新聞聯合社
再禁止後株界の動き	石田信之助	一〇〇〇	四〇	廣告學研究會	世界は何處へ	向井梅次	一五〇〇	三四	同
日本獨占産業物語	岩井良太郎	一五〇〇	三三	千倉書房	配給問題概論				

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
社債の實際知識	板橋菊松	一・六〇〇	三二〇	千倉書房
經濟學說史	リヤンチエノ 平利雄	三・三〇〇	五三三	叢文閣
工業會計實務誌	小泉信三	二・八〇〇	四四〇	岩波書店
實踐銀行簿記	池田壽太郎	三・〇〇〇	三三三	同文館
商業政策	國吉省三	二・八〇〇	四三〇	平野書店
協同組合原論	田中貢	二・五〇〇	三九〇	栗田書店
徹底的工業研究	近藤康男	二・五〇〇	三三三	高陽書院
鐵道經濟物語	丹波彌壽夫	二・〇〇〇	三五四	栗田書店
蠶絲業の發展	福田秀雄	五〇〇	一三三	鐵道時報局
策を尋ねて	讀新新聞社	五〇〇	一三三	伊藤書房
統制經濟と獨占	天野健雄	二・〇〇〇	二九〇	東京商工
松江藩經濟史の研究	原傳	二・五〇〇	二九七	日本評論社
世界經濟の現勢	長岡徳治	三・五〇〇	六九二	三菱經濟研究所
ニユの構成	熊田克郎	〇・五〇〇	五八三	熊田克郎
經濟原論後編	阿部矢二	二・四〇〇	一〇九	凡進社

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
原價計算の要領	芳野武雄	一・四〇〇	二二〇	同文館
日本經濟批判	世界情勢 研究会	一・五〇〇	三〇〇	叢文閣
日本財閥の實	三宮維信	非	二二八	日滿經濟調查局
米國は何故生糸	國際經濟 研究所	一・五〇〇	二二七	國際經濟研究所
カツセル計畫	小出保治	六〇〇	八四〇	水吉書房
民國財政	油谷恭一	一・〇〇〇	三〇六	日華實業協會
華僑經濟	同	二・〇〇〇	四〇〇	同
百年忌マルサス研究	手塚壽郎	二・〇〇〇	三九六	小樽高等商業 學校研究室
漁業協同組合簿記	田口勇藏	三・〇〇〇	三三六	大日本水産會
世界市場戰	世界景氣 研究会	二・五〇〇	六四四	叢文閣
最近經濟の重要問題	日本工業 部經濟研究會	二・三〇〇	五五六	一社
財政史を主としたる	平川清高	非	三三三	鹿兒島市 教育會
島津氏七百年の治績	加田哲二	一・八〇〇	四七五	章華社
獨逸社會經濟史	神原周平	一・〇〇〇	三六五	新報社
日本經濟年報十八	時事新報	一・〇〇〇	一三三	國際經濟 研究所
若し大臣だつたら	宇野弘藏	一・三〇〇	二四九	岩波書店
研究經濟學一	岩波書店	一・三〇〇	二四九	岩波書店

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
交通經濟學序説	早瀬利雄	一・八〇〇	一四〇	尚文堂
利廻接算法	芳野國雄	一・五〇〇	三九五	千倉書房
基礎的財政研究	澤田章	四・〇〇〇	四六六	寶文館
世界經濟年報(25)	經濟批判會	八〇〇	一四八	叢文閣
世界經濟地理	水田淳亮	二・〇〇〇	二六三	大同印刷會
理論經濟學講義下	杉浦要	七〇〇	九〇	巖松堂書店
廣告要論	栗屋義純	二・〇〇〇	三四〇	同文館
公債と勸業債券	大倉金之助	一・三〇〇	二〇〇	高陽書院
日本經濟の不安性	竹内謙二	一・五〇〇	三七八	千倉書房
日本經濟最近の動向	同	〇・五〇〇	一一	東京商工 會議所

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
シユミツト有 機對照表學說	山下勝治	四・五〇〇	五三三	同文館
商學研究	中山伊知郎	二・〇〇〇	三五四	岩波書店
【十二月】	株金拂込論	西本寬一	二・〇〇〇	政經書院
赤字財政と増稅問題	關口一郎	非	〇・九三	新日本同盟
農業經濟學上	直井武夫	二・五〇〇	六六一	ナウカ社
支那社會經濟史	森谷克己	一・八〇〇	四七三	章華社
一九三五投資相談	勝田貞次	一・五〇〇	四二〇	千倉書房
日本經濟史(一)	竹越與三郎	〇・三三〇	三三三	平凡社
三井物語	山田武太郎	一・〇〇〇	一五四	文成社
大阪市に於ける中小 商工業金融調査(上)	楠見一正	二・二〇〇	三七七	大阪商科大學 經濟研究所
ケーンズ金融理論 と管理通貨	吉田寬	二・八〇〇	三七六	森山書店
軍備公債増稅	猪俣津南雄	一・三〇〇	二九九	改造社
利殖相談	高橋渡	一・二〇〇	一八一	雄風館書房
第四大毎投資相談	新開經濟部	二・五〇〇	七二五	元社

印刷用紙算出表 (其一)

菊判十六頁・四六倍十六頁掛は示数の通り
四六判三十二頁・菊半截三十二頁掛は示数の半數
菊判八頁掛は示数の倍

部 数	頁 數		2	4	6	8	10	16	25	32	48	64	80	96	112	128
	部 數	頁 數														
50	4	7	10	13	16	25	32	50	75	100	125	150	175	200		
100	7	13	19	25	32	50	63	100	150	200	250	300	350	400		
200	13	25	38	50	63	100	125	200	300	400	500	600	700	800		
300	19	38	57	75	94	150	188	300	450	600	725	900	1,050	1,200		
400	25	50	75	100	125	200	250	400	600	800	1,000	1,200	1,400	1,600		
500	32	64	93	125	157	250	300	500	750	1,000	1,250	1,500	1,750	2,000		
600	38	75	113	150	188	300	350	600	900	1,200	1,500	1,800	2,100	2,400		
700	44	88	132	175	219	350	400	700	1,050	1,400	1,750	2,100	2,450	2,800		
800	50	100	150	200	250	400	450	800	1,200	1,600	2,000	2,400	2,800	3,200		
900	57	113	169	225	282	450	500	900	1,350	1,800	2,250	2,700	3,150	3,600		
1,000	63	125	188	250	313	500	550	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000		
2,000	125	250	375	500	625	1,000	1,250	2,000	3,000	4,000	5,000	6,000	7,000	8,000		
3,000	188	375	563	750	938	1,500	1,875	3,000	4,500	6,000	7,500	9,000	10,500	12,000		
4,000	250	500	750	1,000	1,250	2,000	2,500	4,000	6,000	8,000	10,000	12,000	14,000	16,000		
5,000	313	625	938	1,250	1,563	2,500	3,000	5,000	7,500	10,000	12,500	15,000	17,500	20,000		
6,000	376	750	1,125	1,500	1,875	3,000	3,500	6,000	9,000	12,000	15,000	18,000	21,000	24,000		
7,000	440	875	1,313	1,750	2,188	3,500	4,000	7,000	10,500	14,000	17,500	21,000	24,500	28,000		
8,000	500	1,000	1,500	2,000	2,500	4,000	4,500	8,000	12,000	16,000	20,000	24,000	28,000	32,000		
9,000	563	1,125	1,688	2,250	2,813	4,500	5,000	9,000	13,500	18,000	22,500	27,000	31,500	36,000		
10,000	626	1,250	1,875	2,500	3,125	5,000	5,500	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000		

【二三】 社 會

書 名	著 譯 者	定 價	頁 形 數 體	發 行 所	書 名	著 譯 者	定 價	頁 形 數 體	發 行 所
【一 月】					【二 月】				
會津農民讀本	荒木武行	非	二〇	會津農民學校 京橋	土の日本	橋孝三郎	・五〇	八〇	橋孝三郎 牛込
青年に叫びかく	熊谷辰治郎	一・三〇	三三	文 館 神田	オクス「ゲルウブ」	今井三郎	・三〇	二〇	基督教出版社 神田
時局労働讀本	前田 一	一・〇〇	二六	南 郊 社 牛込	フォド 運動の批判	今井三郎	・三〇	二〇	基督教出版社 神田
反産業組合運動批判	杉本連治	・〇五	一六	和歌山縣産業和歌	日本プロレタリア文藝	ナルプ常任	非	二〇	ナルプ出版部 杉並
創造の日本	J.W.T.・イン ン 藤野久恒	一・二〇	三六	大東出版社 芝	運動方向轉換のために	大野寛一郎	・二五	二〇	ナルプ出版部 杉並
社會政策學概論	林 癸未夫	三・八〇	四七	章 華 社 目黒	生活轉向運動の真相	前田 稻夫	・五〇	三三	日本社會社 大阪
社會事業研究	山口 正	三・〇〇	四七	日本評論社 京橋	社會運動團體現勢一覽	中村 義明	・二五	三三	皇 民 意 識 社 大阪
社會文庫 マルクス地代論 に關する二つの批判的研究	カール・デー 渡邊 信一 譯	・八〇	二五	同	共産主義思想	時事新報社	・二〇	三三	時事新報社 神田
アナーキズム方法論	鎌田 研一	・二五	五〇	自由聯合協議會 浅草	掃滅の根本策	延島英一 譯	・一〇	四四	新 東 京 社 葛飾
建設文庫 東洋文化 の復興と基督教	畔上 賢造	・五〇	二〇	建設社 牛込	番町會を暴く(一)	岸田 三治	・一〇	四四	新 東 京 社 葛飾
					思想問題判斷の鍵	佐久 達雄	・五〇	三三	白 揚 社 神田
					日本農民 氏神様中心の に與ふ 農村に還れ	寺田 稻太郎	・五〇	二六	祖 國 會 杉並
					ヨナルの政策				
					東洋古代社會史				
					國家社會史				
					義を排撃す				

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
農村問題の展望	後藤文夫	・二〇〇	二七	社會教育協會 小石川
社會學序說	加田哲二	・二八〇	四六	慶應義塾 芝
窮乏農村の再建方策	中澤辨次郎	・一五〇	四六	大東出版社 同
愛國同胞	福島英介	〇	六	福島英介 牛込
神邦一	熊田一美	〇	三	成蹊社會問題研究所 荏原
思想問題判斷の鍵	皆川治廣	・五〇	一六	廣文社 芝
近世日本社會運動史	菊池次郎	・一六〇	四六	白揚社 神田
法之錯覺	宗我部美明	△	三	日本宗教社 大阪
請願隊は如何に闘つたか?	小山荆冠	・三〇〇	八	全國水平社 静岡
日本勞働祭の意義	赤松克麿	・五〇	一八	國民協會 神田
人事管理の實際と理論	高橋直服	・三〇〇	四五	交通經濟社 神田
産業協力の運動	久保時造	・三〇〇	一六	日本勞働總同盟 神田
の根本的方針	水谷壽	・二七〇	二七	大雄閣 小石川
異安心史の研究	石田傳吉	・一八〇	三七	泰文館 神田
農村問題解決の心髓	福田稻夫	・一〇〇	七	日本社會運動會 芝
社會運動團體現一覽				
【五月】				
都會相の一面	前田善教	・三〇〇	五	日本警察社 牛込
社會科學の方法論	伊藤安二	・二二〇	二六	敬文堂書店 同
反産運動と嚴正批判	西尾愛治	・五〇	一五	鳥取縣産業組合 鳥取
産組運動の黒幕を暴く	倉持忠助	・二〇〇	九	新野淺草社 下谷
東京市電の危機	利協會	・一〇〇	二五	産業福利協會 神田
工場安全の叫び	唯論會	・一六〇	四二	大畑書店 神田
農村問題總解決	岡本利吉	・一〇〇	三九	純眞社 神田
農村生活改善の話	松村勝治郎	・三〇	一三	協調會 芝
彌富工場争議の真相	宇佐美勇	・八〇	一五	日進堂書店 名古屋
社會學入門	綾河武治	・二〇〇	二九	修養圖書會 神田
社會學要義	難波紋吉	・二八〇	四五	弘文堂書店 神田
社會學座談	小山文太郎	・一八〇	四〇	章華社 目黒
建設發展する社會	神近市子	・五〇	一七	建設社 牛込
文庫 文明學序説	室伏高信	・五〇	一〇	同
同 文明學序説	高木武三郎	・一六〇	三六	新興出版社 同
飢餓線上を行く	松本潤一郎	・一八〇	三三	弘文堂書店 神田
社會學論及學説	大月久治	非	一八	大月社會事務所 大阪
大阪府下に於ける五月紛議	社會思想對策調査會	〇	三	對策調査會 京都
共産黨某被査料	中村義明	・六〇	一六	皇民會 大阪
の轉向記	經濟學研究會	・三〇	九	經濟學研究會 神田
法則的社會發展	山下政逸	・二〇〇	三〇	新日社 神田
文部省を暴く	伊藤友治郎	・三〇〇	五〇	社會時評社 神田
桃色侯爵と武子の巻	三井甲之	・二〇〇	三〇	社會時評社 神田
第二我等は如何にこの凶逆思想を處理すべきか?				

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
民族共同社會の提唱	李東華	・五〇	一七	黃人社 世田谷
世の父兄に捧ぐる赤化子弟の告白	窪田傳一	・五〇	一三	廣文社 芝
東洋思想の研究	小柳司氣太	・四〇〇	六三	關書院 豊島
イエスの觀たる家族・財産・國家	高柳伊三郎 譯	・三五〇	一〇二	基督教出版社 神田
現代の社會思想	蠟山政道	・一三〇	一六	高陽書院 同
「最近異解異安心問題の檢討」批判	羽栗行道	〇	二九	京都信託所 京都
國家改造の基調	藤岡淳吉	・三〇〇	六	國民の友社 神田
日本原始社會史(下)	渡部義通	・一五〇	五九	白揚社 神田
農村變革期の經濟	木村靖二	・一六〇	二九	同
青年は何故乎	吉森悟市	・五〇	八二	經濟學會出版部 神田
赤化する乎	松本學	・一五〇	四	社會教育協會 小石川
警察と民衆				
【六月】				
農村問題座談會 第一回	渡邊鬼子松	・三〇	九〇	農民社 芝
根本對策	三重縣	〇	一四三	三重縣社 三重
伊勢(明治)顛末記	三	〇	三三	協調會 芝
模範的農村事例	松村勝治郎	・一〇〇	三三	同
社會學要綱	松本潤一郎	・二〇〇	二六	時潮社 同
農村生活改善の話	松村勝治郎	・三〇	一三	協調會 芝
彌富工場争議の真相	宇佐美勇	・八〇	一五	日進堂書店 名古屋
社會學入門	綾河武治	・二〇〇	二九	修養圖書會 神田
社會學要義	難波紋吉	・二八〇	四五	弘文堂書店 神田
社會學座談	小山文太郎	・一八〇	四〇	章華社 目黒
建設發展する社會	神近市子	・五〇	一七	建設社 牛込
文庫 文明學序説	室伏高信	・五〇	一〇	同
同 文明學序説	高木武三郎	・一六〇	三六	新興出版社 同
飢餓線上を行く	松本潤一郎	・一八〇	三三	弘文堂書店 神田
社會學論及學説	大月久治	非	一八	大月社會事務所 大阪
大阪府下に於ける五月紛議	社會思想對策調査會	〇	三	對策調査會 京都
共産黨某被査料	中村義明	・六〇	一六	皇民會 大阪
の轉向記	經濟學研究會	・三〇	九	經濟學研究會 神田
法則的社會發展	山下政逸	・二〇〇	三〇	新日社 神田
文部省を暴く	伊藤友治郎	・三〇〇	五〇	社會時評社 神田
桃色侯爵と武子の巻	三井甲之	・二〇〇	三〇	社會時評社 神田
第二我等は如何にこの凶逆思想を處理すべきか?				

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
昭和八年に於ける 社會運動の情勢 (號外)日本の労働者 の動向に就きて	町田辰次郎 高山久藏 ジョウニョウ 木村利美	非〇二〇〇 二〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇	二〇二 三三 三四 三四	協調會 日本労働組合 總聯合會出版部 白揚社 神田
労働者待遇比較統計 我が國に於ける 労働委員會の概況	井上信明 浦生俊文 東京市	二〇〇〇 五〇〇 △一五	六 一五	經濟時論社 産業福利協會 東京市同
嵐の子供	橋本勝太郎 ボチヤロフ 早川ニシ 早川ニシ	一五〇〇 一三〇〇 一三〇〇	三五 三四 三四	上田屋書店 白揚社 同
唯物世界史教程第三 史觀世界史教程分册	白神正吉	一五〇〇	一五	泰文館 同
農村振興根本方策	上澤謙二	一〇〇〇	二六	新生堂 同
小供の生活を 裏から観る	野口勝一	一五〇〇	九	東京工場協會 同
労働懇談會速 記録第一回	高橋逸夫	五〇〇	一六	白揚社 神田
日本中世社會史 (鎌倉時代の部)	高島晴雄	一三〇〇	三三	平凡社 日本橋
激浪を衝く	高橋逸夫	一三〇〇	三三	平凡社 日本橋
製鐵合同問題	經倫會	二〇〇	五	經倫會出版部 同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
四日市動亂隨從記	加藤忠次郎	非〇	九三	加藤忠次郎王子
日本國民たる の信念に生よ	大須加福市	二〇〇	六	聯合通信社 同
日本主義宣言	井乃香樹	五〇〇	一八三	建設社 牛込
私の見たる 東電労働運動概略史	矢ヶ崎靜馬	六〇〇	一六	矢ヶ崎靜馬中野
國家主義運動 の理論と現況	喜入虎太郎	八〇〇	八五	新光閣 神田
青年融和運動の 本質とその實際	下村春之助	二〇〇	二五	中央融和會 同
集團社會學原理	圓谷弘	二〇〇〇	二四五	同文館 神田
昭和五年 労働統計實地調査 報告第一巻工場の部	内閣統計局	二〇〇〇	△三五	東京統計協會 京橋
Current Thought.	木合幾三郎	非〇	一七〇	政界往來社 芝
産業經濟資料第二九 輯職工保健問題	秋山斧助	〇	三	全國産業團體 聯合會事務局 同
吾々は日本人である	鈴木龍藏	〇	一四	鈴木龍藏兵庫
農民心理の研究	鎌田正忠	一八〇〇	三六〇	明文堂 神田
國民精神文化類輯一 我が青年諸兄に告ぐ	紀平正美	二五〇	七	日本文化協會 同
人類愛第五輯	坂本清作	非〇	二九	全關東水平社 同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
青年は何故 赤化する乎	吉森悟市	二〇〇	八二	經倫會出版部 同
日本共産黨及 ミントン批判	佐野學	一三〇〇	二五三	無産社 同
組閣を論じ 國家改造に及ぶ	賀川豊彦	三〇〇	三	東京學生 組合本郷
社會運動團體カード	新光閣	六〇〇	×二三	新光閣 神田
鐵道労働運動史	白土偉一	七〇〇	一〇三	鐵道指針社 大森
青年團産業部の活動	熊谷辰治郎	五〇〇	五三	日本青年 館代理部 同
フアツシズム國家學	佐々弘雄	二八〇〇	四九三	中央公論社 同
教育疑獄を辯護して	戸野原史郎	五〇〇	二九	平凡社 日本橋
【八月】 共産黨のため 屠場をたてよ	堀慶男	一〇〇〇	一六	愛國社 大阪
歴史科 合本第三冊	中村徳二郎	一〇〇〇	四九	白揚社 神田
少年犯罪と女性犯罪	白井勇松	一〇〇〇	三三	警眼社 日本橋
家族と國民に 應用したる優生學	大塚小一郎	二〇〇	二八	新生堂 神田
全國労働懇談會記録 説五・一五事件	町田辰次郎	五〇〇	二八	協生會 同
永松淺造	永松淺造	一〇〇〇	三七	平凡社 日本橋

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
人類愛第六輯	坂本清作	非〇	三三	坂本清作群馬
昭和維新の黎明	吉田慶三郎	三〇〇	六	吉田慶三郎 同
日本原始社會史	渡部義通	三〇〇〇	五九	白揚社 神田
維新前後に於ける 立憲思想の研究	尾佐竹猛	四〇〇〇	八九	中文館書店 牛込
青年に訴ふ	境一雄	三五〇	八七	青年日本聯盟 同
ソ蘇邦と支那滿 洲の共産運動	高柳松一郎	二五〇〇	六三	新光社 神田
村落劇場	上田久七	一五〇〇	二四	學而書院 同
技術社會學	三室欽右	六〇〇	一四	教文堂 神田
滋賀社會運動史	矢尾喜三郎	三〇〇〇	〇	滋賀日 信社 同
産青聯運動の新天地	西尾愛治	五〇〇	一四	成美堂書店 同
米國のラケット 新断面	日高見國	一〇〇〇	二九	丸之内出版社 同
青年と語る	後藤文夫	二〇〇	一三	日本青年館 同
米穀問題解決方策	助川啓四郎	一〇〇〇	一九〇	立命館出版部 同
資本主義は終末?	平山榮一	一〇〇〇	二三	彩文堂 同
踏査窮乏の農村	猪俣津南雄	二〇〇	二九	改造社 同
報告農民への大號令	古瀬傳藏	一八〇〇	四九	泰文館 同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
人口問題の解決方針	研究會	二・五〇	五七	人口問題研究會
農村問題の種々相を語る	今石貞治郎	・五〇	二〇	農業及水産研究会
ファッシズムの脅威	ジョン・ストライク	一・二〇	二五七	彩文堂
昭和維新論概要	鈴木新藏	非	九	鈴木新藏麻布
無産者救護制度體系	野間 繁	四・八〇	八八	章華社
社會集團と社會階級	松本潤一郎	一・八〇	二六	弘文堂書房
漁村の更生と指導	蜷川虎三	二・三〇	四〇	政經書院
漁村の指導	高橋正雄	一・〇〇	一四	あかるね會
悩みはとける	野中 轍	一・〇〇	一四	あかるね會
社會政策原論	河田嗣郎	二・五〇	二九七	有斐閣
ヒットラーの戰慄	宮西夏樹	一・五〇	四四	文原堂
學術改革論	野澤隆一	一・五〇	二八	帝國大學
青年近代思想の動向	社會教育會	×	一六	社會教育會
叢書 近代思想の動向	秋山斧助	〇	九	全國産業團體聯合會事務局
産業經濟資料三〇第十八回 國際労働總會に關する報告	吉田 茂	・六五	一七三	協調會
支那社會史	早川二郎	二・五〇	四六	早川二郎
思想犯罪の諸問題	菊池甚一	一・三〇	三九	日本犯罪學會
日本皇室の社會事業	辻善之助	〇	〇	日本皇室の社會事業
ソ聯邦脱出記	加藤彰一	一・二〇	五七	加藤彰一
農 民 讀 本	菅 太郎	・八〇	二二	菅 太郎
國家と階級	木倉幾三郎	非	一七	政界往來社
農村問題根本對策座談會第二回	高田保馬	二・五〇	三六	岩波書店
社會常識論叢	渡邊鬼子松	・五〇	一五	農 民 社
日本人口問題	上島明記	二・〇〇	五八	春 英 堂
日本人口問題 研究 第二輯	上田貞次郎	二・五〇	四九	協 調 會
ナチスの國を觀る	鈴木東民	一・三〇	三五	福田書房
日本海員組合内紛原因資料集	豊島奎衛	一・〇〇	二四	國內統一運動出版部
難局打開の指針	井上昌彦	非	三二	井上昌彦

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
農村問題大系一〇 農民經濟の諸問題	近藤康男	〇	三六五	日本評論社
莊内天保義民前篇	清野鐵匠	一・五〇	三二	アサヒ印刷所
日本精神と社會運動	緋田 工	・八〇	二七	青年教育會
社會改造實際案大綱	經濟國策研究會	・六〇	二八	經濟國策會
實験新養蠶法と農村更生講話	石田傳吉	一・六〇	四〇	泰文館
日本精神の展開と農村問題	西川貞一	・五〇	二四	西ヶ原刊行會
新日本建設	石原廣一郎	一・〇〇	二五	立命館出版部
日本社會史講話	伊豆公夫	二・〇〇	三三	白揚社
フアッシズム獨裁と勞働統制	貝島兼三郎	一・五〇	三六	政經書院
赤露脱出記	勝野金政	一・五〇	四〇	日本評論社
儒教思想と政治問題とに關する史的考察	笠森傳繁	・三〇	六三	啓行會事務所
電力界の功罪史	駒村雄三郎	二・〇〇	三二	交通經濟社
地方改良 農郵百話	建部遯吾	一・三〇	二五	丁西社
清算更生 農郵百話	圖司安正	一・五〇	三三	泰文館
東北地方大凶作の原因・現狀・對策	小野秀雄	二・六〇	二九	時潮社
現代新聞論	木倉幾三郎	非	一七	政界往來社
更生の基、農村の礎	香月秀雄	・五〇	三六	文 館
職業紹介講話	天谷健二	非	三二	天谷健二
新日集成明治編年史 一維新大變革期	中山泰昌	〇	五三	財政經濟會
【十二月】	井堀繁雄	非	五二	東京鐵工組合
川口鑄物業に於ける勞働運動十年史上卷	同	同	六二	同
日本家族制度批判	玉城 肇	二・三〇	三四	福田書房
マルクス徹底否認と新興文化の道標(上)	鈴木傳七	九・〇〇	九七	反マルク學會
日本中世社會史	笠原 修	・五〇	一七〇	白揚社
支那社會史	早川二郎	二・六〇	四九	同
東京市電記念寫眞帖	古崎平三郎	・八〇	△	東京交通會
大罷業記念寫眞帖	河合榮治郎	一・八〇	五四	日本評論社
フアッシズム批判	佐良士英彦	一・三〇	三六	佐良士英彦
東電組合運動史	早瀬利雄	二・〇〇	四五	同
現代社會學批判	田邊三郎	・五〇	二九	日東書院
動く日本の姿	尾高邦雄	二・〇〇	四七	岩波書店

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
思想問題小輯 西歐近代思想と日本國體	藤澤親雄	・二〇〇	九	日本文化協會部
國文學と民族精神	久松潜一	・二五〇	三〇	同
革命論	平泉澄	・二五〇	三〇	同
フアンソ化、共産化を妨ぐべき勢力協力への道	伊藤輔利	・五〇〇	三〇	思想研究所
社會保險の善導	吉永萌	・五〇〇	二六	東京醫事社
支那の善導	東亞經濟	・五〇〇	二六	東京醫事社
ト運動の研究	調查局	非	〇	東亞經濟社
血盟團辯論要旨	田代三郎	〇	五	調查局
農民の活路	山崎延吉	・一六〇	二六	賢文館
凡聖二宮尊徳	松村樵夫	・三〇〇	九	現實處

【二四】 數學

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
【一 月】 計算法及び計算器械	小平吉男	・三〇〇	二六〇	岩波書店
高等代數學	高須鶴三郎	・三〇〇	二九〇	裳華房
【二 月】 初等解析幾何學	渡邊孫一郎	・五〇〇	二二	裳華社
數學解析 第一編	藤原松三郎	・七〇〇	六七	内田老鶴園
微分積分學 第一卷	北條時重	・三〇〇	三〇四	東洋圖書株式會社
高等商業數學下卷	森本清吾	非	〇	共立社
座標幾何學概論	森本清吾	非	〇	共立社
【三 月】 實用高等數學下卷	堀乙次郎	・三〇〇	三三	海事教育會
【四 月】				

誤記されやすい漢字

熟語などの場合誤記しやすい漢字がすくなくない、これらは字義をよく調べて、校正又は廣告文を書く時、間違はぬやうにすること

侯、處、崇、狙、壯、卒、墜、膽、惱、疑、科、況、決	侯、所、嵩、猓、莊、率、墜、膽、惱、疑、科、況、決	功、徐、制、藉、噪、體、脹、陶、惱、粉、麻、冥、祿	效、除、政、籍、躁、態、張、陶、能、飄、滿、妄、矮	瀉、振、世、接、雙、單、徹、動、動、非、僻、漫、籃、勇	戊、心、性、疝、速、痰、籐、道、復、偏、蜜、濫	戊、身、生、疝、即、痰、籐、道、復、偏、蜜、濫
---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	-----------------------------	-------------------------	-------------------------

書名

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
立體解析幾何學講義	山崎榮作	・三〇〇	二八	内田老鶴園
琉球古來の數學と結繩及記標文字	矢袋喜一	・二〇〇	三〇	青年會
商業算術提要	伊藤正一	・三〇〇	四六	巖松堂書店
一週間珠算講話	山本長五郎	・二〇〇	二六	寶文館
新式珠算法講義	脇田直彌	・二〇〇	二六	珠算學院
現代標準新算術解義	清水清	・二〇〇	四七	高岡本店
【五 月】 Koto-sugaku no tehodoki	山崎喜重郎	・四〇〇	三三	日本マ社の口
積分方程式論	竹内端三	非	〇	共立社
不定數問題上、下	鹽澤孝寬	・六〇〇	二册	東京測量事務所
【六 月】 歸除法對商除法	與村算貞	・七五〇	二八	小島文開堂
代數學第二卷	藤原松三郎	・八〇〇	七五	内田老鶴園
工業數學	福田武雄	・三〇〇	五〇	山海堂出版部
數の起源と發達	小田信夫	・一八〇	二五	寶文館

數寄屋建築

第一編 茶室と茶庭 第二編 數寄屋住宅

小林政吉著 二 四六判一冊 定價一圓五十錢 送料十錢

四六倍判Aト紙印刷約三百頁
挿入圖六百餘裝幀美 定價金四圓五拾錢
送料内地廿二錢・臺・鮮・滿・樺太・六十二錢
保護建造物に指定せられたる銘園、茶席より
近代數寄を凝したる茶室並數寄風の瀟洒なる
近代的住宅等を網羅し其絢爛の美と雅趣豊かな
情緒は建築に興味を有つ人の垂涎措く能はざ
るものである。

最新刊 實際應用 規矩術

著者は日本建築大家で建仁寺流甲家十二代故大島忽株氏の高弟で氏に師事すること數十年其秘術の全班を傳授せられ實地と學理に通曉せられし氏が青年獨習と學生の教材の爲今回公刊せられたもので繁簡其要を得たる好箇の著である

土木建築 工事用機械取扱法

昭和十年一月末發行 定價金貳圓 送料十四錢
特製金二圓五拾錢

發行所 須原屋書店
振替 東京 四九六〇番

◆夏書紹介◆ 發行所 金刺芳流堂

振替 東京 八四二四番
東京神田神保町三丁目

桑田敬治著	最新刊 電磁氣學精義 全三卷	定價 一〇〇〇	送料 五七	トライフオード著	現代日英會話	定價 一五〇	送料 〇六
田中三四郎著	高物理學 講義	四〇〇	三三	ルース著	實用日英會話	一五〇	〇八
田中伴吉編	新刊 無機化學 全二卷	七〇〇	三三	横地良吉著	分類英文釋義	一〇〇	〇八
今川一著	增補 有機化學講義	三五〇	三〇	吉田潔著	自修イソップ物語	八〇	〇六
大塚好治著	增補 應用化學大觀	五〇〇	三三	龜井藤太郎著	獨逸文法詳解	二〇〇	〇八
大村周二著	新訂 用器畫法詳解講義	二〇〇	一八	同	本位語 獨逸文法詳解	二〇〇	〇一〇
吉田好九郎著	增補 算術講義	二〇〇	二〇	同	和文獨逸文法講義	三八〇	〇三三
同	增補 代數學講義	二五〇	二一	岡倉一郎著	新編 和文獨逸辭典	一六〇	〇一〇
同	增補 平面三角法講義	二〇〇	二一	ハリール著	實用日獨會話	一五〇	〇〇八
吉田好九郎著	實用解析幾何學講義	四〇〇	三〇	足立忠八郎著	日文會話及時文	二〇〇	〇〇八
劉屋他人次郎著	增補 平面解析幾何學講義	三五〇	二一	鈴木於菟平著	實用日露會話	一〇〇	〇〇四
同	增補 微積分學講義	二五〇	三〇	ブスケ著	實用日佛會話	一五〇	〇〇八
河野元三著	增補 東洋歷史講義 全二卷	五〇〇	三三	山内二郎著	中古文學選釋	一五〇	〇一四
同	西洋歷史講義 全二卷	五〇〇	三三	池田蘆洲著	唐詩選詳解講義	一五〇	〇一〇
石川成章著	增補 地文學講義 全二卷	六〇〇	三三	久保天隨著	菜根譚詳解講義	一〇〇	〇〇八
石川千代松著	動物學講義 全三卷	一五〇〇	五七				

—書學醫獸行發堂誠克—

田中博士著	家畜衛生學攬要	全一冊	郵正	金壹圓六拾錢
江本博士著	家畜病理解剖學	全二冊	郵正	金五圓五拾錢
川田信平氏共著	家畜組織學	全一冊	郵正	金貳圓七拾錢
川田信平氏共著	家畜組織學各論	全二冊	郵正	金拾參圓
川田信平氏共著	家畜組織學實習指針	全一冊	郵正	金五圓八拾錢
武藤博士著	獸醫藥理學	全三冊	郵正	金貳拾貳錢
武藤博士共著	獸醫調劑術並投藥法	全一冊	郵正	金壹圓八拾錢
內田喜代松氏共著	獸醫內科學講本	全三冊	郵正	金六圓九拾錢
島村博士著	家畜生理學	全二冊	郵正	金貳拾貳錢
板垣博士著	臨牀家畜診斷學	全一冊	郵正	金貳圓七拾錢
武藤博士共著	獸醫內科學講本	全三冊	郵正	金拾圓五拾錢
城井博士共著	家畜產科學	全一冊	郵正	金貳圓八拾錢
佐藤博士著	家畜產科學	全一冊	郵正	金拾圓參拾錢
松葉博士著	獸醫外科總論	全一冊	郵正	金貳圓參拾錢
松葉博士著	獸醫外科各論	全一冊	郵正	金拾圓參拾錢
板垣博士著	家畜寄生蟲病學	全一冊	郵正	金壹圓五拾錢
松葉博士著	蹄病學	全一冊	郵正	金壹圓五拾錢

店書堂誠克(川石小話電)町士富本區鄉本市京東所行發
(七六七七)番一八九七二京東替振

發兌 基督教出版社

東東京神田錦一丁目・電話神田三五一四・振替東京一五三三

<p>松田明三郎著</p> <p>モ―セと十誠</p> <p>四六判 二五八頁</p> <p>定價 一・三〇</p> <p>送料 〇・八</p> <p>基督教の深い根は舊約の宗教にある。而して舊約宗教の源泉はモ―セと十誠に發見せられる。本書は前篇に於てモ―セの人物を評價し、後篇に十誠各誠の意義を明かにしてゐる。現代人の宗教生活並に倫理生活の向上に力強い衝動を與へる。</p>	<p>政池 仁著</p> <p>リヴィングストン傳</p> <p>四六判 四〇六頁</p> <p>定價 二・〇〇</p> <p>送料 一・四</p> <p>十九世紀の偉人、リヴィングストンの詳細且つ正確なる傳記である。明細なる地圖四枚と、書中所々に採られたる著書独自の批判とは他に類例なきもの。この古今に比類なき大傳道者の記録は敬虔なる基督教者の齊しく迎へる所であらう。</p>	<p>青山學院院長 阿部義宗著</p> <p>宗教英詩十二講</p> <p>四六判 二九七頁</p> <p>定價 一・二〇</p> <p>送料 一・〇</p> <p>英米の詩人十二人、その詩十二篇を選んで著者はその靈感を語る。これは、著者の、言はゞ心頭風景である。青山學院神學部長たる著者が、書齋に沈思する靈の歌曲であり、靈戰の陣頭に立つて世の靈に訴ふる説教集である。</p>	<p>賀川 豐彦著</p> <p>小説 煙れぬ麻</p> <p>四六判 二三七頁</p> <p>定價 一・二〇</p> <p>送料 一・〇</p> <p>著者の基督教者として「純情と祈と貞潔の文學である」と賀川豐彦氏は云つてゐる基督教の精神に活きたそのために奮闘を續けてゐる著者の體驗と意圖とが深き敬虔の念を以て味讀される。――讀賣新聞評――</p>	<p>今井よね編</p> <p>紙芝居の實際</p> <p>四六判 二〇九頁</p> <p>定價 一・八〇</p> <p>送料 〇・六</p> <p>紙芝居は小供の阿片である。この小さな紙芝居のお客様は東京市だけでも七十五萬人といふ老大な數で、その感化と影響は夙に社會教育上の一大問題である本書は自ら街頭の最前線に立ち福音紙芝居のバイオニアとして献身する著者の體驗録である</p>
--	---	--	---	--



共立社

刊行講座及新刊と重版

東京・神田・駿河臺三
電話神田一五一八・二六二四
振替東京四六〇七四

全卷全篇悉く知識の源泉

- 【編輯】濱住・三島・西村三博士
實用金屬材料講座
全十一卷
申込金 一圓五十錢
每卷二圓五十錢
- 【編輯】小栗・永井・内田・友田四博士
實用製造化學講座
全十二卷
申込金 一圓五十錢
每卷二圓五十錢
- 【監修】松村・加茂・關口三博士
實用機械工學講座
全十卷
申込金 一圓
每卷二圓
- 【監修】大河内・松村・青木三博士
實驗工學講座
全十八卷
申込金 一圓
每卷二圓
- 【監修】大幸・麻生・厚木・箕作四博士
實驗化學講座
全十八卷
申込金 一圓
每卷二圓

- 理學博士 小竹無二雄著
有機化學
菊判 三二〇頁
送料 三十二圓
- 工學士 石橋正樹著
塗料
菊判 三四〇頁
送料 三圓五十錢
- 理學士 渡邊秀雄著
高等平面三角法
菊判 二四〇頁
送料 二圓三十錢
- 工學博士 千葉茂太郎著
眞空管
菊判 二七一頁
送料 二圓二十錢
- 神馬新七郎著
鑄物工場の原價計算
菊判 四五〇頁
送料 五圓
- 金子 清次著
基本圖案學
菊判 一七二頁
送料 一圓八十錢

最新研究と學術の大衆化

- 【監修】坂井・國枝兩博士
新修高等數學講座
全廿六回
申込金 一圓
每卷二圓
- 【監修】坂井・國枝兩博士
演習高等數學講座
全十五卷
申込金 一圓
每卷二圓
- 【監修】坂井・國枝兩博士
最近初等數學講座
全十二卷
申込金 一圓
每卷一圓五十錢
- 【編輯】大類博士・松井教授
現代史學大系
全十五卷
申込金 一圓
每卷一圓五十錢
- 【編輯】長澤・内田・本田三學士
漢文學講座
全十二卷
申込金 一圓
每卷二圓
- 【編輯】丹羽・千葉・宗三博士
無線工學講座
全十二卷
申込金 一圓
每卷二圓

- 工學博士 辻 二郎著
西洋拜見
菊判 三六四頁
送料 二圓四十錢
- 國大教授 松井 等著
東洋史要釋
菊判 二七三頁
送料 二圓五十錢
- 理學博士 丘 淺次郎著
猿の群から
四六三〇六頁
送料 一圓八十錢
- 文學博士 原 隨園著
新義西洋史
菊判 三五〇頁
送料 二圓五十錢
- 柳田國男著
民間傳承論
菊判 三二〇頁
送料 二圓四十錢
- 文學博士 大類 伸著
史學概論
菊判 二八〇頁
送料 二圓四十錢
- 理學士 杉江重誠著
ガラヌ
菊判 三八〇頁
送料 三圓八錢

▲出版 蟻塔 八が中て申込次第 無代にて送呈す



呈進第次越申御 録目書行發館文同

早大講師 芳野武雄著	計理士 松岡元三郎著	原 靜著	主計少將 計三輪 寬 共著 池田壽太郎 著	計理士 岩垂 至著	計理士 岩垂 至著	東京商大教授 吉田良三著	日本産業能率研究所長 上野陽一編
原價計算の要領	決算書の作り方見方	改訂 銀行實務誌	工業會計實務誌	會計實務誌	實用簿記會計の知識	商業簿記提要	事務必携
二二〇頁 送	二二〇頁 送	六九〇頁 送	三四六頁 送	三三〇頁 送	二八〇頁 送	四二〇頁 送	三三〇頁 送
價一・四〇	價一・五〇	價四・二〇	價三・〇〇	價二・七〇	價一・〇〇	價二・五〇	價一・〇〇
かんた参考書	最も要點をつ	ひろし!!	工業會計人か	解本位の實務	えよい會計讀	簿記學界の權	事務の合理化

二通下座波阿區西阪大 館文同 一町保神區田神京東
八二一二二阪大替振 五三一京東替振

法律年鑑

法學博士 高窪喜八郎監修 法律評論社編

毎年一回發行

四六判背革六號密植

- 第一卷 價九圓 第六卷 價九圓
- 第二卷 價八圓五拾錢 第七卷 價九圓
- 第三卷 價十圓 第八卷 價九圓
- 第四卷 價拾二圓 第九卷 價九圓五十錢
- 第五卷 價十圓 第十卷 價九圓

各最近一個年間雜誌及新聞紙上に發表せられたる學說●判例
●決議●訓令回答の要旨全部●著書●雜誌●諸統計●諸法令
●裁判所職員●在野法曹●學校職員等法律に關する事項及純
學理に涉るもの並に補助科學に屬する事項をも集録し之を民
法商刑法以下十部門に分ち精密なる目次及イロハ索引を附
したるを以て最近一個年間の法律學說判例を一目して知り得
べき良書なり

法律學說要旨集

法學博士監修 法律評論社編

- 第一卷 價八圓 送料 内地 廿七錢 屬領五十五錢
- 第二卷 價八圓 送料 内地 廿七錢 屬領五十五錢
- 第三卷 價十二圓 送料 内地 卅六錢 屬領七十五錢
- 第四卷 價六圓 送料 内地 廿七錢 屬領五十五錢

法學博士 高窪喜八郎編 民法商法 全十八冊

法律學說總覽(正) 價八十七圓四十錢 送料三圓九十六錢 民法六冊 既刊

法律學說總覽續編 價九十四圓 送料四圓八十三錢 商法四冊

破產法(上下) 定價各八圓 送料内地三十錢 屬領六十五錢

發行所 東京市神田區小川町三丁目二十八番
法律評論社 振替東京一六一六七電話神田二七三

◇著名・學營經・計會・行刊店書山森◇

<p>東京帝大 馬場敬治著 教 授</p> <p>經 營 學 研 究</p> <p>菊 判 三〇 總布裝 三</p> <p>本書は全六篇より成り論理の透徹整然たることは文章の明快而も周到なる相俟つて讀者をして易に斯學の本質を把握せしめるのであらう。斯學研究學徒の精讀すべき良書である。</p>	<p>高岡高商 向井梅次譯 教 授</p> <p>ホフマン經營學</p> <p>菊 判 二〇 總布裝 三 全二冊 各三〇</p> <p>本書一度出づるや獨逸學界を席捲し本邦學者また驚嘆惜しまざりしもの。博士の該博なる會計學上の蘊奥は經濟及び法律學上の造詣と相俟つて經營學の全貌をよく一屋の下に鳥瞰せしめ茲に斯學界稀に見る概論を現出した。</p>	<p>商學士 畠中福一著</p> <p>勘定學說研究</p> <p>菊 判 三〇 總布裝 三</p> <p>簿記原理の中樞たる勘定理論を從來の學說とは別個の著者独自の立場から取扱ひたるものであつて實に不眠不休三ヶ年研究の結晶である。斯學に於ける無二の先驅的名著として學界賞讃の書。</p>	<p>野本悌之助・野瀬新藏譯著</p> <p>企業財政の比率分析</p> <p>菊 判 二〇 總布裝 三</p> <p>本書第一編に於ては貸借對照表、損益計算書等に現れたる諸項目を分析上より説明し、第二編に於ては比較分析、百分率貸借對照表、靜態比率、動態比率、補助比率等を説き著者の最も得意とする指數分析に及んで得られる重要な編分析事例はナールに俟つて始め得られる。又第三編分析事例はナールに俟つて始め得られる。又第三編分析事例はナールに俟つて始め得られる。又第三編分析事例はナールに俟つて始め得られる。</p>	<p>商學博士 高瀬莊太郎著</p> <p>グットウキルの研究</p> <p>菊 判 四〇 總布裝 三</p> <p>グットウキルは商學、經濟學及法學等に於て學者の關心を惹くこと既に久しきに拘らず未だその正體を突き止めたものがない。本書は豊富な實際資料と犀利透徹せる觀察によつて學界積年の難問を解決せる劃期的勞作であつて日本商學の優越を世界に誇示せる名著。</p>	<p>鹿兒島 沼田嘉穂譯著 高商教授</p> <p>貸借對照表論</p> <p>菊 判 三〇 總布裝 三</p> <p>貸借對照表論は現代經濟人不可缺の基礎的知識でなければならぬ。米國會計士界の著者として又コロンビア大學教授として周知られたケスタールの本書は會計學の世界的標準書である。</p>
--	--	--	--	--	---

東 京 東 替 振 店 書 山 森 田 神 京 東 兌 發
 番 九 一 九 二 三 京 東 替 振 店 書 山 森 田 神 京 東 兌 發
 番 〇 八 〇 三 田 神 話 電

東京市長 牛塚虎太郎閣下題字 總紙數 三〇〇頁箱入美本 (各書店にあり)
 大日本觀光 編輯部長 水島芳靜氏著 名所寫眞 七〇葉挿入
 定價金 壹圓 郵稅 八錢

大東京と郊外の行樂 (附ハイキング案内)

野は正に晴れた。山は淨らかに流るゝ水の音も爽やかに、風心地良く肌をなぶる今日この頃、野に出てて、大氣を心ゆくまで吸ひ給へ。そこにこそ、健康の源はある。

本書は都人士一日の行樂として書かれた親切なる案内書で、東京から日歸りの出来る程度の行樂地を明細に記し、スポーツ欄には東京近縣の競馬場紹介、ゴルフ場案内、野球、庭球、プール其他一般設備使用規定、ダンスホールめぐり、更に市内外の社寺めぐりから、盛場、海水浴場、ハイキング案内等々極めて面白く綿密に書かれてゐる。同じ著者により「一、二泊氣まゝな旅」と共に敢而江湖に推奨して止まぬものである。

東 京 東 替 振 店 書 館 東 大 式 株 五 六
 番 〇 八 〇 三 田 神 話 電

井上忻治先生著

▲內容見本
申込次第送呈

最新 獨和法津經濟辭典

冊一全
總筆特製四六新形
千二百餘頁
定價金 五圓
送料十八錢

益々内容充實せる

再訂六版

本辭典の期する所は完全な讀書辭典たるに止らず、組織に於て基本術語複成術語これを以て一つの根本方針から先づ其の組織の下に凡てその語類を派生術語を著く配列して對照比較の便に一切の語形殊に成句に至る學術書の正讀に資する限遺漏なく集成内容に於て▼單に法律學經濟學の範圍に止らざる社會諸科學及び哲學の用語をも廣く約六し更らにその内容に於て▼單に補助學科關係學科としての爾餘の社會諸科學及び哲學の用語をも廣く約六千の羅旬術語をも收再訂本版に於てその總語數實六萬を超ゆるの贅異を實現し、邦唯一の獨和學術辭典として益々内容の充實を見るに至つた。敢て江湖の愛用を乞ふ。

改訂增補
版五十

啓蒙 獨逸文詳解

冊一全
四六版上製
定價金一圓五十錢
送料八錢

井上忻治先生 共著
藤山治一先生

本書はあらゆる獨逸語の困難を解き、譯讀の秘訣を授け、同時に作文の練習に資せんとするもの、一般獨逸語學生に取り絶好無二の指南書なり。

發行所 東京銀座 東海堂書局

振替 東京 電話 一五五
八五五
七六九
七七一

芝、芝生、芝庭	上原敬二・一・八〇〇	二六六	明文堂	野口尙一・四・五〇△	三三六	山海堂出版部
はかり機械	足立廉吉・二・五〇〇	三三七	吉田工務所	和田三造・一・五〇〇	二〇〇	博美社
熱帶植物寫真集	工藤彌九郎・二・五〇〇	△	明文堂	坪谷幸六・三・八〇〇	四三〇	前野書店
輓近土壤膠質化學	川村一水・二・〇〇〇	△	三岩波書店	白井光太郎・四・五〇〇	四九六	春陽堂
木肌と解説	日比野貫三・二・八〇〇	△	明文堂	田邊貢・五・〇〇〇	四七二	西ヶ原刊行會
實用木材銘鑑	荒木勤・五・〇〇〇	〇	巖松堂	高木隆二・外一・五・〇〇〇	三三七	前野書店
航海力學前編	竹内時男・一・三〇〇	二七〇	潮社	丹羽健藏・一・三〇〇	〇	鐵道圖書局
科學の尖端を語る	原田三夫・一・〇〇〇	〇	三人書房	山口壽・五・五〇×	六三三	金原商店
金の知識	豐田四郎・四・五〇△	三三三	敬業社	山本勇・三・〇〇〇	〇	電氣之友社
三角測量	道田貞治・三・〇〇〇	〇	電氣之友社	寺尾信次・六・△	四枚	淀屋書店
最新電話後	藤了念・一・四〇〇	〇	淀屋書店	日本放送協會	〇	關西支部
電氣機械 直流機編	高木誠司・上・三〇〇〇	〇	日本藥報社	又野重信・一・六〇〇	〇	淀屋書店
定性分析化學上下	黒川義太郎・一・七〇〇	〇	改造社	杉浦勇・一・五〇〇	〇	太陽堂書店
動物談叢	石井重美・一・五〇〇	〇	古今書院	額田敏・二・〇〇〇	〇	金原商店
動物の社會生活	加藤正世・二・五〇〇	〇	厚生閣	無機化學概論	【四月】	
分類原色日本昆蟲	大谷武夫・外一・二・六〇〇	〇	同			
水産化學						
軟體動物の化學						

理學

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
工業礦物岩石學	内田義信	二・七〇	二六〇	昭晃堂	鳥類原色大圖說	黒田長禮	非△	二〇〇	修教社書院
農業研究 第二卷	近藤萬太郎	二・〇〇	四六	大原農研	理化實驗の基礎と應用	青木源吾	一・八〇	三二〇	同文館
實地作新説	武田總七郎	四・八〇	五〇	明文堂	最新林學講義上	日本森林協會	三・五〇	六三	政經書院
電界百話	濫澤元治	一・五〇	二六	オーム社	營養と食品の化學	藤卷良烟	三・〇〇	四四	丸善株式會社
一般自然科學	向坂道治	二・〇〇	一〇七	敬文堂書店	學生の藥理學	寺田文次郎	二・五〇	二五〇	金原商店
說新無機化學	龜高德平	三・七〇	四七	丸善株式會社	配色總鑑	和田三造	一・五〇	一四〇	博美社
實驗生化學	柿内三郎	四・〇〇	三八	克誠堂書店	無機定量分析	松野吉松	一・五〇	一四〇	共立社
東京帝國大學地震研究所彙報別冊	同	三・五〇	八〇	帝大地震研究所	化學製品成功法	堤健次	一・八〇	一八〇	新職業社
細胞學實驗法	山羽僕平	二・〇〇	二八	地人書房	魚と人生	田中茂穂	二・八〇	一四〇	樂浪書院
化學思索と實驗	竹村貞二	三・五〇	四七	中文館書店	分析化學	高橋學而	一・八〇	一三〇	金原商店
現代家事物理學	守屋馨村	三・三〇	三九	崇文堂	波動力學と化學	日本化學會	五・〇〇	六〇	岩波書店
現代家事物理學	同	二・五〇	四二	同	計算尺詳解 第二册	宮崎治助	一・二〇	一四七	逸見製作所
自然科學化學篇	池田清	一・九〇	二四	敬文堂書店	肥料の鑑定法	島田日出夫	非〇	一七	全國購買組合
植物の生活	カイヤ、イ、テイ、ミリヤ、ゼフ、石井、友、幸、福、田、邦、彦、外一	二・八〇	三三	興學會出版部	最新ラデオ圖集	松本力	一・二〇	一六	高等無線技術學
醫學者用物理學	福田邦彦	三・〇〇	二九	金原商店	營養化學概論	田所哲太郎	一・五〇	二二	丸善株式會社

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
榮養學講話	鈴木梅太郎	三・五〇	七	糧食研究会	藥品製造實驗法	稻垣清二郎	四・〇〇	三〇	甲榮社出版部
【五月】					最新林學講義下	日本森林協會	三・五〇	六二	政經書院
生物學概説	櫻田總一	一・二〇	一〇四	向山堂書房	道路の構造と鋪裝	岩澤忠恭	三・〇〇	九二	日本文化協會
J O A K ラデオ技術講義録	初見五郎	一・〇〇	三六	日本放送出版協會	配電法	午來武知	一・八〇	三八	電氣工業協會
原色貝類圖 増訂版	山川默	二・〇〇	〇	三省堂	蟻と人類	松下眞幸	一・二〇	一七〇	樂園書房
理論物理學の錯誤	屑屋極道	一・五〇	一七	齋藤朗	有機化學	四方敬一	二・三〇	二五三	山海堂出版部
弱電流實驗要綱	鈴木長次	一・〇〇	一五	コロナ社	中電氣磁氣	溝淵定矣	一・五〇	三六	大石堂出版部
食品成分計算表	佐伯矩	九・〇〇	四	榮養社	脂質	根本六郎	三・八〇	二八	裳華房
佐渡に於ける藥草	上野巳之吉	非〇	二〇〇	上野巳之吉	無機化學概要	柴田雄次	三・八〇	三五	南江堂
電氣工學汎論上卷	星合正治	一・〇〇	一四	オーム社	應用植物生理學大要	末松直次	一・六〇	一八	西ヶ原刊行會
食用茸と有毒茸	農林省			大日本山林會	煮繭論	萩原清治	三・〇〇	四六	明文堂
改正電氣工作物規程要旨	オーム社	二・〇〇	二二	オーム社	羊齒の檢索と鑑定	神谷辰三郎	五・〇〇	五二	成美堂書店
畜産學原論	芝田清吾	五・〇〇	六六	明文堂	金銀讀本	渡邊萬次郎	一・五〇	二七	日本評論社
高等實驗化學	櫻井武平	二・三〇	二七	大倉廣文堂	登山者の天文學	山本一清	一・〇〇	一五〇	恒星社
集趣味の昆虫採集	加藤正世	一・五〇	二三	三省堂	高山植物の培養	石田文三郎	三・〇〇	二七	三省堂
訂生藥圖譜	伊吹高峻	四・五〇	六五	甲榮社出版部		外一			神田

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
新しい日常科學	竹内時男	二・八〇〇	四四〇	四四〇	東京開成館小石
ラヂオと計算	關速男	二・五〇〇	二六一	二六一	日本ラヂオ通日本
最新人造品及模造品の研究	井口豊一	三・五〇〇	三四〇	三四〇	信學校出版部
近代科學の驚異	寮佐吉	一・六〇〇	五八〇	五八〇	中央公論社
植物病理學大要	末松直次	一・〇〇〇	一五〇	一五〇	西ヶ原刊行會
原理 物理學史	弓場重泰	二・五〇〇	二六三	二六三	前野書店
宮崎縣漁具圖譜	後藤 豪	一・二〇〇	一九〇	一九〇	水會深川
酪農細菌學	高屋 銳	三・二〇〇	二九三	二九三	長隆 舍芝
ウエルズ生命の科學	小野俊一	一・〇〇〇	四八〇	四八〇	平 凡 社
化學總論	富永 齊	三・〇〇〇	二七〇	二七〇	裳 華 房
萬葉植物新考	松田 修	四・八〇〇	六五五	六五五	春 陽 堂
生活理化上卷	山鳥修治	二・五〇〇	三五〇	三五〇	友 館大阪
昆蟲物語	松村松年	二・三〇〇	三三三	三三三	東京堂書店
動物學講義上卷	石川千代松	五・〇〇〇	五〇〇	五〇〇	金刺芳流堂
動物學講義中卷	同	五・〇〇〇	五〇〇	五〇〇	同
動物學講義下卷	石川千代松	五・〇〇〇	六〇〇	六〇〇	金刺芳流堂
食物指針	酒井章平	二・〇〇〇	一九四	一九四	高等學校
計算圖表學	谷村豊太郎	四・八〇〇	三六五	三六五	丸善株式會社
改實染料工業	富田輝夫	二・六〇〇	二八〇	二八〇	大倉書店
日本上代染考	上村六郎	五・五〇〇	二五三	二五三	大岡山書店
新全動物圖鑑	日本動物學會	二・五〇〇	三八〇	三八〇	明 堂
宮崎縣漁具圖譜	後藤 豪	非	一九〇	一九〇	宮崎縣水產會
高聲器の理論と設計	眞下 明	二・五〇〇	二六〇	二六〇	誠 文 堂
植物學通論上	石川光春	二・五〇〇	一六〇	一六〇	内田老鶴園
メートル法の歴史と現在の問題	田中館愛橋	三・〇〇〇	二〇〇	二〇〇	岩波書店
化學構造と生理作用	高瀬豊吉	一・五〇〇	二二〇	二二〇	カニヤ書店
無煙燃料	燃料研究所	三・五〇〇	九二	九二	燃料協會
皇漢藥草圖鑑	青木信一	一・二〇〇	八〇	八〇	富 文 館
電氣工作物試驗法	難波貞太	一・九〇〇	三八〇	三八〇	オーム社

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
高山植物の培養	河野齡藏	二・五〇〇	二七〇	二七〇	明文 堂
山崩	中村慶三郎	二・三〇〇	二五〇	二五〇	岩波書店
氣象常用表鈔	大日本氣象學會	一・五〇〇	九〇	九〇	大日本氣象會
瓦斯熱量測定法	稻見慎一	一・三〇〇	一八二	一八二	瓦斯の世界社
內外植物原色大圖鑑	村越三千男	四・八〇〇	四八八	四八八	大圖鑑刊行會
化學の基礎	田中伴吉	四・〇〇〇	四三六	四三六	田中 伴吉
電弧鎔接法	利根山 巖	三・七〇〇	三六〇	三六〇	信友堂書店
工場に於ける寸法の測定法	木村智太郎	五・〇〇〇	一四〇	一四〇	東京商工
特殊計算尺	同	五・〇〇〇	九〇	九〇	同
その應用と設計	岡村金太郎	七・〇〇〇	二二〇	二二〇	内田老鶴園
日本海藻屬名檢索表	村越三千男	七・〇〇〇	二二〇	二二〇	大圖鑑刊行會
內外植物原色大圖鑑	同	四・八〇〇	四八八	四八八	同
星と人生	田中宗愛	一・三〇〇	一五〇	一五〇	恒 星 社
奇魚珍魚	田中茂穂	一・八〇〇	三〇〇	三〇〇	興學會出版部
蓄電池	大村三郎	一・七〇〇	二八〇	二八〇	オーム社
茶の湯指物製作圖集	小泉吉兵衛	一・八〇〇	八二	八二	信友堂書店
內外植物原色大圖鑑	村越三千男	四・八〇〇	四八八	四八八	大圖鑑刊行會
賣藥製法全書	鹽見伊八郎	五・〇〇〇	四六〇	四六〇	大阪藥業社
家禽畜圖譜	占野靖年	二・五〇〇	二〇〇	二〇〇	三省 堂
原色海藻圖譜	岡田喜一	四・五〇〇	二〇〇	二〇〇	同
石綿	杉山 旭	一・八〇〇	二六〇	二六〇	工政會出版部

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
科學論文の書き方	田中義麿	四・七〇〇	四七〇	田中義麿書局
科學精神講話	竹内時男	一・三〇〇	一七〇	華目社
生物學者物理學下卷	福田邦三	四・〇〇〇	四七二	金原商店
醫學者物理學下卷	本城二巖	二・〇〇〇	三三〇	新光社
電球及真空管	大塚雄二	四・五〇〇	四七〇	内田老鶴園
植物學通論	石川光春	四・五〇〇	四七〇	内田老鶴園
分類原色日本昆蟲	加藤正世	二・五〇〇	—	厚生閣
分類的原色日本昆蟲	柴山雄三郎	一・五〇〇	四〇〇	モナス
子供のきいたがるモノシリ博士の理科	首藤基	二・八〇〇	三三三	白揚社
新物理學の自然像	山岡望	七・五〇〇	五五〇	内田老鶴園
有機化學構造論下卷	山口長太郎	三・〇〇〇	三五六	三圭社
最新電氣時計之知識	原口長太郎	三・〇〇〇	三五六	三圭社
太平洋を渡る電力早鳥瞰	吉米地貢	七・〇〇〇	一六九	誠文堂
ラヂオ・電氣海外取引便覽	高杉清酒太郎	五・〇〇〇	四〇〇	建築學會
住宅建築懸賞設計案集	長岡行夫	二・八〇〇	二六四	文書堂
多肉植物の培養	熊野徳一	五・〇〇〇	五七	電氣協會
電氣設計	稻垣清二郎	四・〇〇〇	三九七	中國支部
衛生化學撮要後編				甲榮社出版部

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
有機化學要論	山名寧雄	三・〇〇〇	三五六	太陽堂書店
生物學精講	小松春三	三・〇〇〇	五二六	三省堂
内外植物原色大圖鑑	村越三千男	—	△一五〇	植物原色大圖鑑刊行會
日本建築の變遷	笠森傳繁	三・〇〇〇	七四	啓明會事務所
電氣用語集	關東支部	五・〇〇〇	二四	電氣協會
理論化學問題解説	青木芳彦	一・八〇〇	二五三	丸善株式會社
動物生態學	小林順一郎	二・三〇〇	四八八	中文館書店
東京市廳舎建築設計懸賞技入賞圖案	東京市役所	二・五〇〇	△箱入	東京市役所
鳥類寫生圖譜第四期	小泉勝爾	二・五〇〇	△四枚	鳥類寫生圖譜發行會
植物形態學	濱健夫	二・〇〇〇	四二	中文館書店
圖學講義	平井富夫	三・五〇〇	—	成光館出版部
發電水力之設計	山本仁平	五・〇〇〇	四三	山里尚行
並電實例	山本仁平	五・〇〇〇	四三	山里尚行
實驗電磁	矢幡源三	一・三〇〇	二四九	工政會出版部
高周波測定	高山恒太郎	一・三〇〇	二四九	工政會出版部
新物理學夜話	竹内時男	二・〇〇〇	四一	東學社
塗料	石橋正樹	三・五〇〇	三三三	共立社書店

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
高等建築學	中西義榮	非△七三	—	常磐書房
建築設計	一色孝之	一・五〇〇	—	トキキ映畫寶典
トキキ映畫寶典	駒井春吉	五・〇〇〇	〇六六	明文堂
養蜂大鑑	野々垣淳一	一・五〇〇	〇一九〇	太陽堂書店
住宅の考案を本位にした住宅と園取の造り方	須藤貫一	一・五〇〇	〇一九〇	太陽堂書店
熱帶植物寫真集	工藤彌九郎	二・五〇〇	△	明文堂
應用微生物學	宮地憲二	四・〇〇〇	〇〇〇	岩波書店
新高度方位角表	水路部	一・五〇〇	△二〇	水路部
農藝定性分析	岡崎慶郎	一・八〇〇	〇〇〇	明文堂
精選交流電氣機械完	中島友正	四・〇〇〇	〇〇〇	養賢堂
實驗生物學集成三	山羽儀兵	二・八〇〇	〇〇〇	山羽儀兵
透過性と生體染色	刈米達夫	三・八〇〇	〇〇〇	養賢堂
藥用植物栽培法	若林榮四郎	三・八〇〇	〇〇〇	養賢堂
ダイゼルエンジン	山形甚吉	三・〇〇〇	〇〇〇	工業評論社
新編高等物理學上卷	松崎義雄	三・六〇〇	〇〇〇	山海堂出版部
綱要藥用植物學	佐藤敏雄	一・六〇〇	〇〇〇	山海堂出版部
重水素と重水	千谷利三	三・五〇〇	〇〇〇	文華房

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
航空機のABCより 操縦法まで	加藤正雄 松平義雄	三・五〇	六四	城北堂書店 牛込	建築寫眞類聚 第九期 六輯 數寄屋趣味の店舗	高梨由太郎	一・三〇	五〇	洪洋社 牛込
酒造製麵法	渡會大治	二・〇〇	二〇六	今野商店 大阪	近代數寄屋住宅 設計資料	北尾春道	二・八〇	△六〇	北尾春道同 社
内外植物原色大圖鑑	村越三千男	△一六	一六	植物原色大圖鑑 發行會 神田	數寄屋建築	鈴木莊太郎	四・五〇	△二七	建築世界社 東京
最新電話前編	道田貞治	二・八〇	三二	電氣の友社 東京	原日本海藻圖譜	東道太郎	二・三〇	〇	中外工業社 大阪
秋田犬・奥羽北海の 動物を語る	小野進	一・八〇	〇二二	小野進著作會 秋田	高温度測定法	足田輝雄	四・〇〇	〇二七	誠文堂 神田
原色秋の野外植物	本田正次	一・五〇	×三三	三省堂 神田	鷄の疾病と 其の治療法	板垣四郎	一・八〇	〇三三	西ヶ原刊行會 赤坂
酵素化學概論	田所哲太郎	一・五〇	〇二五	丸善株式會社 日本橋	柿栽培の實際	野呂發巳次郎	二・九〇	〇三一	養賢堂 本郷
曲線の畫法と その原理	瀬戸倬	二・〇〇	〇二五	嵩山房 本郷	ルズ生命の科學十一	小野俊一	〇	〇三〇	平凡社 本郷
應用規矩術	小林政吉	一・五〇	〇二二	須原屋書店 神田	波動力學	渡邊慧	三・三〇	〇三三	岩波書店 神田
全天星圖	村上忠敬	三・五〇	△三〇	恒星閣 芝	必修高等化學	石川清一	一・三〇	〇三五	培風館 神田
航空機用高壓磁石 發電機に就きて	澤藤忠藏	八・〇〇	六	澤藤會社 東京	無機化學要論	山名寧雄	三・〇〇	〇三六	太陽堂書店 同
氣象の話 颶風と高潮 地震と津浪	大阪朝日 新聞社	二・〇〇	九	大阪朝日新聞社 大阪	近渡來園藝植物	松崎直枝	三・八〇	〇三六	誠文堂 同
日本之水	三島海雲	六・〇〇	〇二二	誠文堂 神田	電車の解説	松村利一	一・五〇	〇三五	鐵友社 本郷
最新内外植物誌	齋田功太郎 外三名	一・〇〇	〇二〇	大日本圖書會社 東京	電車の解説	下山忠典	六・〇〇	〇三五	南江堂 本郷

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
土壤學講話	川村一水	三・〇〇	〇三四	養賢堂 本郷	應用寫眞化學	長口宮吉	四・〇〇	〇三七	鈴木昇 本郷
ガソリンポンプ讀本	小宮正彌	七・〇〇	〇二九	消防時代社 澁谷	和洋建築構造	山村弘	二・八〇	〇三七	工政會出版部 澁谷
電氣機械教科書	工業教育會	一・三〇	〇一五	振興會 荏原	畜産製造學	佐々木林治郎	一・五〇	△二三	西ヶ原刊行會 赤坂
同期機及整流器	振興會	一・三〇	〇一五	振興會 荏原	日本動物誌(3)	伊藤純一郎	非△	〇	植物文獻會 東京
染織讀本	前田豊	三・〇〇	〇三三	都留時報社 山梨	家畜去勢法	境野惠佐	二・五〇	〇二四	成美堂書店 本郷
熱電子管 四卷	伊藤庸二	〇	〇	コロナ社 小石	藤澤博士遺文集上	高木貞治	非〇	〇六五	藤澤博士會 本郷
【十二月】					高等建築學一八	柳澤彰	同〇	〇	常磐書房 小石
織維素及び其 誘導體の研究	中島正一	一・五〇	〇二五	紡織雜誌社 大阪	建築設計畫六	南種康博	二・八〇	〇三一	成美堂書店 日本橋
耶馬溪山景地 方の植物景觀	竹内亮	一・〇〇	〇六一	耶馬溪鐵道社 大分	メタン瓦斯講話	岡田武松	三・五〇	〇四四	岩波書店 神田
高等化學總括	橋本吉郎	三・七〇	〇二九	培風館 神田	氣象學(上)	岡田武松	三・五〇	〇四四	岩波書店 神田
高等動物學	飯塚啓	四・八〇	〇六六	裳華房 麹町	基本圖案學	金子清次	一・八〇	〇二七	共立社 同
商店デザイン 陳列家具設計圖集	平岩敏二	三・七〇	△九〇	洪洋社 牛込	搾乳衛生	池田錫	一・三〇	〇二七	有誠堂書店 東京
乳と乳製品の物理學	齋藤道雄	四・八〇	〇四四	西ヶ原刊行會 赤坂	建築は此の住宅	喜多島勝司	非〇	〇三三	喜多島勝司中野 社
物理學要論(下)	一瀬正己	二・三〇	〇四三	培風館 神田	積算電力針の 取扱及接續方法	福田正輔	八・五〇	×二五	オーム社 神田
宮渦卷ポンプ	宮城晋五郎	三・五〇	〇三九	丸善株式會社 日本橋	建築寫眞類聚九ノ七 瀧酒なる料亭の構成	高梨由太郎	一・三〇	〇五〇	洪洋社 牛込
滿洲博物篇	小川運平	一・五〇	〇一七	北駿學會 牛込	新物理學講義	東京物理會	三・〇〇	〇五九	荻原星文館 神田
現象學の問題	高階順治	二・〇〇	〇三二	モナス 小石	防空の科學	保科貞次	一・八〇	〇三〇	章華社 目黒

書名	著譯者	定價	頁形數	發行所
內外植物原色大圖鑑 (六)	村越三千男	△一五三	△一五三	植物原色大圖鑑刊行會 神田
成形圖說 (四)	鹿兒島藩 藏 版	五〇〇〇	〇六三	國本出版社 澁谷
內外植物原色大圖鑑 (十一)	村越三千男	△二〇二	△二〇二	植物原色大圖鑑刊行會 神田
眼鏡と眼	坂原愛治	二・五〇〇	〇五六	高田鑑行會 助本郷
風神・雷神	杉山一之	一・〇〇〇	〇三六	弘明館印刷所 栃木

校正の術語 (一)

原稿の指定通り組版が終るとこれをゲラに入れて刷る。いはゆる「ゲラ刷」(校正刷)である。組み上げたまゝのものは間違が多いので、一先づゲラ刷が印刷所内の校正係へ廻り原稿とそれを対照して誤りを正す、これが「下校正」である。校正によつて組版を訂正することを「挿換」といふ。挿換が了ると更に新しいゲラ刷を作り原稿と共に註文者(出版者又は著者)に提出する。これを原稿と校合して誤字、脱字を訂正するのが「初校」である。更に校正をなす必要があつたら、これに「要再校」と書いて印刷所へ返戻する。これらの校正はすべて朱筆でやるので「赤字」とも云つてゐる。工場ではこの赤字が採字されると挿換係の植字工が活字の挿換、または組直しをして再び校正刷を作り、「再校」として著者に渡し、改めてまた校正される。以下「三校」「四校」「五校」等々も同様のことをくり返すのであるが、多少の間違はあつても印刷所に一任し得る程度のものであれば、著者は「校了」又は「了」と書いて印刷所に一任するのである。

〔二六〕 醫學・衛生

書名	著譯者	定價	頁形數	發行所
常用新藥用覽	日本新藥株式會社	一・五〇〇	〇三九	日本新藥株式會社 京都
漢方藥物學	坂本貢	二・五〇〇	〇三〇	大倉廣文堂 京都
日本內科全書卷八	清水藤太郎	非	〇四一	春陽堂 日本橋
細菌學實習	小田平義	二・七〇〇	△一五五	吐鳳堂 本郷
色彩皮膚病圖譜 三巻	綿引朝光	三・〇〇〇	〇三四	南山堂 同
色彩皮膚病圖譜 下巻	土肥慶藏	三・六〇〇	△一八八	同 同
內科書 下巻	吳一健	一〇・〇〇〇	〇八〇	同 同
精神病學提要	三宅鏡一	一六・〇〇〇	〇三九	同 同
藥物學	森島庫太	八・〇〇〇	〇六七	同 同
應用菌草學研究	松浦勇	三・〇〇〇	〇二五	同 同

書名	著譯者	定價	頁形數	發行所
最新臨床第一輯	古山正朔	四・〇〇〇	△三五	大道學館 福岡
日本病理學會々誌 昭和二年第二十三號	緒方知三郎	〇・〇〇〇	△九七	南山堂 本郷
性ソヴェト大學生の生活	イグリマン 廣尾 猛譯	一・〇〇〇	〇二九	ナウカ社 神田
社會醫學の諸問題	石川光昭	五・五〇〇	〇五五	吐鳳堂書店 本郷
國民保健讀本	織戸正滿	二・〇〇〇	〇六四	改造社 芝
性的神經衰弱、回春法の要旨と根治法	杉本清治	一・五〇〇	〇三三	東明堂 本郷
呼吸器病療養全書	永井秀太	二・〇〇〇	〇五九	實業之日本社 京都
肺核の療法	西宮金三郎	一・八〇〇	〇一七	克誠堂 本郷
工氣胸療法人	須藤憲三	一〇・〇〇〇	〇六四	同 同
醫化學實驗法	佐々木茂雄	二・二〇〇	〇二五	同 同
近世嫌氣性細菌學	安井修平	八・五〇〇	△四〇	同 同
新婦人科學	磯野長次郎	二・〇〇〇	〇〇〇	同 同
遺傳の綱要	石川千代松	一・五〇〇	〇五三	同 同
毒物劇物の營業者試験問題解答集	楠木靜夫	一・八〇〇	〇〇〇	同 同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
肺結核療法の革命	前川 雄	一・〇〇〇	二五〇	輸血法研究所 中野
小兒科對症療法	長尾美知	×	〇	治療及處方社 本郷
性病の解決	後藤昔陽	一・〇〇〇	〇	天真堂醫院 日本橋
齒髓診斷の批判	榎垣麟三	一・〇〇〇	七〇	齒齒苑 本郷
大自然療法奧傳	秋永常介	非〇	〇	大自然教本部 品川
保健療法西式實	西 勝藏	一・〇〇〇	一七〇	大日本西會 京橋
疑應答集	西 勝藏	一・〇〇〇	一七〇	大日本西會 京橋
石油療法體験記集	高山小次郎	二・〇〇〇	二二〇	黎明會 神奈川
簡明小藥理學	講 醫 會	一・〇〇〇	一三八	富倉書店 本郷
不眠症の害と	倉上由一	一・一五〇	九五	健康日本社 芝
絕對安民療法	白谷利一	一・五五〇	三九三	關西柔道整復術研究會 大阪
實驗柔道整復術學	白谷利一	一・五五〇	三九三	關西柔道整復術研究會 大阪
過剩營養と其疾患	竹内順三郎	一・八〇〇	一四〇	東 學 社 澁橋
修訂最新營養概論	川上登喜二	二・三〇〇	二四五	文 光 社 四谷
鑛山労働者の身體に關する考察	山 協 會	△	一三二	日本鑛山協會 京橋
日新產婆學 上	土肥 衛	四・〇〇〇	四八四	日新醫學社 神田
皮膚病學 後篇	松本信一	五・〇〇〇	△ 三〇六	南 江 堂 京郡
妊娠の早道	朝岡稻太郎	・七〇〇	一四八	健康日本社 芝
神經衰弱に直面して	雨宮保健	一・六〇〇	二七九	橋爪檳榔子 本郷
人體の秘科學百話	橋爪檳榔子	一・五〇〇	二六六	日本公論社 神田
生命の驚異	山根匡志	二・六〇〇	七九	通俗醫學會 同
【三 月】	宇山健二	四・五〇〇	二〇三	研究會 大阪
臨狀齒科病理學	豐田 實	五・〇〇〇	一〇〇	成 武 堂 澁橋
日本耳鼻咽喉科學全書 第三卷ノ二	久保猪之吉	三・〇〇〇	△ 一〇〇	克誠堂書店 本郷
實驗兒童學後篇	同	三・〇〇〇	△ 一〇〇	同
性鑑 第二編 女子生殖器機能障害	長尾美知	八・〇〇〇	△ 七〇	金原商店 同
圖說小外科學	石崎仲三郎	一・五〇〇	二七三	東 明 堂 同
不妊症ノ診斷及療法	竹村文祥	四・〇〇〇	二二三	南江堂書店 同
結核の最新食餌療法	木下正中	二・〇〇〇	二〇二	南山堂書店 同
小解剖學	竹中繁次郎	一・三〇〇	二七六	東 學 社 澁橋
西 成甫	西 成甫	二・七〇〇	△ 一七三	金原商店 本郷

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
新撰產科學	磐瀬雄一	五・〇〇〇	△ 三四七	南山堂 本郷
新しい醫學 慢性病の絕對療法	杉田平十郎	一・五〇〇	二五〇	東 明 堂 同
學校給食の實際	日原仁六	非〇	二〇三	日本社會社 下谷
肛門病特殊療法	森 直卿	二・〇〇〇	二四	東洋肛門病院 澁谷
趣味の生理學	森 直卿	一・五〇〇	二五五	時 潮 社 芝
體質及學校衛生に關する基本的研究	高橋 勉	非△	四〇五	山形縣學會 山形
家庭病院 お灸とマツサ	坂本 貢	一・五〇〇	二六九	東 明 堂 本郷
臨狀放射線學	中泉正徳	三・八〇〇	二七九	金原商店 同
完結 婚 愛	マリ、ストウプ 學研究所	三・〇〇〇	二八一	内外出版社 横濱
病 理 學 知識	大村清二	三・〇〇〇	二九	盲人技術學校 京橋
ブラジルに於ける衛生の注意	拓 務 省	〇	三六六	拓 務 省 澁谷
簡明外科各論ノ二卷	小川 蕃	七・〇〇〇	△ 六三三	金原商店 本郷
大日本眼科全書三	中村 康	八・五〇〇	△ 八二二	同
國策 産 兒 調 節 性 常 識	横井春野	・八〇〇	二六〇	日 東 書 院 神田
新看護學教科書上	大桐良藏	三・五〇〇	二〇〇	國東印刷所 高松
醫學と社會との交渉	山崎 佐	一・五〇〇	△ 一五〇	克誠堂書店 本郷
小局所解剖學	二村領次郎	五・〇〇〇	△ 二九二	金原商店 本郷
新産科學	塚原伊勢松	六・五〇〇	△ 二九二	同
日本內科全書 卷七 精神病	小田平義	四・八〇〇	△ 二七六	吐鳳堂書店 同
榮 養	佐伯 矩	三・八〇〇	△ 三五二	佐 伯 矩 芝
日本解剖學計數	林 香苗	六・〇〇〇	△ 五〇六	丸善株式會社 日本橋
【四 月】	岡田道一	四・五〇〇	△ 六〇四	明治圖書會社 京橋
應急手当の實際	額田 豐	四・五〇〇	△ 四二二	金原商店 本郷
新 醫 化 學	佐藤 清	五・八〇〇	△ 三二二	南山堂書店 同
病 理 學 總 論	古屋 清	三・七〇〇	△ 二八一	同
古屋助産婦學前編	八木日出雄	一・三〇〇	△ 五九	鈴木 英 京郡
科ニ於ける應用ニ就テ	石原 忍	一・〇〇〇	△ 三三六	金原商店 本郷
小 眼 科 學	白木正博	三・五〇〇	△ 二五三	南山堂書店 同
白木助産婦學前編	平塚武蔚	非△	五册	東京ブ 同
ラウベル氏解剖學教科書	保坂孝雄	一・六〇〇	△ 三〇三	東 學 社 澁橋
婦人科夜話	緒方知三郎	六・〇〇〇	△ 六三三	同附圖 同
病理解學を學ぶ人々に	緒方知三郎	六・〇〇〇	△ 六三三	同附圖 同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
標準美容學	東京美容術組合聯合會	一・五〇〇	約二〇〇	東京美容術聯合會
新內科學	上條秀介	八・五〇〇	約七九	金原商店本郷
病理學總論上卷	木村哲二	四・〇〇〇	約二〇〇	克誠堂書店同
新小兒科學	內村良一	五・五〇〇	約四三	金原商店同
大澤新撰解剖學	進藤篤一	七・五〇〇	約四九	江堂同
近世解剖學上	二村領次郎	三・〇〇〇	約五〇	金原商店同
小內科診斷學	加藤義夫	六・五〇〇	約四〇	同
白木助産婦學	白木正博	二・五〇〇	約二八	南山堂同
病理容態と藥物	栗原愛塔	二・〇〇〇	約四四	皇漢藥部
對症容態と藥物	柴田信	六・五〇〇	約七〇	金原商店本郷
工業粉塵と塵肺	大西清治	二・〇〇〇	約二九	東京醫事局
內科學第二卷	篠原昌治	四・五〇〇	約二九	同
盲腸炎の話	近藤清吉	九・〇〇〇	約一五	日本健康協會牛込
神經痛とリウマチス	中井龍彦	一・〇〇〇	約三八	實業之日本社
胃腸病の新療法	日野三郎	一・三〇〇	約四三	同
日本鍼灸術上、下	大田捨次郎	三・五〇〇	各二冊	吳鍼灸學院廣島
病的材料検査指針	里見三男	二・〇〇〇	各二冊	江堂本郷
理髮結髮衛生讀本	加茂智榮	一・五〇〇	約三三	加茂智榮本郷
朝鮮藥劑試驗案內	岡本幸一郎	七・〇〇〇	約五九	下田文榮堂本郷
化學構造ト生理作用	高瀬豐吉	一・五〇〇	約一〇	カニヤ書店京都
各科學集	春海玉江	一・〇〇〇	約一四	いのちの友社兵庫
食餌看護の葉成	横尾英敏	一・五〇〇	約一八	寶林堂書店靜岡
皇漢醫學の大眞理	深川晨堂	三・〇〇〇	約一八	舊藩と醫學社川
臨用硯北日誌上卷	小國鐵哉	一・八〇〇	約三七	健光園京都
健光園式斷食療法	國島貴八郎	一・八〇〇	約三三	自然良能社京都
結核は斯くすれば必ず全治する	小川春興	一・五〇〇	約七一	半田屋出版部本郷
最新日本按摩術全書	瀨戸利	九・〇〇〇	約九二	興學會醫學部靜岡
眼症狀に依る全身疾患鑑別法	和泉成之	一・五〇〇	約一五	仁誠堂書店四谷
最新藥種商試驗問題	岡本幸一郎	二・〇〇〇	約四四	下田文榮堂本郷

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
實驗長壽法	三木麟	七・〇〇〇	約二八	大東京壽實社本郷
簡明組織學	講醫會	一・〇〇〇	約一八	富倉書店同
肺病の豫防法と其の養生法	天兒民博	五・〇〇〇	約一六	醫藥新報社本郷
表式圖說産科學	佐藤美實	三・二〇〇	約二六	誠堂本郷
簡明內科學下	額田豐	七・五〇〇	約七二	金原商店同
簡明外科各論下	小川蕃	六・〇〇〇	約二四	同
近世助産學下	酒井春吉	三・〇〇〇	約三〇	同
打診と聽診	八田善之進	三・五〇〇	約一七	同
漢方の眞義	安田安周	非	約三二	春陽堂日本
性と新食養法	羽太銳治	一・五〇〇	約三五	吟葉會出版部神田
法醫學	三田定則	三・五〇〇	約五〇	金原商店本郷
新皮膚科學	廣田康	八・〇〇〇	約四八	同
茂木外科各論上卷	茂木藏之助	八・〇〇〇	約六四	南山堂書店同
外科診療ノ實際	西川義英	三・五〇〇	約五〇	同
各論ノ上卷ノ一	板澤政治	二・八〇〇	約二六	江堂同
病理及其療法	田中義磨	九・五〇〇	約七九	裳華房靜岡
遺傳學	田中義磨	九・五〇〇	約七九	裳華房靜岡
柔道接骨學總論下	稻葉太郎	三・〇〇〇	約四六	文武館出版部大坂
皮膚病學前篇	松本信一	一・六〇〇	約三三	江堂京都
アチドローシスとアルカロローシス	西勝造	二・八〇〇	約二八	文光堂書店本郷
近世病理組織學檢査術式	佐藤清	三・五〇〇	約三七	南山堂書店同
性學檢査術式	通俗家庭講話研究会	八・〇〇〇	約一七	井上盛進堂大坂
產科綜覽第一回	市田賢治	三・〇〇〇	約三三	市田賢治静岡
婦人科綜覽第一回	市田賢治	三・〇〇〇	約三三	市田賢治静岡
新看護學上卷	平井文雄	三・九〇〇	約四九	鳳鳴堂書店本郷
豫診問診	宮澤孝	一・三〇〇	約二八	南江堂書店同
神經衰弱はこ	朝岡稻太郎	二・〇〇〇	約三七	東明堂書店神田
うすれば治る	安間公觀	一・三〇〇	約一四	同
幼兒身體保育の實際	小野寅之助	三・〇〇〇	約二二	隆文社書店大坂
齒科病理學綱要	遠山郁三	三・六〇〇	約一三	同
色彩皮膚病圖譜下卷	山田平太	三・〇〇〇	約一七	日本齒科文化史刊行會同
日本齒科文化史	塚原伊勢松	八・五〇〇	約四九	金原商店同
新産科學下卷第二版	龜井茲常	非	約四九	同
療養教本	市田賢治	非	約四九	同
消化器病、傳染病綜覽第一回	市田賢治	非	約四九	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
乳兒の榮養及榮養障礙 改訂第二版	小山武夫	四・五〇	四七四	診斷と治療社 出版部
【六月】 健康長壽 健康も正しき日常生活	植松久則	一・五〇	二〇四	礎 仁 洞 奈 良
新しい醫學療法	杉田平十郎	一・〇〇	二二七	朝日書房 麹町
子供の健康	村上賢三	・六〇	二二三	衛生文化思想 會 石川
處方學	同仁會	× 三三		普 仁 會 神 田
祈於毛鍼之素博	近喰博憲	一・〇〇		近喰博憲 院 下谷
最新マツサージ術講義	吉里鐵山	二・二〇	二九四	半田屋出版部 本郷
現代歐米之診療	前田正文	一・三〇	二九〇	日新醫學社 神田
藥劑師を主としたる 日本藥劑要義	山本一郎	・八〇	二二〇	甲 榮 社 牛込
肺結核の豫防と療養	織島秀男	・八〇	一〇三	素人社書店 本郷
實地外科手術書	高橋信美	・六〇	△ 四五六	吐鳳堂書店 同
解剖學實習	鈴木五郎	・六〇	△ 四五六	吐鳳堂書店 同
用描寫實用圖	長松英一	二・五〇	△ 八九	金原商店 同
自律神經系	吳 建	六・五〇	〇 四八	克誠堂書店 同
臨骨折及脱臼の處置	小林大乗	二・五〇	〇 二九	診察社出版部 芝

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
婦人科綜覽 第三回	市田賢治	〇 二五〇		敬 文 社 澁谷
局所免疫法	熊谷謙三 伊藤嘉奈太	二・〇〇	〇 二四〇	金原商店 本郷
齒牙組織學	正木 正	二・〇〇	〇 二二三	齒科學報社 神田
內科診療ノ實際	西川義方	六・〇〇	× 九五	南山堂書店 本郷
症示 小兒科學	高崎佐太郎	・八〇	〇 二六九	克誠堂書店 同
消化器病	市田賢治	〇 三〇〇		敬 文 社 澁谷
傳染病綜覽	中井卓次郎	〇 二七〇		帝國醫學社 赤坂
體	愛	〇 二七〇		帝國醫學社 赤坂
早産兒哺育論	磐瀬雄一	二・二〇	〇 二四〇	吐鳳堂書店 本郷
撰處方製劑一萬集	赤木勘三郎	四・〇〇	× 七二	濟 文 閣 同
有狀義齒學	山口秀雄	一・〇〇	△ 四〇	金原商店 同
斯界權威の十五大家 的靈療術聖典	靈療術 研究團	〇 三三三		天玄洞本院 京橋
簡明和漢方(藥方編)	津間駿齋	二・〇〇	〇 三三四	先觀堂醫院 千葉
神經衰弱症 臨床 解説	杉田直樹	二・〇〇	〇 一八五	金原商店 本郷
醫籍考 第二卷	多紀元胤	一・五〇	△ 八六	國本出版社 澁谷
勞働衛生講話	肋川 浩	二・八〇	〇 一四二	政經書院 京都
C F 綜合療法	安達 温	一・五〇	〇 二七〇	南山堂書店 本郷

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
婦人の受胎期 木下 産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	萩野久作	一・七〇	〇 二六二	南山堂書店 本郷
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	樋口 榮	・八〇	〇 二〇七	人文書院 京都
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	市田賢治	△ 三三三		市田賢治 澁谷
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	古屋清	三・七〇	△ 二六二	南山堂書店 本郷
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	高橋 寥	・七〇	〇 六〇	朝日書房 神田
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	眞繼美太郎	一・〇〇	〇 二〇〇	興風書院 同
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	栗山謹造	二・〇〇	〇 三三四	慶文堂書店 同
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	澤田順次郎	一・三〇	〇 四七〇	三省 堂 同
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	市田賢治	〇 三三三		市田賢治 澁谷
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	井上廉太郎	二・五〇	△ 二二五	醫局及藥局社 大阪
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	ヤノフサステイ 吉益修夫	・七〇	△ 九七	精神衛生學會 小石
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	小田俊郎	非 △ 四二		小田俊郎 札幌
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	岡田道一	二・五〇	〇 三六一	中和會事務所 京橋
産科婦人科叢書の巻 女學生に必要な 醫學の知識	緒方知三郎	一・九〇	× 一九〇	南山堂書店 本郷

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
表式兒科藥物療法 法と乳兒榮養法 實用看護學教科書 上、下	前田正文	一・三〇	× 二六	南山堂書店 本郷
本能の神祕 完譯 モル・性慾科 學大系 上編	岩田篤之介	非 〇 二二二		本能會本部 大森
異常兒論 著 藤 症は切 らず に 治せ	下田光造	・二五〇	〇 七〇	日本醫學 會 神田
衛生榮養療法詳解 刺戟と温浴に 關する研究 體系的學校齒科實務 上	東儀六郎	非 〇 一五二		福壽莊 園 大阪
診療寶函 第一輯 大日本眼科全書 二〇 眼科機能學 第七卷 臨牀血液學 日本耳鼻咽喉科學全 書 第二卷ノ二 日本耳鼻咽喉科學全 書 第十卷ノ二	谷村金一	・三〇〇	〇 八	大日本健康増進會 出版部 澁谷
診察寶函 第一輯 大日本眼科全書 二〇 眼科機能學 第七卷 臨牀血液學 日本耳鼻咽喉科學全 書 第二卷ノ二 日本耳鼻咽喉科學全 書 第十卷ノ二	脇 長男	三・五〇	〇 四八	致醫會出版部 芝
診察寶函 第一輯 大日本眼科全書 二〇 眼科機能學 第七卷 臨牀血液學 日本耳鼻咽喉科學全 書 第二卷ノ二 日本耳鼻咽喉科學全 書 第十卷ノ二	畑 文平	一・五〇	〇 八〇	金原商店 本郷
診察寶函 第一輯 大日本眼科全書 二〇 眼科機能學 第七卷 臨牀血液學 日本耳鼻咽喉科學全 書 第二卷ノ二 日本耳鼻咽喉科學全 書 第十卷ノ二	小宮悦造	七・〇〇	〇 五〇〇	克誠堂書店 同
診察寶函 第一輯 大日本眼科全書 二〇 眼科機能學 第七卷 臨牀血液學 日本耳鼻咽喉科學全 書 第二卷ノ二 日本耳鼻咽喉科學全 書 第十卷ノ二	久保猪之吉	二・〇〇	△ 三四	同 同
診察寶函 第一輯 大日本眼科全書 二〇 眼科機能學 第七卷 臨牀血液學 日本耳鼻咽喉科學全 書 第二卷ノ二 日本耳鼻咽喉科學全 書 第十卷ノ二	岡科大學	非 〇 二〇〇	△ 二五二	同 同
診察寶函 第一輯 大日本眼科全書 二〇 眼科機能學 第七卷 臨牀血液學 日本耳鼻咽喉科學全 書 第二卷ノ二 日本耳鼻咽喉科學全 書 第十卷ノ二	岡科大學	非 〇 二〇〇	△ 二五二	同 同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
骨格筋の緊張と調節 神經司配	中西政周	一・五〇〇	七〇	金原商店本郷
結婚讀本	廣島一郎	一・〇〇〇	一七〇	平野書房同
内科醫治療ノ仕方	山田詩郎	三・五〇〇	五二〇	金原商店同
日本内科全書卷二	小田平義	一・三〇〇	△	吐鳳堂書店同
世界の癩を訪ねて	林文雄	非	〇〇〇	長崎次郎牛込
新看護學教科書下	大桐良藏	二・七〇〇	約	南江堂本郷
製藥者受驗新書	岡本幸一郎	三・八〇〇	五九	下田文榮堂同
かむながら醫學卷一	三浦一郎	非	〇〇〇	心王教本院埼玉
プロレタリア 産兒制限法	大川浩	一・〇〇〇	〇	東京書局神田
日本病理學會誌 昭和九年 第二四卷	緒方知三郎	二・〇〇〇	〇	日本病理學會本郷
婦人科綜覽 第四回	市田賢治	〇	〇	敬文社澁谷
簡柔道整復術學全	木村仁	三・八〇〇	二六	東京旭蘭社小石
常識としての生理學	加藤元一	二・二〇〇	三六五	東京開成館同
肉體の驚異	竹村文祥	二・〇〇〇	四九四	誠文堂神田
喉科全書	久保猪之吉	三・〇〇〇	△	克誠堂書店本郷
鳥瀉外科學總論	鳥瀉隆三	三・九〇〇	△	南江堂本郷
人間は若返る	倉上由一	一・五〇〇	〇	アールス神田
無醫無病健康法	高田義一郎	一・五〇〇	〇	日東書院同
大日本眼科全書	山根浩	二・五〇〇	〇	金原商店本郷
免疫學及ヒ其ノ應用	里見三男	五・〇〇〇	〇	金原商店本郷
噫 醫 弊	長尾折三	一・七〇〇	〇	醫學文社同
改訂 齒科充墳學	佐藤運雄	四・〇〇〇	〇	齒科月報社神田
四版 近世解剖學 下卷	二村領次郎	三・三〇〇	△	金原商店本郷
生理學論文集第三卷	浦本政三郎	五・〇〇〇	△	克誠堂書店同
研究 變態心理の解剖	梶天眞	三・〇〇〇	〇	山堂神田
袖臨 床鍼灸醫典	福岡桂司	一・八〇〇	×	福岡鍼灸科院神奈
珍 平田式療術醫典	平田内藏吉	一・五〇〇	〇	大東盟舎牛込
神經衰弱の擊滅	伊東涼嶽	六・〇〇〇	〇	順性學研究會大阪
新撰 マッサージ學	田中正	非	〇	長崎縣立長崎
榮養食と治病食	篠田義市	一・五〇〇	×	實業之日本社京橋

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
療病と藥物採集の卷	池田貞三	七〇	×	山形食養山形
理髮技術新講	藤井愛藏	二・五〇〇	〇	藤井福關堂山口
藥用植物の家庭療法	石田式部	一・五〇〇	〇	中央藥所岐阜
傳染病豫防の理論と實際	狩野永治郎	一・二〇〇	〇	新光閣神田
植物神經系疾患の生理作用	吳建	二・九〇〇	〇	吐鳳堂書店本郷
化學構造ト生理作用	高瀬豐吉	一・五〇〇	△	カニヤ書店京都
稲田教授臨牀講義集 第四册	同窓會	三・〇〇〇	〇	金原商店本郷
產科婦人科讀本	木下正中	一・二〇〇	〇	日本評論社京橋
療養眞髓	延島市郎	二・五〇〇	〇	黎明會本郷
醫學統計法の應用	古屋芳雄	三・八〇〇	〇	金原商店同
內科讀本	入澤達吉	一・五〇〇	〇	日本評論社京橋
立體解剖學圖譜	佐野幹	一・四〇〇	△	金原商店本郷
生理學 下卷	上野一晴	五・〇〇〇	△	南山堂書店同
日本人の遺傳學的的研究	駒井卓	五・〇〇〇	△	駒井卓
生色病學	橋田邦彦	四・三〇〇	〇	同
織實習圖譜	佐藤清	三・三〇〇	△	南江堂本郷
遺傳學原理	松浦一	一・三〇〇	〇	中文館書店牛込
內科・外科・産科・婦人科腹部觸診の實際	岩男督	二・八〇〇	〇	金原商店神田
日本鍼灸學教科書 前編	山本新梧	五・〇〇〇	〇	關西鍼灸學院大阪
衛生化學	池口慶三	一・〇〇〇	〇	南江堂本郷
臨婦人花柳病學	德永覺二	九・〇〇〇	〇	金原商店同
殺人と性的犯罪	荒木治義	一・五〇〇	〇	犯罪科學會神田
彩色皮膚病圖譜 下	遠山郁三	一・八〇〇	△	南山堂書店本郷
近細菌學及免疫學	竹内松次郎	八・五〇〇	△	金原商店同
かむながら醫學卷二	三浦大寛	非	〇	心王教本院埼玉
通俗醫學	井尻辰之助	一・〇〇〇	×	中央醫學社芝
皮膚泌尿器病雜纂	小口忠太	四・八〇〇	〇	半田屋出版部本郷
最新色盲検査表	村井知至	五・〇〇〇	×	北文館小石
體驗三S健康法	松岡文七	一・〇〇〇	×	金原商店本郷
各科臨牀冠名症候集	岩崎豐治	七・五〇〇	〇	同
性病科學概論	岩崎豐治	七・五〇〇	〇	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
皮膚科泌尿器科大系 第九卷 第十二册	上林豊明	三・五〇	△三三	南江堂 本郷
漢洋醫學闘争史上	深川長堂	一・〇〇	〇六一	舊藩と醫學社 川瀬ノ
【十一月】				
頭腦明快成功法	芥川克己	・八〇	×三三	三成社書店 神田
國華心身健康秘録	片桐龍子	三・〇〇	〇四五	忠誠婦徳會 岐阜
健代醫學事典	大塚利吉	二・〇〇	〇二九	近代治療社 大阪
應急手当と救急療法	家庭醫學會	・三〇	×一三	崇文堂出版部 神田
實験に基く	同	・三〇	×一五	同
神經衰弱の徹底療法	同	・三〇	×一七	同
家庭で出来る灸點とマツサージ療法	同	・三〇	×一七	同
誰にも出来る	同	・三〇	×一七	同
藥草栽培と藥草療法	同	・三〇	×一七	同
安心して出来る	同	・三〇	×一七	同
淋病の豫防と新療法	同	・三〇	×一七	同
灸療健康法	津山守彦	一・五〇	〇一七	大日本灸會 大阪
胃腸と療養	平野啓司	二・五〇	〇三五	人文書院 京都
著腹症は治せ	増井龍恵	一・五〇	〇二五	東明堂書店 本郷
小兒傳染病の豫防	内村良二	一・〇〇	〇三〇	金原商店 同
肺病は必ず治す	前川雄	・五〇	〇二〇	輸血法研究所 中野
結核讀本	村井知至	・五〇	×一三	三S健康社 神岡
體験三S健康法	佐藤昌二	二・〇〇	〇〇〇	山越工作所 下谷
色盲補正練習表	乙葉辰三	一・五〇	〇三六	刊行科學會 神田
理化學鑑識法	多紀元胤	五・〇〇	△四三	國本出版社 澁谷
醫籍考第三卷	白木正博	三・九〇	〇三四	南山堂書店 本郷
簡明助産婦學	藤田富枝	四・五〇	〇六八	南江堂 同
醫語語原	久保猪之吉	二・三〇	△一三七	克誠堂書店 同
日本耳鼻咽喉科學全書	同	二・八〇	△一八〇	同
同	同	二・八〇	△一八〇	同
生理學總論(中)	木村哲二	二・三〇	〇〇〇	同
産科の實地經驗	小畑惟清	三・五〇	△二三	同
仙家無病長生法	橋本五雄	一・七〇	〇二九	川合清丸全集 澁谷
秘訣の診察	丸山正次	一・二〇	〇三七	刊行科學會 澁谷
過誤に就て	星川長之助	三・〇〇	〇三五	金原商店 本郷
簡明看護學教科書上	中村登	二・〇〇	〇二九	金原商店 同

れんとげん學	藤浪剛一	一・五〇	△九四	南山堂書店 本郷
内科新治療上	柴田經一郎	四・五〇	〇四九	克誠堂書店 同
註國譯本草綱目15	和田利彦	非	〇	春陽堂 日本橋
【十二月】				
益軒養生訓	大澤一六	一・五〇	〇二七	荻原星文館 神田
第二 日本醫學會日誌	小田平義	非	△七六	第九回日本會 本郷
稻田教授講演集續編	同窓會	六・五〇	〇六二	金原商店 同
外科總論	高橋信美	八・五〇	△六二	吐鳳堂書店 同
實不老強精の秘訣	日下頼尙	二・五〇	〇三四	二松堂書店 神田
醫學研究叢書 五	小野獻吉	一・〇〇	△二四	京都帝國大學內科 京都
常用新藥と處方	石尾貞朝	三・五〇	×六二	皮肉科紀要編輯部 日本橋
日本鍼灸學教科書 後編	山本新梧	六・〇〇	〇〇〇	關西鍼灸學院 大阪
齒科藥物學	佐藤運雄	五・〇〇	〇四三	齒科月報社 神田
日本漢方醫藥變遷史	小泉榮次郎	二・〇〇	〇二五	池村隆正 大阪
開腹術の前後	松尾巖	三・〇〇	△二六	消化器病會 京都
醫學煙草考	宇賀田爲吉	一・八〇	〇三三	隆章閣 神田
本草學論攷	白井光太郎	四・五〇	〇五八	春陽堂 日本橋
醫籍考	多紀元胤	五・〇〇	△四三	國本出版社 澁谷
溫泉療養	酒井谷平	二・八〇	〇三五	一葉社 牛込
産科手術學會	磐瀨雄一	四元	△三四	同仁會 神田
The Microphysiology of Nerve	加藤元一	一・〇〇	〇一三	丸善株式會社 日本橋
長壽法新論	石橋衛	一・七〇	〇二八	醫海時報社 小石
濟生家庭藥餌醫典	家庭藥餌會	一・〇〇	×二八	成光堂 神田
盲腸炎に就て	渡邊祐五郎	・五〇	〇一三	體質匡正院 本郷
お灸の常識	中川清三	一・〇〇	〇二二	法本堂 本郷
便	西勝造	二・〇〇	〇三〇	文光堂書店 同
禿に關する研究	本村儀作	・五〇	〇七	文光堂書店 同

印刷用紙算出表 (其二)

部数	頁数	144	160	176	192	208	224	240	256	272	288	304	320	336
50	225	250	275	300	325	350	375	400	425	450	475	500	525	
100	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1,000	1,050	
200	900	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	
300	1,350	1,500	1,650	1,800	1,950	2,100	2,250	2,400	2,550	2,700	2,850	3,000	3,150	
400	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000	3,200	3,400	3,600	3,800	4,000	4,200	
500	2,250	2,500	2,750	3,000	3,250	3,500	3,750	4,000	4,250	4,500	4,750	5,000	5,250	
600	2,700	3,000	3,300	3,600	3,900	4,200	4,500	4,800	5,100	5,400	5,700	6,000	6,300	
700	3,150	3,500	3,850	4,200	4,550	4,900	5,250	5,600	5,950	6,300	6,650	7,000	7,350	
800	3,600	4,000	4,400	4,800	5,200	5,600	6,000	6,400	6,800	7,200	7,600	8,000	8,400	
900	4,050	4,500	4,950	5,400	5,850	6,300	6,750	7,200	7,650	8,100	8,550	9,000	9,450	
1,000	4,500	5,000	5,500	6,000	6,500	7,000	7,500	8,000	8,500	9,000	9,500	10,000	10,500	
2,000	9,000	10,000	11,000	12,000	13,000	14,000	15,000	16,000	17,000	18,000	19,000	20,000	21,000	
3,000	13,500	15,000	16,500	18,000	19,500	21,000	22,500	24,000	25,500	27,000	28,500	30,000	31,500	
4,000	18,000	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000	30,000	32,000	34,000	36,000	38,000	40,000	42,000	
5,000	22,500	25,000	27,500	30,000	32,500	35,000	37,500	40,000	42,500	45,000	47,500	50,000	52,500	
6,000	27,000	30,000	33,000	36,000	39,000	42,000	45,000	48,000	51,000	54,000	57,000	60,000	63,000	
7,000	31,500	35,000	38,500	42,000	45,500	49,000	52,500	56,000	59,500	63,000	66,500	70,000	73,500	
8,000	36,000	40,000	44,000	48,000	52,000	56,000	60,000	64,000	68,000	72,000	76,000	80,000	84,000	
9,000	40,500	45,000	49,500	54,000	58,500	63,000	67,500	72,000	76,500	81,000	85,500	90,000	94,500	
10,000	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000	80,000	85,000	90,000	95,000	100,000	105,000	

〔二七〕 商業

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
【二月】 化粧品製造販賣法教授書	曾根元藏	500	〇 四九	三昭堂化粧品研究所三重
【三月】 危機に直面せる蠶業更生の實行策	岡田吉太郎	50	〇 八五	丸山舎書店京橋
【四月】 商品の包装	金井治郎 外一	1.80	〇 一七五	立命館出版部京橋
【五月】 通信販賣講話	前波伸子	50	〇 一三	同館神田
商店繁昌十則	渡邊玄	50	〇 一〇六	同
新商人訓話	吉水正孝	50	〇 一七	同
繭市場の活用	松角久三郎	1.20	〇 二五七	文元社同

商業

〔六〕 小賣商更生策

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所
小賣商更生策	伊藤重治郎	1.20	〇 三六	立教大學販賣會豊島
商店經營の實例	佐藤傳衛	50	〇 一〇六	同館神田
小商賣開業成功法	堤健次	1.80	〇 一六	同
津市商工記要	津商會	非	〇 一六	新誠光堂同
青森市商工案内	青森市	〇	〇 一九	津商工會議所三重
現狀と將來	西田峯吉	50	〇 一四三	明文堂神田
【七月】 産業組合製糸の經營振り第二輯	全國産業組合製糸聯合會	40	〇 一三三	製糸聯合會同
我が販賣術	黒川壽雄	70	〇 一三三	保險月報社同
小資本の賣相	門多榮男	1.20	〇 一七六	小林書店神田
原蠶に種管理の談	野崎清	1.00	〇 一七三	全國蠶絲會同
實現に至る迄の	菅山二良	3.00	〇 三七五	中外保險會同
火災保險契約	長岡哲三	〇	△ 六〇	日本出版部同
關新製調査	山形縣商工會議所	非	〇	蠶絲中央會同
山形商工案内	山形縣商工會議所	非	〇	商工會議所同

七二九

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
【八月】 渡式外交戦術の分析的な研究 宣傳術販賣術 未高と蘭安の見方 滿洲電信電話 會社規定案 明治保險史料第一卷 南洋 内外産業資料四卷 九號化學戰時代 染織物輸出振興ニ關スル座談會記錄 實業沿革史	森克彦 清水正己 澤村克人 磯崎重雄 玉木爲三郎 倉持善三郎 小濱重雄 京都市 安中莊太郎	一・八〇 二・〇〇 一・〇〇 二・〇〇 非 二・八〇 〇 〇 三・五〇	三三 五三 一五 〇 〇 二五 〇 〇 二四	保險春秋社 誠文堂 千倉書房 通信文庫 生命保險會 東京信託會 調査局 京都市 實業參考社
【九月】 昭和九年版廣告研究 消費者、商店、生産者各方面から見た果物銀行員、金融會社員實務向上指針 生命保險の常識	光永眞三 恩田鐵彌 山本定吉 未高信	一・〇〇 〇 一・五〇 一・〇〇	二五 一四 二七 二二	日本電信報社 大日本農會 實務會 千倉書房
【十月】 宣傳要諦 實用簿記會計の知識 輝く我等の誇り 宇都宮商工業案内 風水書に依る大阪産業の被害概況 最新織物の實物研究 （原米之卷）	松本伊勢之丞 岩垂至 石山皆男 宇都宮商會 大坂商會 池上正一	非 一・〇〇 〇 〇 〇 〇 一・三〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	松本伊勢之丞 同文館 宇都宮商會 大坂商會 森彩雲堂
【十一月】 商店自榮と明日の小賣店經營 日本職業大系2篇 百貨店讀本 豐橋商工業案内 一九三三年米國百貨店宣傳費の研究 圖解精説生命保險之檢討及考察	宇原義豐 高田琴三郎 豐原又男 松宮三郎 鈴木澄衛 後藤三郎 酒井一嘉	一・五〇 一・二〇 一・〇〇 一・〇〇 〇 〇 〇	三五 二六 三六 三三 〇 〇 〇	山書房 千倉書房 職業紹介會 成美堂 豐橋商會 株式會社 生保研究會

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
産業と計量 高岡商工業案内 青果價格の構成 木材業者必携 英國植民地の織物輸入割當制 八王子織物史 高松商開校十周年記念産業及經營調査 東京市商業調査書	野村善之助 高岡商會 石川武彦 佐藤興詮 東京商會 千勝義重 高松高等商業學校調査課 東京市役所	〇・五〇 非 〇・五〇 一・五〇 〇・七〇 一・二〇 非 〇・〇〇	三三 二七 五五 二〇 〇 三三 二九 二二	野村善之助 高岡商會 西ヶ原刊行會 關西信託會 東京商會 新泉社 高松高等商業學校 東京市役所
【十二月】 實際商業廣告 蠶絲業改善案要綱 新販賣工作十講 新興産業に關する調査 銀行内容見方の常識 對滿輸出業 新東株賣買の研究	高橋渡 中村茂 村本福松 東京商會 曲川居士 岸田脩一郎 松本武夫	一・〇〇 非 一・五〇 〇・五〇 一・〇〇 非 一・八〇	二四 七 三三 六 一四 二二 二三	高陽書院 國家經濟研究所 千倉書房 東京商會 實業興信所 滿洲輸入組合 聯合會 大同書院

歐米書籍業國際團體
 ◇萬國著作物保護同盟(L'Union Internationale pour la Protection des Œuvres Littéraires et Artistiques)
 組織—文學的美術的著作物の國際的權利保護に關し、一八八六年「ベルヌ條約」が締結せられ、一八九九年(明治三十二年)以來帝國政府も之に加入し、其の後、巴里、伯林、羅馬の國際會議に於て數次の改訂を見たるが本同盟は此の條約に基づき加盟國により創設維持せらるるものなり。
 事務局所在地—7, Helvetenstrasse, Berne, Suisse.
 役員及職員—本事務局は瑞西聯邦政府の管理に屬し、其の組織は同政府之を定め且其の事務を監督せり。有給職員を置き、事務局の費用は同盟加入國の負擔金を以てす。
 定期刊行物—“Le Droit D' Auteurs” (月刊)
 ◇國際文藝協會 (Association Littéraire et Artistique Internationale)
 組織—歐米各國に支部を設置し文藝著作家の國際的地位の維持發達に關する諸般の問題を處理協力する團體なり。
 事務所所在地—117, Boulevard Saint-Germain, Paris 6e.
 役員及職員—會長 G. Maillard 書記長—Marcel Boulet
 ◇國際出版業者會議 (International Congress of Publishers)
 第一回 巴里(佛) 1896年
 第二回 ブラッセル(白) 1897年
 第三回 倫敦(英) 1899年

印刷用紙算出表 (共三)

部 枚 数	頁數		352	368	384	400	416	432	448	464	480	496	512
	部	枚											
50	550	755	630	625	653	675	700	725	750	775	800		
100	1,100	1,150	1,200	1,250	1,309	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600		
200	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	2,700	2,800	2,900	3,000	3,100	3,200		
300	3,300	3,450	3,600	3,750	3,900	4,050	4,200	4,350	4,500	4,650	4,800		
400	4,400	4,600	4,800	5,000	5,200	5,400	5,600	5,800	6,000	6,200	6,400		
500	5,500	5,750	6,000	6,250	6,500	6,750	7,000	7,250	7,500	7,750	8,000		
600	6,600	6,900	7,200	7,500	7,800	8,100	8,400	8,700	9,000	9,300	9,600		
700	7,700	8,050	8,490	8,750	9,100	9,450	9,800	10,150	10,500	10,850	11,200		
800	8,800	9,200	9,600	10,000	10,400	10,800	11,200	11,600	12,000	12,400	12,800		
900	9,900	10,350	10,800	11,250	11,700	12,150	12,600	13,050	13,500	13,950	14,400		
1,000	11,000	11,500	12,000	12,500	13,000	13,500	14,000	14,500	15,000	15,500	16,000		
2,000	22,000	23,000	24,000	25,000	26,000	27,000	28,000	29,000	30,000	31,000	32,000		
3,000	33,000	34,500	36,000	37,500	39,000	40,500	42,000	43,500	45,000	46,500	48,000		
4,000	44,000	43,000	40,000	50,000	52,000	54,000	56,000	58,000	60,000	62,000	64,000		
5,000	55,000	57,500	66,000	62,500	65,000	67,500	70,000	72,500	75,000	77,500	80,000		
6,000	66,000	69,000	72,000	75,000	78,000	81,000	84,000	87,000	90,000	93,000	96,000		
7,000	77,000	80,500	84,000	87,500	91,000	94,500	98,000	101,500	105,000	108,500	112,000		
8,000	88,000	92,000	96,000	100,000	104,000	108,000	112,000	116,000	120,000	124,000	128,000		
9,000	99,000	103,500	108,000	112,500	117,000	121,500	126,000	130,500	135,000	139,500	144,000		
10,000	110,000	115,000	120,000	125,000	130,000	135,000	140,000	145,000	150,000	155,000	160,000		

〔二八〕交通

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
【一月】 世界大都の交通	塚本義隆	四〇〇	三〇	新聞聯合社 京橋
外國郵便及同附錄	上殿好三郎	一・八〇〇	二六五	貿易日本社 大阪
【二月】 全國鐵道貨物營業新程表	荻野孝廉	八〇△	一三〇	交通産業社 本郷
獨乙國の有鐵話	アドルフ・ザル	三〇〇	一三三	鐵道書院 日本橋
南太平洋諸島誌	水部	五・〇〇〇	二二三	水路部 京橋
日本の鐵道	三土忠造	二・〇〇〇	三三	社會教育協會 小石川
【四月】 交通整理の簡易化	エドワード・ノ	非	一七五	杭迫軍二 名古屋
國家の重要政策上より見たる鐵道電化	吉原重成	同△	三〇〇	吉原重成 龜町
書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所
丹那トンネルの話	鐵道省熱海建設事務所 大竹三七郎	一・〇〇〇	三三〇	工業雜誌社 京橋
客貨車	豐住輝日出	二・三〇〇	二五五	鐵道時報局 神田
貨物事務問題解答集	伊藤勝次郎	一・五〇〇	一四七	鐵道省指定運送取扱人中央會 龜町
【五月】 最新鐵道員採用試験問題及模範解答集	東京商工會議所	一・五〇〇	一〇〇	帝國教育會 神田
營業用輕便運搬設備	大阪運輸事務所 酒井朋三	非	三三	大教社出版部 兵庫
職員講習會教科書	信岡正典	二・〇〇〇	三三	近畿貨物自動車業聯盟 大阪
貨物自動車經營	藤岡長敏	二・〇〇〇	三三	航空時代社 龜町
試驗問題解答集	酒井淳三	非	一六七	織田信知 札幌
【七月】 交通整理の話	小崎政臣	五〇×	二五五	ダイヤモンド出版株式會社 龜町
郵便の知識	名古屋中央電話局	四・八〇〇	六三三	交通經濟社 神田
電話事業の利用	電話交換教科書	〇	二册	名古屋中央電話局 愛知

營業要目

- ▽ 運動具の製造販賣
- ▽ 運動場體育館の設計設備
- ▽ T.T.K公認ドツチバスケツトボール發賣元
- ▽ 理化學器械博物標本販賣
- ▽ 生理模型化學藥品販賣
- ▽ 度量衡器計量器販賣
- ▽ 理科教室手工教室等の設備
- ▽ 机、腰掛、黑板等校具の製造
- ▽ 圖書出版及地圖掛圖類販賣
- ▽ 證書表簿用紙等の印刷
- ▽ 其他教育品一般取扱

合資社 杉田日進堂

東京市神田區錦町三丁目四番地
電話神田(25)一五五七番



コドモ繪本
教育コドモ紙工品

東京市神田區東福田町壹番地

合名社 金井信生堂

電話浪花(67)代表三一八番(2)
振替東京一三八三七番

地圖專門

- 大日本分縣地圖
- 大日本鐵道旅行圖
- 大東京市區分地圖
- 大東京市全圖
- 大日本全圖
- 世界全圖

東京市神田區東福田町壹番地

合資社 雄文館

電話浪花(67)代表三一八番(2)
振替東京六六二四六番

渡邊龍策先生著

四六判美裝
函入三〇〇頁

定價一圓稅十錢

少年滿洲帝國全史

波瀾萬丈數奇を極めた大滿洲國の血沸き肉躍る興亡秘史!

序文より—滿洲國が獨立した事をば、中華民國の人々は決してくんでおはしません。私は何となく中華民族及び滿洲國の人々の氣持を日本の若き人々にお傳へしむると思つてゐたので、日本に歸り、昨年この熱情やみ難くして「少年少女滿洲國の話」を公にし、たゞそれには實に思ひがけない反響を得ました。さうして、この内には、今年三月帝政が布かれたました。この際、新滿洲帝國の歴史を一通り若き諸君にお傳へする事は決して無意義でないと思つて、若くは、書中に現はる人物流れゆく時代精神より何物かをつかんで下されば幸であり、國の興亡は全て民族の根強い精神によります。—略—

學校に文庫に圖書館に!
童心の糧として大好評!

目次大要
一 滿洲帝國皇帝陛下の二滿洲に起つた國々
二 滿洲の光る列強の眼
三 日本との滿洲開闢の七張作霖の八滿洲の併日
四 滿洲の併日
五 滿洲の併日
六 滿洲の併日
七 滿洲の併日
八 滿洲の併日
九 滿洲の併日
十 滿洲の併日
十一 滿洲の併日
十二 滿洲の併日
十三 上海事變の大戦關
十四 滿洲國の建設
十五 滿洲國の建設
十六 熱河討伐
十七 最近の滿洲國

少年滿洲國の話 渡邊龍策著 定價一〇〇
神秘・驚異・怪奇の自然譚 吉田弘著 定價一〇〇
面白ゝ動物の話 大西陸治著 定價一〇〇
少年科學文明の驚異 荒川文吾著 定價二〇〇
日本武勇物語 櫻井勝三著 定價一〇〇
飛行少年の知識 野口一等飛行士著 定價一〇〇

久保 良英著 習心理學 稅價四、三〇	眞田 幸憲著 米國學校の課外教育 稅價一、一〇	野瀬 寛顯著 學校社會學 稅價二、三〇	西山 哲治著 各科教授法精義 稅價二、八〇	小泉 郁子著 明日の女性教育 稅價一、八〇	山樹 儀重著 人間生活の教育 稅價一、六〇	渡部 政盛著 現代教育學の形態と其動向 稅價二、五〇	木村 泰夫著 本邦教育學說史 稅價一、八〇	中重 信著 生産的勤勞學校の經營 稅價一、八〇	佐藤 隆徳著 農村教育原論 稅價二、五〇	菅原龜五郎著 理想郷の五型 稅價二、五〇	南守 謹吾著 現代の作法 稅價二、五〇	河野 清丸著 革新的修身教育原論 稅價二、五〇	渡邊 龍聖著 批評的倫理學 稅價一、二〇	東西四高師 今後の讀方教育 稅價二、五〇
西原 慶一著 生活・勞作實踐國語教育 稅價一、八〇	東西四高師 今後の綴方教育 稅價二、五〇	小林房太郎著 世界地名大辭典上、中、下 稅價各一〇、〇〇	香川 幹一著 地形學原論 稅價三、五〇	東西四高師 今後の地理教育 稅價二、八〇	牧野富太郎 和野富太郎 邦男共著 植物學講話 稅價三、五〇	倉林源四郎著 實理化學講話 稅價五、〇〇	水野 彌作著 實理化學講話 稅價二、三〇	藤木 源吾著 趣味の理化實驗 稅價二、一〇	關 衛著 兒童圖畫心理學 稅價二、七〇	田中 千代著 新女性の洋裝 稅價二、五〇	横山 健堂著 師範出身の異彩ある人物 稅價一、三〇	佐藤 隆徳著 學校新經營の實際 稅價三、〇〇	文部省社會活動寫眞 映寫の理論と實際 稅價二、三〇	佐藤龜太郎著 兒童心理と家庭教育 稅價三、〇〇

東 京 市 神 田 區 振 替 東 京 五 七 五 七 番
神 保 町 一 ノ 三 〇 南 光 社 電 話 神 田 二 五 一 五 番

坂崎垣先生序

中村恒夫先生新著

最新刊

四六判箱入美裝
寫真百餘挿入

巴里畫壇の全貌

錢拾貳圓貳價定

錢貳拾 料送

全美術界待望の名著 成る!!

フランス畫壇に關する書物はいや程あるが、斯くの如く趣味と實益満溢の書は當のフランスマは勿論何處の國にもない。文字通り世界的な名著。本書の佛譯版と英譯版が出版されることになつたのも當然。美術家は素より一般讀書家も是非座右に備ふべき大文獻であり、美術界の大羅針盤である。淺薄な翻譯書と其の趣を異にする。

渡邊素舟先生序

八幡義生先生新著

最新刊

菊判美裝箱入
圖案五拾餘入

すぐ應用出来る倉創作手工藝圖案集

錢拾八圓壹價定

錢貳拾 料送

此んな便利な圖案集が又とあるか!!

混沌たる現時の手工藝界に現代及び今後のモチーフと進路とを示す最大傑出したる創作圖案の集大成であり、然も著者實際の教授上と製作上との兩方面に於ける滋養と研鑽との結晶圖案であつて、何んにもすぐ應用のきく生きた重寶な指導書である。されば一般手工藝家、美術圖案家に切にお奨めする次第である。

小野野堂 鷺生堂

楷書飲中八仙歌

布表紙折手本
高雅優美
無料添削券
定價金七拾錢
送料八拾錢

鷺堂先生の假名は既に定評あれ共其楷書の優秀なるを知る人が少ない。先生は法を晋唐の古法帖に則り且つ我國上代の古寫經を範とし、形態の均整筆法の變化を極め洵に新時代に相應しき書風を確立せしめたのである。本書は明治十四五年頃の筆に成り、先生の書の黄金時代の優秀なる作品である。初學者に入り易く且つ又觀賞用として好適。李自の文と共に双絶と稱すべく實用と藝術とを併せたる良書として推賞すべき傑作である。

小野野堂 鷺生堂

行書諫院題名記

布表紙折手本
高雅優美
無料添削券
定價金七拾錢
送料八拾錢

鷺堂先生は本朝に於ける三筆三跡につぐべき上代様の大家である明治大正昭和の三代に亘つて絶大なる流行を示してゐるのも洵に故ありと言ふべきである。この行書は先生が最も得意の絶頂にありたる時代の筆にして小野道風、藤原行成の書を併せ得るの感がある。三代の皇后の宮の御用を勤められし絶大の榮譽を擔へる先生の傑作として、學習者の好伴侶たり良指針たるものと深く信ずる次第である。これが學習者には、令息小野成鷺先生の無料添削の御厚意をうけたるも本館の光榮とする處である。

相澤先生 春生堂

秋葉帖

布表紙折手本
高雅優美
無料添削券
定價金七拾錢
送料八拾錢

泰東書道院審査員、美術協會協議員、書道研究二水會々頭たる相澤春洋先生が最も得意とする假名を以て、色紙形に揮毫せるもの、其散らし方の妙は、貫之行成の特長を取り入れたる麗筆と共に錦上花を添へたるの感がある。藝術的に揮毫決して初學者の入り易からずといふに非ず、洗練されたる筆跡は何人の手にも適應する多角的方面を遺憾なく發揮して新鮮味潑刺たるものがある。且學習者に對し先生自ら添削の勞を厭はずとの快諾を得たるは最も光榮とする處である。

七四三

電話 〇五九五
下谷 〇五九五
東京 一六八五

發行所 東京 東神田 辰文館

七四二

東京 神保町一丁目 崇文堂出版部
振替 〇三九七
東京 替番

株式會社 日本評論社 昭和九年 新刊目錄

東京・京橋三ノ四
電話京橋六一九一(4)
振替東京一六番

著譯者	書名	頁數	體裁	定價	送料
三浦悅郎著	生氣躍動する産業朝鮮	四六二頁	判	一・〇〇	〇・〇八
谷口吉彦著	百貨店 連鎖店 小賣店問題	四六二頁	判	一・〇〇	〇・〇八
堀野夫・三谷友吉譯	現代經濟學概觀	四六二頁	判	一・〇〇	〇・〇八
フイツシャー著	リフレーションの基礎理論	四六二頁	判	一・〇〇	〇・〇八
大藏省編	昭和九年度豫算の解説	七六六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
東京帝大教授 馬場敬治著	經營學の基礎的諸問題	三三六頁	判	二・〇〇	〇・〇八
原傳著	松江藩の經濟史研究	三三四頁	判	二・〇〇	〇・〇八
三菱經濟研究所編	世界經濟の現勢	四六六頁	判	三・〇〇	〇・〇八
東京帝大教授 馬場敬治監輯	經營學年報(1)	四三三頁	判	二・〇〇	〇・〇八
實業局總務部長 松井春生著	經濟參謀本部論	三〇八頁	判	一・〇〇	〇・〇八
經濟學博士 高木友三郎著	厚生經濟論	三〇八頁	判	一・〇〇	〇・〇八
慶大教授 內田武男著	ブロッツク經濟論	二六八頁	判	一・〇〇	〇・〇八
慶大教授 高木壽一著	戰時財政論	三二〇頁	判	一・〇〇	〇・〇八
神戸商大教授 生島廣治郎著	世界經濟論	三一八頁	判	一・〇〇	〇・〇八
經濟學博士 谷口吉彦著	貿易統制論	二七四頁	判	一・〇〇	〇・〇八
經濟學博士 八木芳之助著	米穀統制論	三〇二頁	判	一・〇〇	〇・〇八
名古屋商大教授 高島佐一郎著	管理通貨論	三〇八頁	判	一・〇〇	〇・〇八
名古屋商大教授 高島佐一郎著	金問題概論	三〇八頁	判	一・〇〇	〇・〇八
岩崎重三著	金問題概論	三〇八頁	判	一・〇〇	〇・〇八
經濟學博士 森武夫著	戰時經濟論	二七四頁	判	一・〇〇	〇・〇八
農學博士 小野武夫著	農村經濟論	二七四頁	判	一・〇〇	〇・〇八
德川時代の社會經濟思想概論 野村象太郎著	農村經濟論	二七四頁	判	一・〇〇	〇・〇八

著譯者	書名	頁數	體裁	定價	送料
慶大教授 加田哲二著	維新後の社會經濟思想概論	二八四頁	判	一・〇〇	〇・〇八
佐藤貞次郎著	滿蒙資源論	二六八頁	判	一・〇〇	〇・〇八
竹内正巳著	平價切下論	二五八頁	判	一・〇〇	〇・〇八
名古屋商大教授 宮田喜代藏著	フアツシヨ的統制經濟	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
長守善著	社會事業研究	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
山口正著	農村非農時と農民道の眞髓	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
山崎延吉著	農業保險の理論と實際	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
大阪商大助教授 四宮恭二著	保育事業と農繁託兒所	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
田部高女校長 山中六彦著	品種改良法	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
農學博士 宗正雄著	現代の宗教哲學	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
立教大學教授 菅圓吉著	論理學	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
成蹊高校教授 池上鐵三著	社會學	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
關西學院教授 小松堅太郎著	社會學	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
東京帝大教授 河合榮治郎著	フアツシズム批判	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
東京帝大教授 河合榮治郎著	歐洲最近の動向	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
室伏高信著	孔子	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
室伏高信著	三鞭酒の泡	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
柳澤健著	異國趣味	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
柳澤健著	赤露脱出記	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
勝野金政著	歌白雲集	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
下村海南著	明治文學史論	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
高須芳次郎著	直接民主政治	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
河村又介著	革命論及革新運動を戒む	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
九州帝大教授 齋藤隆夫著	憲法と政黨	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
美濃部達吉著	議會政治の檢討	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
法學博士 美濃部達吉著	滿洲統治論	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
河合良成著	國家改造の原理及其實行	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
法學博士 美濃部達吉著	日本と蘇聯邦	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
池田秀雄著	滿洲統治論	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八
茂森唯士著	日本と蘇聯邦	二四六頁	判	一・〇〇	〇・〇八

